

関係人口の実態把握

令和7年6月
国土政策局 関係人口担当

1. アンケート概要	3
(1) 調査手法と調査フロー	3
(2) アンケート設問項目	4
(3) サンプル数の獲得方法と地域区分の設定	7
(4) 回収結果	10
(5) 標本誤差率	11
2. 関係人口の推計方法	13
(1) 関係人口の定義及び分類	13
(2) アフター・コーディングと異常値棄却	16
(3) 一次調査の拡大率設定	17
(4) 二次調査の補正率設定	18
(5) 関係人口の算定における留意事項	19
(6) 代表地域の設定方法	20
(7) 年間訪問日数の算定	21
3. 関係人口の推計結果	22
(1) 全国18歳以上の居住者に占める関係人口割合	22
(2) 関係人口（訪問系）の流動	23
(3) 関係人口（訪問系）の年間訪問日数	24
(4) 居住人口当たりの関係人口	25
(5) コロナ禍前後の関係人口変化	28
4. 一次調査結果	30
(1) 属性	30
(2) 地域との関わり方	33
(3) 特定の地域と関わりのない人の関係人口への関心	35
(4) 居住地における地域活動への参加状況	37
(5) 居住地における地域活動の参加・不参加理由	38

5. 二次調査結果 関係人口（訪問系）	39
（1）属性	39
（2）関わりのある地域【都道府県】	40
（3）関わりのある地域【地域区分】	41
（4）コロナ禍の影響等	43
（5）地域を訪問することとなったきっかけ	45
（6）関わり始めてからの年数	47
（7）地域への訪問頻度	48
（8）訪問一回あたりの滞在期間	49
（9）地域までの主な交通手段	51
（10）地域までの所要時間	52
（11）地域における滞在場所	53
（12）地域における過ごし方	54
（13）地域との関わりを持っている理由	55
（14）訪問先地域への移住意向	57
（15）訪問先地域への移住理由	58
7. 二次調査結果 関係人口（非訪問系）	59
（1）属性	59
（2）関わりのある地域【都道府県】	60
（3）関わり始めてからの年数	61
（4）関わり始めたきっかけ	62
（5）非訪問地域との関わり方	63
（6）訪問系への移行可能性及び過ごし方	64
（7）訪問しない理由	65

1. アンケート概要 (1)調査手法と調査フロー

【調査手法】全国18歳以上の男女を対象として、インターネットWEBアンケート調査を実施。≪R5. 9. 19(火)～R5. 10. 3(火)≫

【回収結果】一次調査：12万サンプル、二次調査：4万サンプル

※本調査では、二次調査のサンプル数を4万サンプルと設定し、一次調査から二次調査へ移行する全てのサンプル数は獲得していない。

※そのため、二次調査のサンプル数に対し、補正率を設定している。

■一次調査

・性別、年齢（調査会社保有情報）

・SC1-1：居住地（都道府県）

・SC1-2：居住地（市区町村）

・SC1-3：世帯構成

・SC1-4：職業

・SC1-5：世帯年収

・SC1-6：居住地と通勤・通学先を除く地域との関わりの有無および関わり方

・SC1-7：今後、居住地と通勤・通学先を除く地域での関わり意向【SC1-6で該当する関わりの無い方のみ対象】

・SC1-8：今後、関わりを持ちたい地域での過ごし方【SC1-7で関りのある地域があると良いと回答した方のみ対象】

・SC1-9：今後、地域との関わりを持つための改善点【SC1-7で関りのある地域があると良いと回答した方のみ対象】

・SC1-10：居住地における地域活動への参加状況

・SC1-11：地域活動への参加または不参加の理由

SC1-6：居住地と通勤・通学先を除く地域との関わりの有無および関わり方

1	地域ならではの飲食や買い物（地場産品の購入）、自分の趣味や地域の環境を楽しむために、特定の地域を定期的又は継続的に訪問している
2	テレワークやワーケーションを目的として、特定の地域を定期的又は継続的に訪問している
3	会社などの所属組織での出張で、特定の地域を定期的又は継続的に訪問している
4	副業を目的として、特定の地域を定期的又は継続的に訪問している
5	イベントや地域体験プログラムへの参加、地域の人とのコミュニケーションを図る目的で、特定の地域を定期的又は継続的に訪問している
6	地域づくり、地域貢献活動又はボランティアで、特定の地域を定期的又は継続的に訪問している
7	住民票を登録している（又はメインで居住している）市区町村以外に居住する（又は長期的に滞在する）ための地域が2つ以上あり、定期的又は継続的に訪問している
8	住民票を登録している（又はメインで居住している）市区町村以外に居住する（又は長期的に滞在する）ための地域が1つあり、定期的又は継続的に訪問している
9	地縁がある又は血縁者のいる地域に訪問している（お盆や正月の帰省を除く）
10	お盆や正月に帰省を行っている
11	上記1～10とは別の目的や理由で、特定の地域を定期的又は継続的に訪問している
12	ふるさと納税によって、特定の地域を継続的に応援している
13	クラウドファンディングによって、特定の地域を継続的に応援している
14	地域を訪問せずに地場産品等を購入することにより、その地域を応援している
15	都市部にいながら、特定の地域のためになる仕事を継続的に請け負っている
16	SNS等で、自分の住んでいる地域以外の特定の地域の情報発信を行っている
17	オンライン（Zoom、Slack等）を活用して、特定の地域と定期的又は継続的に関わっている
18	上記12～17とは他の方法で、訪問せずに特定の地域と定期的又は継続的に関わりを持っている
19	あてはまる地域が無い

訪問による地域との
関わりがある方
※SC1-6:「1」～「11」選択

地域との関わり
が無い方
※SC1-6:「3」のみ選択
「19」選択

調査終了

非訪問のみによる
地域との関わりがある方
※SC1-6:「12」～「18」のみ選択

■二次調査（訪問系）

・Q1-1：関わりのある地域（都道府県）（最大4つ）

・Q1-2：関わりのある地域（市区町村）（最大4つ）

・Q1-3：関わりのある地域の地域区分

・Q1-4：コロナ禍の影響等による現在の地域との関わり状況

・Q1-5：地域を訪問することとなったきっかけ

・Q1-6：地域と関り始めてからの年数

・Q1-7：訪問頻度

・Q1-8：一回の訪問での滞在期間

・Q1-9：地域までの移動における主な交通手段

・Q1-10：地域までの移動における所要時間

・Q1-11：地域における主な滞り場所

・Q1-12：地域における過ごし方

・Q1-13：地域との関わりを持っている理由

・Q1-14：訪問先の地域への移住意向

・Q1-15：移住したいと思う理由【Q2-14で移住意向を示した方のみ対象】

非訪問による
地域との関わりも
ある方
※SC1-6:「12」～「18」選択

■二次調査（非訪問系）

・Q2-1：関わりのある地域（都道府県）（最大4つ）

・Q2-2：関わりのある地域（市区町村）（最大4つ）

・Q2-3：地域と関り始めてからの年数

・Q2-4：地域を訪問せずに関り始めたきっかけ

・Q2-5：地域との関わり方

・Q2-6：関わりのある地域への今後の訪問意向および
過ごし方

・Q2-7：今後も地域を訪問しない理由
【Q2-6で訪問意向が無いと回答した方のみ対象】

1. アンケート概要 (2)アンケート設問項目 ①一次調査

一次調査設問

設問番号	設問	回答形式
SC1-1	あなたの居住地の都道府県名を教えてください。	単一回答
SC1-2	あなたの居住地の市区町村名を教えてください。	単一回答
SC1-3	あなたの居住地での世帯構成を教えてください。（いくつでも可）	複数回答
SC1-4	あなたの職業を教えてください。（いずれか一つ）	単一回答
SC1-5	ご同居のすべての方を合わせた世帯年収はどの程度ですか。（いずれか一つ）	単一回答
SC1-6	居住地（日常的な生活圏）と通勤・通学先を除く地域との関わりの有無（コロナ禍の影響等により、一時的に中断している関わりも含む）について、以下の1～18のうちあてはまるものを教えてください。 （あてはまる地域がない場合は、「あてはまる地域が無い」のみを選択してください）（いくつでも可）	複数回答
SC1-7	今後、居住地（日常的な生活圏）と通勤・通学先を除く地域で、定期的または継続的に訪問・滞在して関わりを持つような地域があると良いと思いますか。（会社などの所属組織での出張は除きます）（いずれか一つ）	単一回答
SC1-8	今後、関わりを持ちたい地域で、どのような過ごし方をしてみたいと思いますか。（いくつでも可）	複数回答
SC1-9	どのような点が改善されれば、今後、地域との関わりを持つ（又は深化する）ことができると思いますか。（いくつでも可）	複数回答
SC1-10	居住地を中心とする地域における地域活動への参加状況について、以下に示す活動の内容毎にそれぞれ教えてください。 1. 健康や医療サービスに関係した活動 2. 高齢者を対象とした活動 3. 障がい者を対象とした活動 4. 子どもを対象とした活動 5. スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動 6. まちづくりのための活動 7. 農林漁業等の産業支援に関する活動 8. 安全な生活のための活動 9. 災害に関係した活動 10. 多文化共生に関連した活動 11. その他の活動	単一回答
SC1-11	地域活動への参加（又は不参加）の理由を教えてください。（地域活動に参加した方は選択肢1～11から回答（いくつでも可）、地域活動に不参加の方は選択肢12～16から回答（いくつでも可））	複数回答

1. アンケート概要 (2)アンケート設問項目 ②二次調査(訪問系)

二次調査設問 (訪問系)

設問番号	設問	回答形式
Q1-1	ここからは、あなたの定期的又は継続的に「関わりのある地域」について、最大4地域までのことをお聞きします。 Q1-1で関わりが深いと感じる市区町村の都道府県名を選択して、Q1-2でその市区町村名を教えてください。 なお、同一都道府県内の市区町村が2以上ある場合は、それぞれ都道府県名をお答えください。 (関わりのある地域が2つ以上ない場合は、(2番目に関わりが深いと感じる地域)、(3番目に関わりが深いと感じる地域)及び(4番目に関わりが深いと感じる地域)で「1.これ以上はない」を選択してください。)	単一回答
Q1-2	あなたの「関わりのある地域」の市区町村名を教えてください。	単一回答
Q1-3	「関わりのある地域」は次のどれにあてはまりますか。(いずれか一つ) ・市街地部(住宅地):市街地部(商業集積地等)に広がる住宅地 ・市街地部(市街地内農林地等):市街地部(商業集積地、住宅地等)に立地する農地(貸農園等含む)、林地等 ・郊外部(郊外住宅地):市街地部周辺に広がる郊外住宅地 ・郊外部(周辺農林地等):市街地部周辺に広がる周辺農地(貸農園等含む)、周辺林地等 ・農山漁村部:市街地部、郊外部から離れており、周辺に農地や森林、又は海岸等の自然豊かな環境が広がる地域	単一回答
Q1-4	現在、地域との関わり方は、コロナ禍の影響等によりどのような状況にありますか。(いずれか一つ)	単一回答
Q1-5	地域を訪問することとなったきっかけを教えてください。(いくつでも可)	複数回答
Q1-6	地域と関わり始めてからの年数について教えてください。(いずれか一つ)	単一回答
Q1-7	地域を訪問している頻度を教えてください。(いずれか一つ)	単一回答
Q1-8	地域への一回の訪問で、どの程度の期間(時間)滞在することが多いですか。(いずれか一つ)	単一回答
Q1-9	地域までの移動で、よく利用していた主な交通手段を教えてください。(いくつでも可)	複数回答
Q1-10	地域までの移動にかかっていた片道の所要時間(トータル)を教えてください。(いずれか一つ)	単一回答
Q1-11	地域において、よく利用している滞在場所を教えてください。(いくつでも可)	複数回答
Q1-12	地域における過ごし方や活動を選んでください。(いくつでも可)	複数回答
Q1-13	地域との関わりを持っている理由を教えてください。(いくつでも可)	複数回答
Q1-14	訪問先の地域に、今後移住したいと思いますか。(いずれか一つ)	単一回答
Q1-15	「移住したい」と思う理由を教えてください。(いくつでも可)	複数回答

1. アンケート概要 (2)アンケート設問項目 ③二次調査(非訪問系)

二次調査設問（非訪問系）

設問番号	設問	回答形式
Q2-1	ここからは、あなたが地域を訪問せずに継続的に関わっている特定の地域名を教えてください。（※Q1-1～Q1-2で、あなたが訪問して関わりのある地域を回答頂いている場合は、当該地域以外で訪問せずに継続的に関わっている地域を教えてください。なお、そのような地域がない場合は、「該当する地域がない」をお選びください。） Q2-1で都道府県名を選択して、Q2-2でその市区町村名を教えてください。なお、同一都道府県内の市区町村が2以上ある場合は、それぞれ都道府県名をお答えください。 （該当する地域がない場合は、（1番目に関わりが深いと感じる地域）、（2番目に関わりが深いと感じる地域）、（3番目に関わりが深いと感じる地域）及び（4番目に関わりが深いと感じる地域）で「1. 該当する地域がない」を選択してください。）	単一回答
Q2-2	あなたの「地域に訪問せずに関わりのある地域」の市区町村名を教えてください。（※Q1-2で回答頂いた市区町村は選択不可）	単一回答
Q2-3	あなたが地域を訪問せずに継続的に関わり始めてからの年数について教えてください。（いずれか一つ）	単一回答
Q2-4	あなたが地域を訪問せずに継続的に関わり始めた理由やきっかけについて教えてください。（いくつでも可）	複数回答
Q2-5	地域との関わり方（訪問を伴わない）を選んでください。（いくつでも可）	複数回答
Q2-6	あなたが、地域を訪問せずに関わりを持つ地域について、今後、定期的または継続的に訪問・滞在して行いたい過ごし方はありますか。（いくつでも可） （特に訪問・滞在したいと思っていない場合は、「25. 特に訪問・滞在したいと思っていない」のみを選択してください）	複数回答
Q2-7	今後、地域を「訪問しない理由」を教えてください。（いくつでも可）	複数回答

1. アンケート概要 (3) サンプル数の獲得方法と地域区分の設定①

- 目標サンプル数を割り付けるセグメントは、「地域58区分（三大都市圏都市部・その他地域、都道府県別）」、「性別2区分」、「年齢階層別14区分」の合計1,624区分とする。
- 各セグメントに対し、令和2年国勢調査の人口比率により目標サンプル数を割り付けている（地域区分および性別毎のサンプル割付率は令和2年国勢調査の人口比率と整合する）。
- ただし、調査会社のモニター保有状況を考慮し、目標サンプル数の取得が困難なセグメントについては、地域区分と性別を固定した上で、年齢階層の近いセグメントでサンプル数を補完した。

地域区分の設定

- 三大都市圏都市部とそれ以外のその他地域に区分する。
- 三大都市圏都市部は、下表の基準に含まれる市区町村を各大都市圏の都市部として設定する。（但し、人口密度が当該大都市圏平均よりも低く、かつ、1次産業就業者割合が当該大都市圏平均よりも高い市町村は除く。）
- 居住地、関わり先の集計に関しては、これらの地域区分で行う。

地域区分の設定		設定地域
三大都市圏都市部	首都圏都市部	首都圏整備法：既成市街地または近郊整備地帯
	中部圏都市部	中部圏開発整備法：都市整備区域
	近畿圏都市部	近畿圏整備法：既成都市区域または近郊整備区域
その他地域		

【首都圏整備法】

※既成市街地：産業・人口の過度の集中を防止し、かつ、都市の機能の維持及び増進を図る区域。

※近郊整備地帯：既成市街地の近郊で、無秩序な市街地化を防止するため、計画的な市街地として整備し、あわせて緑地を保全する必要がある区域。

【中部圏開発整備法】

※都市整備区域：産業開発の程度が高く、更に予想される経済発展の進展に応じ、都市の機能が十分に発揮されるよう計画的に基盤整備する必要がある地域のうち、次の各号に該当するものを都市整備区域として指定するものとする。

- (1) 自然的、経済的、社会的に密接な関連を有する一帯の広域的な地域であること。
- (2) 既に相当程度の人口の集積がある地域であること。
- (3) 既に相当程度の第二次産業又は第三次産業の集積があり、これらの産業の比重が高い地域であること。
- (4) 人口及び産業の集中に伴う市街化が著しい地域であること。

【近畿圏整備法】

※既成市街地：産業及び人口の過度の集中を防止し、かつ、都市の機能の維持及び増進を図る必要がある市街地の区域。

※近郊整備区域：既成都市区域の近郊において、当該既成都市区域の市街地の無秩序な拡大を防止するため、計画的に市街地として整備する必要がある区域。

- 前頁の条件で、目標サンプル数12万サンプルの割付けを行った（実施時には、本割付表を基になるべく属性の近いセグメントからサンプルを補完し、12万サンプルを回収した）。

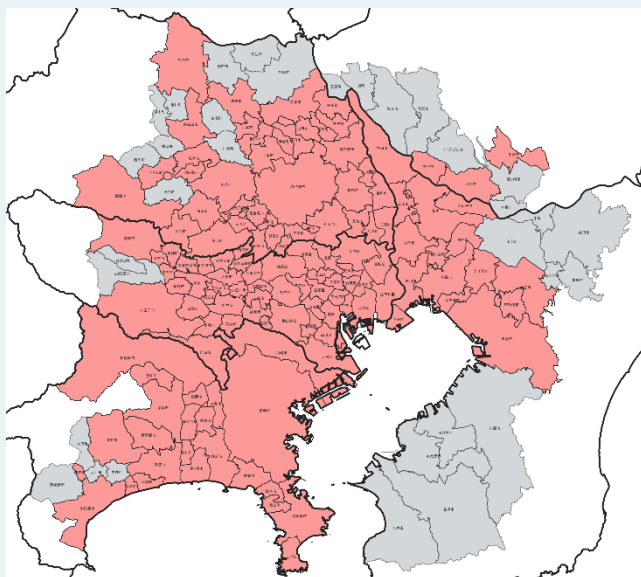
一次調査目標サンプル数の割付表

大区分	都道府県	調査対象人口（18歳以上人口）																														
		合計		男性														女性														
		男女18歳以上計	18～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳～	男性合計	18～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳～	女性合計
三大都市圏 都市部	茨城県	247	3	5	8	10	13	15	12	9	9	12	14	11	0	0	121	8	8	9	11	13	15	13	10	14	11	4	11	4	0	126
	埼玉県	6,263	94	224	237	267	309	373	324	271	230	250	284	226	0	0	3,089	322	234	242	273	311	376	329	277	245	282	203	80	0	3,174	
	千葉県	4,528	83	166	176	196	224	268	237	194	159	168	197	159	0	0	2,227	230	168	174	196	222	267	233	192	166	191	186	76	0	0	2,301
	東京都	13,390	280	589	597	642	679	751	684	578	450	431	477	354	0	0	6,512	693	604	603	635	675	759	675	560	450	453	545	226	0	0	6,878
	神奈川県	8,678	169	321	330	372	425	508	474	398	317	322	362	281	0	0	4,279	436	313	322	368	422	508	464	385	321	347	358	155	0	0	4,399
	愛知県	5,934	98	234	244	263	292	348	301	257	214	220	255	199	0	0	2,925	314	231	241	265	297	356	307	267	230	251	196	54	0	0	3,009
	三重県	523	8	21	21	22	25	31	26	23	20	21	24	18	0	0	260	26	19	20	22	26	32	27	26	23	24	13	5	0	0	263
	京都府	2,025	41	67	69	77	91	108	94	81	71	77	98	73	0	0	947	123	73	75	85	100	120	104	92	80	92	100	34	0	0	1,078
	大阪府	8,337	138	298	306	328	372	463	413	349	288	313	375	295	0	0	3,938	444	323	326	352	403	497	444	377	317	360	416	140	0	0	4,399
	兵庫県	2,902	60	84	84	107	124	155	139	121	106	113	132	100	0	0	1,335	146	96	103	120	141	174	157	138	122	133	163	74	0	0	0
奈良県	1,079	14	26	34	39	45	57	50	45	42	48	55	44	0	0	499	55	33	27	34	52	65	58	53	47	62	16	0	0	0	580	
三大都市圏都市部計	53,906	988	2,036	2,116	2,323	2,599	3,077	2,754	2,326	1,906	1,975	2,273	1,760	0	0	26,132	2,797	2,102	2,152	2,370	2,662	3,169	2,811	2,377	2,013	2,204	2,253	864	0	0	0	27,774
	北海道	5,120	57	120	169	193	226	262	226	220	219	252	258	176	0	0	2,378	210	176	195	229	269	310	283	280	276	332	147	35	0	0	2,742
その他地域	青森県	1,209	9	19	39	47	55	61	57	59	60	68	68	18	0	0	560	39	41	49	61	70	80	78	82	89	44	15	1	0	0	649
	岩手県	1,179	8	22	39	47	56	61	55	58	61	68	64	20	0	0	559	34	44	51	61	71	78									

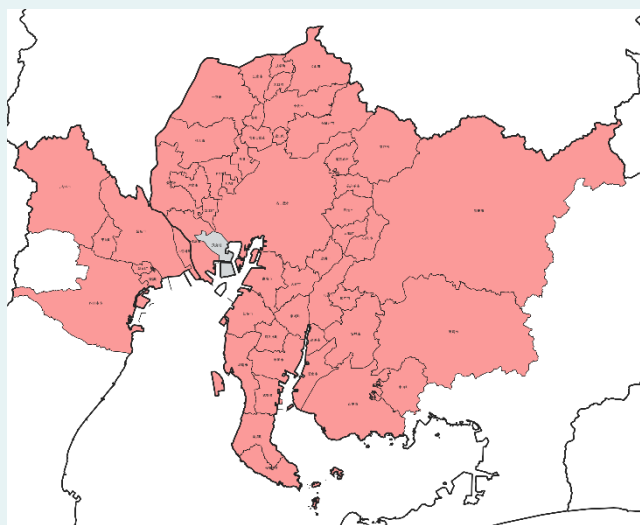
1. アンケート概要 (3) サンプル数の獲得方法と地域区分の設定③

三大都市圏の地域区分図

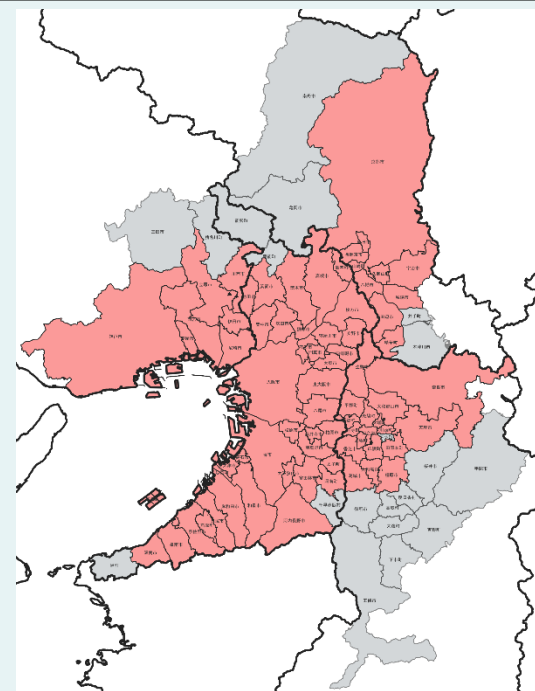
首都圏都市部



中部圏都市部



近畿圏都市部



※ピンク色：大都市圏都市部、灰色：大都市圏都市部以外

- ・ アンケートを実施し、以下のように12万サンプルを回収した。

一次調査回収サンプル数

大区分	都道府県	調査対象人口(18歳以上人口)																															
		合計	男性															女性															
			男女18歳以上人口	18～24歳	25～34歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳～	男性合計	18～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳～	女性合計
三大都市圏都市部	茨城県	247	3	5	8	10	13	15	12	9	9	12	14	11	0	0	121	8	8	9	11	13	15	14	9	10	14	11	4	0	0	126	
	埼玉県	6,167	93	222	232	262	301	370	315	267	228	245	277	221	0	0	3,033	316	231	240	269	304	369	328	276	244	278	201	78	0	0	3,134	
	千葉県	4,373	82	162	174	189	214	258	229	186	151	162	186	149	0	0	2,142	224	167	167	192	214	257	228	181	165	180	181	75	0	0	2,231	
	東京都	13,334	277	587	597	636	677	748	682	575	449	430	474	352	0	0	6,484	691	603	601	630	672	758	672	559	449	447	542	226	0	0	6,850	
	神奈川県	8,678	169	321	330	372	425	508	474	398	317	322	362	281	0	0	4,279	436	313	322	368	422	508	464	385	321	347	358	155	0	0	4,399	
	愛知県	6,333	111	252	257	287	309	364	316	273	231	238	275	219	0	0	3,132	330	248	260	280	313	381	331	282	249	269	201	57	0	0	3,201	
	三重県	523	8	21	21	22	25	31	26	23	20	21	24	18	0	0	260	26	19	20	22	26	32	27	27	23	23	13	5	0	0	263	
	京都府	1,965	41	66	68	74	90	105	87	81	69	73	93	68	0	0	915	120	70	75	84	95	117	101	91	79	88	96	34	0	0	1,050	
	大阪府	8,337	138	298	306	328	372	463	413	349	288	313	375	295	0	0	3,938	444	323	326	352	403	497	444	377	317	360	416	140	0	0	4,399	
	兵庫県	2,902	60	84	94	107	124	156	138	121	106	113	132	100	0	0	1,335	146	96	103	120	141	174	157	138	122	133	163	74	0	0	1,567	
	奈良県	1,079	14	26	34	39	45	57	50	45	37	42	48	55	44	0	0	499	55	33	37	43	52	65	58	53	49	57	62	16	0	0	580
	三大都市圏都市部計	53,938	996	2,044	2,121	2,326	2,595	3,075	2,742	2,327	1,910	1,977	2,267	1,758	0	0	26,138	2,796	2,111	2,160	2,371	2,655	3,173	2,824	2,378	2,028	2,196	2,244	864	0	0	27,800	
	北海道	5,120	57	120																													

※都道府県はアンケートによる居住地の回答結果（SC1-1及びSC1-2）を基に区分。（割付け時は調査会社のモニター登録情報の居住地を基に区分。） 10

1. アンケート概要 (5)標本誤差率①

- 回収したサンプルを基に、都道府県別、性別、年齢階層別の標本誤差率を整理した。
- 尚、国勢調査の人口を母集団として1次調査の標本誤差を整理した他、今年度調査では2次調査の回収を4万サンプルで打ち切ったことを踏まえ、本調査を基にした関係人口の拡大推計値を母集団とした2次調査の標本誤差率についても参考として整理した。

■標本誤差の計算式

$$\varepsilon = t \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

N 母集団の規模（人数）

n 標本の規模 ⇒ 【一次調査：R5国政調査人口、二次調査：本調査による関係人口の拡大推計値】

P 当該質問項目の比率 ⇒ 【一次調査：一次調査の有効サンプル数、二次調査：最終的に“関係人口”として扱ったサンプル数】

t 誤差の幅をあらわす係数 ⇒ 【0.5】

ε 比率の標本誤差の値 ⇒ 【1.96 ※信頼区間95%】

1. アンケート概要 (5)標本誤差率②

- 本調査における都道府県別、性別、年齢階層別の標本誤差率は以下のとおりである。
- 1次調査の標本誤差率については、都道府県別・性別単位の集計であれば、概ね5%程度の誤差率が確保されており、三大都市圏付近については、性別・年齢階層別の集計においても、5%未満の精度が確保されている。
- 2次調査の標本誤差率については、三大都市圏付近では都道府県別・性別単位の集計でも概ね5%程度の精度が確保されているが、その他の都道府県においては、性別単位で集計する場合にも、10%~20%程度の誤差を考慮する必要がある。

■1次調査標本誤差率

(※関係人口数の推計等に考慮すべき誤差)

都道府県	調査対象人口(18歳以上人口)										
	男性					女性					女性 合計
	合計	18~ 34歳	35~ 49歳	50~ 64歳	65歳~	合計	18~ 34歳	35~ 49歳	50~ 64歳	65歳~	
北海道	1.38%	5.34%	3.79%	3.82%	3.77%	2.03%	4.15%	3.50%	3.41%	4.33%	1.89%
青森県	2.83%	11.97%	7.74%	7.40%	7.95%	4.16%	8.76%	6.76%	6.23%	12.65%	3.87%
岩手県	2.86%	11.79%	7.72%	7.45%	7.95%	4.16%	8.69%	6.79%	6.41%	14.45%	3.95%
宮城県	2.10%	7.14%	5.60%	5.81%	5.97%	3.03%	5.84%	5.29%	5.45%	7.15%	2.91%
秋田県	3.20%	14.44%	9.05%	8.56%	8.34%	4.71%	10.32%	7.65%	6.98%	13.09%	4.35%
山形県	3.05%	12.86%	8.31%	8.05%	8.02%	4.41%	9.38%	7.30%	6.89%	14.45%	4.23%
福島県	2.34%	9.06%	6.30%	6.16%	6.32%	3.36%	7.05%	5.75%	5.41%	10.33%	3.26%
茨城県	1.88%	7.20%	4.89%	5.04%	4.99%	2.67%	5.71%	4.57%	4.59%	7.63%	2.64%
栃木県	2.29%	8.49%	5.95%	6.19%	6.23%	3.26%	6.86%	5.55%	5.66%	9.02%	3.21%
群馬県	2.28%	8.59%	5.96%	6.13%	6.26%	3.26%	6.76%	5.50%	5.55%	9.70%	3.19%
山梨県	3.54%	14.77%	9.38%	9.21%	9.56%	5.09%	10.76%	8.65%	8.19%	15.12%	4.92%
埼玉県	1.18%	4.03%	3.04%	3.22%	3.35%	1.68%	3.34%	2.99%	3.13%	4.01%	1.65%
千葉県	1.27%	4.36%	3.29%	3.49%	3.57%	1.81%	3.68%	3.23%	3.36%	4.15%	1.78%
東京都	0.85%	2.57%	2.15%	2.37%	2.76%	1.22%	2.25%	2.15%	2.39%	2.80%	1.18%
神奈川県	1.05%	3.43%	2.70%	2.82%	3.13%	1.49%	2.98%	2.71%	2.84%	3.33%	1.47%
新潟県	2.13%	8.40%	5.80%	5.71%	5.76%	3.09%	6.44%	5.08%	4.95%	9.47%	2.95%
富山県	3.12%	12.25%	8.31%	8.66%	8.31%	4.52%	9.34%	7.65%	7.67%	10.95%	4.31%
石川県	3.00%	11.24%	7.92%	8.40%	8.08%	4.33%	8.62%	7.40%	7.49%	10.82%	4.15%
福井県	3.65%	13.99%	9.84%	9.89%	9.95%	5.29%	10.88%	8.79%	8.69%	14.45%	5.04%
長野県	2.23%	8.94%	5.99%	5.99%	5.90%	3.21%	6.87%	5.39%	5.32%	8.53%	3.09%
岐阜県	2.26%	9.10%	6.03%	6.17%	6.03%	3.27%	6.79%	5.63%	5.62%	7.75%	3.14%
静岡県	1.66%	6.10%	4.42%	4.52%	4.53%	2.39%	5.03%	4.22%	4.25%	5.42%	2.32%
愛知県	1.17%	3.76%	3.02%	3.24%	3.46%	1.67%	3.23%	2.98%	3.17%	4.07%	1.65%
三重県	2.40%	8.94%	6.39%	6.50%	6.53%	3.45%	7.16%	6.05%	5.92%	8.22%	3.33%
京都府	1.99%	6.94%	5.39%	5.64%	5.58%	2.90%	5.55%	5.08%	5.24%	6.18%	2.73%
大阪府	1.07%	3.60%	2.88%	3.02%	3.12%	1.56%	2.97%	2.77%	2.91%	3.23%	1.48%
兵庫県	1.37%	4.95%	3.75%	3.84%	3.86%	2.01%	4.03%	3.52%	3.54%	4.06%	1.88%
滋賀県	2.71%	9.06%	7.01%	7.65%	7.74%	3.88%	7.65%	6.82%	7.16%	9.14%	3.78%
奈良県	2.75%	10.95%	7.67%	7.65%	7.26%	4.04%	8.22%	7.10%	6.92%	7.97%	3.75%
和歌山県	3.28%	13.85%	9.17%	8.94%	8.66%	4.83%	10.27%	8.25%	7.77%	10.57%	4.48%
鳥取県	4.27%	16.56%	11.54%	11.88%	11.71%	6.26%	12.54%	10.44%	10.26%	15.49%	5.85%
島根県	3.88%	15.30%	10.44%	10.56%	10.33%	5.61%	11.70%	9.29%	9.01%	16.80%	5.37%
岡山県	2.35%	8.66%	6.32%	6.65%	6.36%	3.42%	6.69%	5.87%	5.99%	7.84%	3.24%
広島県	1.91%	6.63%	5.13%	5.40%	5.30%	2.77%	5.42%	4.82%	4.97%	6.30%	2.65%
山口県	2.73%	10.95%	7.60%	7.77%	7.07%	4.01%	8.28%	6.68%	6.53%	9.43%	3.73%
徳島県	3.76%	16.33%	10.27%	10.32%	9.75%	5.49%	11.96%	9.21%	8.83%	12.98%	5.16%
香川県	3.28%	13.33%	8.69%	9.09%	8.65%	4.76%	10.05%	8.10%	8.19%	10.75%	4.53%
愛媛県	2.76%	10.95%	7.62%	7.69%	7.36%	4.05%	8.34%	6.87%	6.69%	8.96%	3.77%
高知県	3.80%	17.05%	10.15%	10.15%	10.33%	5.57%	11.96%	8.90%	8.69%	15.49%	5.20%
福岡県	1.42%	5.16%	3.79%	4.08%	4.04%	2.09%	3.92%	3.56%	3.72%	4.55%	1.94%
佐賀県	3.57%	14.77%	9.47%	9.60%	10.10%	5.24%	10.56%	8.22%	8.19%	16.80%	4.87%
長崎県	2.78%	11.71%	7.62%	7.51%	7.58%	4.10%	8.37%	6.92%	6.46%	9.56%	3.78%
大分県	3.01%	12.15%	8.22%	8.34%	8.11%	4.42%	9.05%	7.18%	6.91%	12.44%	4.12%
熊本県	2.43%	10.00%	6.56%	6.57%	6.74%	3.74%	7.03%	5.78%	5.71%	10.63%	3.31%
宮崎県	3.09%	12.86%	8.40%	8.28%	8.56%	4.54%	9.29%	7.28%	7.10%	13.09%	4.22%
鹿児島県	2.56%	10.75%	7.14%	6.84%	7.03%	3.78%	7.56%	6.11%	5.73%	11.39%	3.48%
沖縄県	2.72%	9.95%	6.65%	6.98%	6.98%	3.90%	7.45%	6.27%	6.65%	17.89%	3.80%
計	0.28%	1.00%	0.75%	0.78%	0.81%	0.41%	0.82%	0.71%	0.72%	0.97%	0.39%

■【参考】2次調査標本誤差率

(※関係人口の詳細(属性や類型等)の分析等の際に考慮すべき誤差)

都道府県	調査対象人口(18歳以上人口)										
	男女 合計	男性					女性				
		18～ 34歳	35～ 49歳	50～ 64歳	65歳～	男性 合計	18～ 34歳	35～ 49歳	50～ 64歳	65歳～ 女性 合計	
北海道	4.18%	14.00%	11.09%	11.47%	11.79%	5.97%	11.16%	10.21%	11.71%	15.30%	5.85%
青森県	7.60%	27.17%	20.00%	26.18%	21.91%	11.63%	16.33%	19.99%	19.21%	32.66%	10.05%
岩手県	7.54%	23.09%	17.05%	23.76%	23.09%	10.56%	21.90%	15.89%	21.90%	43.82%	10.75%
宮城県	5.31%	15.49%	13.21%	15.49%	16.33%	7.49%	13.46%	12.86%	16.80%	19.60%	7.51%
秋田県	8.94%	30.98%	23.76%	26.18%	23.09%	12.75%	24.49%	21.37%	22.47%	43.82%	12.54%
山形県	8.49%	40.00%	24.49%	22.47%	28.28%	13.46%	18.85%	18.85%	21.90%	40.00%	10.95%
福島県	6.71%	19.21%	17.88%	16.33%	23.09%	9.34%	16.80%	14.60%	23.76%	37.04%	9.65%
茨城県	5.43%	16.80%	14.14%	16.33%	15.89%	7.84%	13.72%	14.14%	13.21%	25.30%	7.54%
栃木県	6.60%	19.60%	14.77%	18.51%	24.49%	9.22%	15.89%	17.05%	20.00%	28.29%	9.47%
群馬県	6.31%	23.09%	15.49%	16.80%	18.52%	8.94%	15.30%	16.80%	16.33%	30.99%	8.91%
山梨県	9.47%	29.54%	22.47%	24.49%	29.54%	12.98%	28.28%	22.47%	28.28%	37.04%	13.85%
埼玉県	3.06%	10.33%	7.24%	8.43%	8.46%	4.21%	8.43%	8.19%	8.94%	10.63%	4.46%
千葉県	3.33%	10.44%	7.67%	10.21%	9.47%	4.62%	8.83%	8.94%	10.16%	10.95%	4.80%
東京都	2.10%	6.00%	5.07%	6.08%	6.78%	2.94%	5.27%	5.37%	6.68%	7.45%	3.00%
神奈川県	2.65%	7.95%	6.10%	7.97%	8.11%	3.68%	7.40%	6.63%	8.16%	8.91%	3.82%
新潟県	6.12%	20.00%	14.44%	17.32%	17.32%	8.46%	17.05%	16.56%	15.49%	26.19%	8.87%
富山県	9.85%	40.00%	21.90%	27.17%	27.17%	13.59%	43.81%	21.37%	23.76%	49.00%	14.29%
石川県	8.31%	32.66%	20.43%	21.91%	23.09%	11.71%	23.09%	20.42%	25.29%	27.18%	11.79%
福井県	10.33%	32.66%	29.54%	26.18%	26.18%	14.14%	24.49%	29.53%	29.54%	49.00%	15.12%
長野県	6.28%	21.91%	14.29%	17.05%	19.21%	8.73%	16.80%	15.68%	18.19%	25.30%	9.06%
岐阜県	6.06%	21.38%	13.21%	18.85%	16.80%	8.37%	17.05%	15.89%	19.21%	18.86%	8.80%
静岡県	4.79%	16.56%	11.71%	13.85%	14.60%	6.93%	13.21%	11.46%	13.46%	16.11%	6.64%
愛知県	3.14%	9.30%	7.43%	10.05%	9.02%	4.39%	8.00%	7.97%	9.30%	12.15%	4.49%
三重県	6.47%	19.60%	16.33%	18.19%	20.00%	9.18%	17.05%	17.05%	17.05%	24.50%	9.14%
京都府	5.21%	17.05%	12.15%	17.89%	16.56%	7.67%	13.99%	11.97%	16.10%	16.11%	7.11%
大阪府	2.84%	8.43%	7.03%	7.84%	8.25%	3.92%	7.51%	7.63%	8.76%	9.65%	4.13%
兵庫県	3.64%	12.65%	9.98%	10.44%	11.24%	5.29%	10.16%	8.73%	9.70%	12.55%	5.01%
滋賀県	7.38%	20.00%	17.05%	25.29%	20.89%	10.10%	18.51%	19.99%	23.76%	27.18%	10.82%
奈良県	7.09%	24.49%	18.85%	22.47%	18.85%	10.38%	20.43%	17.32%	19.59%	20.89%	9.70%
和歌山県	8.91%	34.64%	20.88%	25.29%	24.49%	12.54%	21.90%	23.09%	26.18%	34.64%	12.65%
鳥取県	11.97%	43.82%	30.98%	34.64%	32.66%	17.32%	28.28%	27.17%	34.63%	69.29%	16.56%
島根県	11.16%	37.03%	32.65%	40.00%	26.18%	16.33%	30.98%	29.53%	25.29%	43.82%	15.30%
岡山県	6.65%	21.91%	16.33%	19.59%	21.38%	9.70%	17.59%	14.44%	19.59%	27.18%	9.14%
広島県	5.00%	15.49%	13.85%	13.33%	14.45%	7.11%	13.21%	12.34%	13.21%	21.38%	7.03%
山口県	8.34%	28.28%	22.47%	26.18%	23.09%	12.34%	27.17%	17.32%	19.59%	43.82%	11.31%
徳島県	9.70%	30.98%	26.18%	27.17%	29.54%	14.14%	28.28%	26.18%	21.38%	37.04%	13.33%
香川県	9.30%	32.66%	30.98%	22.47%	29.54%	14.00%	24.49%	21.90%	24.49%	30.99%	12.44%
愛媛県	8.03%	26.19%	18.19%	30.98%	24.49%	11.79%	20.00%	20.88%	21.38%	27.18%	10.95%
高知県	11.47%	40.00%	28.28%	29.54%	43.82%	16.80%	48.98%	26.18%	26.18%	37.04%	15.69%
福岡県	3.76%	12.25%	8.73%	10.16%	11.97%	5.24%	9.95%	9.38%	12.15%	12.87%	5.40%
佐賀県	10.10%	34.64%	24.49%	28.28%	27.17%	14.00%	32.65%	22.47%	23.76%	40.00%	14.60%
長崎県	8.25%	43.82%	17.59%	23.09%	25.30%	11.79%	23.76%	18.85%	25.29%	27.18%	11.55%
大分県	8.08%	27.17%	21.38%	21.38%	21.91%	11.31%	20.43%	21.37%	19.59%	56.58%	11.54%
熊本県	7.14%	34.64%	15.69%	18.85%	19.59%	9.85%	20.88%	17.88%	18.85%	30.99%	10.38%
宮崎県	8.83%	28.28%	20.43%	23.76%	29.54%	12.34%	21.38%	26.18%	24.49%	32.66%	12.65%
鹿児島県	8.31%	34.64%	20.00%	23.76%	23.09%	11.79%	28.28%	19.99%	19.59%	37.04%	11.55%
沖縄県	8.37%	29.54%	19.59%	21.38%	29.54%	11.88%	20.00%	21.37%	20.88%	69.29%	11.79%
計	0.76%	2.42%	1.85%	2.20%	2.28%	1.00%	2.02%	1.92%	2.20%	2.80%	1.00%

2. 関係人口の推計方法 (1)関係人口の定義及び分類①

- 本調査における関係人口の定義は、国土形成計画（令和5年7月閣議決定）を踏まえ、「移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、特定の地域に継続的に多様な形で関わる人」とする。
- 本調査では、関係人口を「訪問系」及び「非訪問系」に大別するとともに、関係人口（訪問系）の関わり先の地域における過ごし方（地域との関わり方）等を踏まえ、5つの大分類（直接寄与型、就労型（現地就労）、参加・交流型、就労型（テレワーク）、趣味・消費型）を定義している。

関係人口			定 義
訪問系	分類		日常生活圏、通勤圏、業務上の支社・営業所訪問等以外に定期的・継続的に関わりがある地域があり、かつ、訪問している人 （単なる帰省などの地縁・血縁的な訪問者を除く）
		1. 直接寄与型	産業の創出、商店街の空き店舗有効活用の活動、朝市・マルシェへの出店活動、ボランティア、地域資源・まちなみの保全活動、まちおこし・むらおこしにつながるようなプロジェクトの企画・運営、又は協力・支援等
		2. 就労型（現地就労）	地元の企業・事業所での労働（地域における副業）、農林漁業への就業、農林漁業者へのサポート（援農等）
		3. 参加・交流型	地域の人との交流やイベント、体験プログラム等に参加
		4. 就労型（テレワーク）	本業として普段行っている業務や仕事（テレワークなど）、訪問地域外の業務や仕事（テレワーク/副業など）
		5. 趣味・消費型	地縁・血縁先以外で、地域での飲食や趣味活動等を実施
非訪問系			地域を訪問せず、ふるさと納税、クラウドファンディング、地場産品等購入、特定の地域の仕事の請け負い、情報発信、オンライン交流等を継続的に行っている人

2. 関係人口の推計方法 (1)関係人口の定義及び分類②

- ・ 類型の判別方法は、「Q1-12：関わり先の地域における過ごし方（小分類）」によって設定している。
- ・ 類型の判別において「地域との結びつきの強さ」が大きい方を優先とし、最も結びつきが強いものは「直接寄与型」となる。
- ・ 「訪問系」「非訪問系」の両方を回答している場合、類型の判別において「訪問系」を優先とする。

		地域との結びつきの強さ							
		← 小 大 →							
	関わり先の地域における過ごし方の「小分類」	関わり先の地域における過ごし方の「中分類」	関係人口 (非訪問系)	趣味・消費型	就労型	参加・交流型	就労型		直接寄与型
					テレワーク		現地就労+ テレワーク	現地就労	
1	地域の交流拠点などで創発されるプロジェクトやコミュニティへの主体的な参加	イベント等地域交流の参加	×	×	△	●	△	△	△
2	地域のまちおこし・むらおこしにつながるようなプロジェクトの企画・運営、又は協力・支援等	地域づくりの企画への参加	×	×	×	×	×	×	●
3	地域に新たな仕事（産業）を創出するなどの活動への参加		×	×	×	×	×	×	●
4	地域でのボランティアや共助活動への参加		×	×	×	×	×	×	●
5	農地、水路、森林等の地域資源の共同保全活動への参加	地域保全活動の参加	×	×	×	×	×	×	●
6	まちなみ保全などの共同活動への参加		×	×	×	×	×	×	●
7	地元の企業・事業所での労働（地域における副業）		×	×	×	×	●	●	△
8	農林漁業への就業	地域内産業活動の参加 （現地就労）	×	×	×	×	●	●	△
9	農林漁業者のサポート（援農等）		×	×	×	×	●	●	△
10	商店街の空き店舗有効活用に関する活動への参加		×	×	×	×	×	×	●
11	朝市・マルシェへの出店に関する活動への参加	空き店舗や朝市等の利活用	×	×	×	×	×	×	●
12	地域の人との交流・コミュニケーションを楽しむ、人脈をつくる	イベント等地域交流の参加	×	×	△	●	△	△	△
13	祭りや地域体験プログラム等への参加		×	×	△	●	△	△	△
14	教養・学習の場への参加		×	×	△	●	△	△	△
15	地域ならではの飲食や買い物（地場産品の購入等）	趣味・消費活動または友人・知人との交流の参加	×	●	△	△	△	△	△
16	自分の趣味や地域の環境を楽しむ活動		×	●	△	△	△	△	△
17	市民農園・農業体験農園への参加		×	●	△	△	△	△	△
18	自家消費農業等の取組		×	●	△	△	△	△	△
19	地域において友人や知人との交流・コミュニケーションを楽しむ		×	●	△	△	△	△	△
20	本業として普段行っている業務や仕事（テレワークなど）	地域外産業活動の参加 （テレワーク/副業）	×	×	●	×	●	×	△
21	訪問地域外の業務や仕事（テレワーク/副業など）		×	×	●	×	●	×	△
22	自己の用務、生活行動等（日常的な買物、飲食、通院、生活サービス享受等）	自己の用務	×	△	△	△	△	△	△
23	墓参、家族・親族等の世話、面会、同窓会等		×	△	△	△	△	△	△
24	ふるさと納税によって、地域を継続的に応援	非訪問の活動を実施	●	△	△	△	△	△	△
25	クラウドファンディングによって、地域を継続的に応援		●	△	△	△	△	△	△
26	地域を訪問せずに地場産品等を購入することにより、その地域を応援		●	△	△	△	△	△	△
27	遠隔で地域のためになる仕事を請け負い		●	△	△	△	△	△	△
28	SNS等で地域の情報発信を行い応援		●	△	△	△	△	△	△
29	オンライン（Zoom、Slack等）を活用して、地域と継続的に関わっている		●	△	△	△	△	△	△
30	地域から応援・支援を受ける等の交流を行っている		△	△	△	△	△	△	△
31	特に何もしていないで過ごす		△	△		△	△	△	△
31	その他、特に行っている活動（自由記入欄あり）		※回答内容に応じて分類						

●：いずれか必ず含む △：含まれても含まれていなくてもよい ×：含まない

2. 関係人口の推計方法 (1)関係人口の定義及び分類③

- 関係人口の推計にあたり、関係人口の定義を踏まえた活動範囲や関わりの継続性を明確にするため、以下に示す条件に該当する地域に関しては、関係人口の関わりなしと整理した。

補正	二次調査設問	関わりなし地域
①	【関わり地域：市区町村】 Q1-2（訪問系） Q2-2（非訪問系）	同一市区町村間の関わり地域
②	【関わり年数】 Q1-6（訪問系） Q2-3（非訪問系） <選択肢> 1：1年未満 2：1年～2年未満 3：2年～3年未満 4：3年～4年未満 5：4年～5年未満 6：5年～10年未満 7：10年～15年未満 8：15年～20年未満 9：20年～25年未満 10：25年～30年未満 11：30年以上	関わり年数「1：1年未満」の地域
③	【訪問頻度】 Q1-7（訪問系） <選択肢> 1：月に10回以上 2：月に数回 3：月に1回程度 4：盆・正月・GWなどの長期休暇ごと 5：年に数回 6：年に1回程度 7：数年に1度（2～10年程度に1度） 8：不定期、決まっていない 9：その他	訪問頻度「7：数年に1度（2～10年程度に1度）」「8：不定期、決まっていない」「9：その他」の地域

2. 関係人口の推計方法 (2)アフター・コーディングと異常値棄却

アフター・コーディング

- 選択肢に「その他」があり、かつ自由記述が可能な設問について、「その他」以外の選択肢と類似の内容は他の選択肢へ振り分け、「その他」以外の選択肢にはないが類似の内容を示す回答は新たな選択肢を設定して再分類する。

二次調査（訪問系）	アフター・コーディング実施設問
Q1-7	地域への訪問頻度
Q1-8	一回の訪問での滞在期間（時間）
Q1-11	地域での滞在場所
Q1-12	地域における過ごし方や活動

異常値棄却

- 現実的に想定できない回答について、データの信頼性を確保するために除去（異常値棄却）を行っている。

【異常値棄却結果】 棄却回答者数：1,037人、棄却地域数：（訪問系）5,862地域、（非訪問系）1,119地域

【有効回答者数】 一次調査：120,000人－1,037人＝**118,963人**、二次調査：40,000人－1,037人＝**38,963人**

【有効回答地域数】 訪問系：96,132地域－5,862地域＝**90,270地域**、非訪問系：21,148地域－1,119地域＝**20,029地域**

	項目	棄却内容	棄却データ
棄却条件1：一次調査、二次調査	①	複数回答可の設問で全ての選択肢を選択している回答者 → 排他処理の選択肢、矛盾制御・選択肢が少ない設問を除いた上で異常値棄却を実施	該当回答者は調査全体から除外
	②	ランダムイズ設問以外の全ての設問で選択肢「1」を選択している回答者 → 但し、複数回答設問の場合、選択肢「1」以外の選択肢も選択している回答者は対象外	
棄却条件2：二次調査 Q1（訪問系）	①	訪問頻度×滞在期間による異常値棄却 → 訪問頻度が「月に10回以上」、「月に数回」、「月に1回程度」のいずれかで、滞在期間が「1ヵ月程度」または「長期滞在（1ヶ月以上）」 → 訪問頻度が「月に10回以上」で、滞在期間が「1、2週間程度」	- 全ての関り先（最大4地域）が異常値棄却の条件を満たす場合、当該回答者を調査全体から除外 - 一部の関り先が異常値棄却の条件を満たす場合、当該地域分のみ二次調査全体から除外
	②	訪問先×移動手段による異常値棄却 → 同一市町村内で新幹線又は飛行機利用、同一都道府県内陸市区町村内でフェリー利用	
棄却条件3：二次調査 Q2（非訪問系）	①	関り始めてからの年数による異常値棄却 → 関わりがふるさと納税で、年数が15年以上の回答者（ふるさと納税は2008年5月スタート）	

2. 関係人口の推計方法 (3)一次調査の拡大率設定

拡大方法

- 本調査でのアンケート調査はサンプル調査のため、調査対象地域の母集団をもとに拡大を行っている。
- 拡大方法は、カテゴリー別の母集団の規模とサンプル数をもとに拡大率を設定し、各サンプルに拡大率を乗じて拡大を行う。

		データ内容
母集団		令和2年国勢調査（18歳以上の日本人）
カテゴリー区分	居住地4区分	三大都市圏都市部（首都圏都市部、中部圏都市部、近畿圏都市部）、その他地域
	性別2区分	男性、女性
	年齢4区分	18歳～34歳、35歳～49歳、50歳～64歳、65歳以上

- 拡大率：R2国勢調査（人数） / 一次調査サンプル数 = 拡大率
例）首都圏18-34歳男性の拡大率：3,062,361/3,238=945.76

A：R2国勢調査（日本人のみ）人数

居住地区分	年齢	男性	女性	総計
首都圏都市部	18-34歳	3,062,361	2,993,444	6,055,805
	35-49歳	3,703,466	3,529,251	7,232,717
	50-64歳	3,228,252	3,052,162	6,280,414
	65歳-	3,599,650	4,551,367	8,151,017
中部圏都市部	18-34歳	645,410	592,855	1,238,265
	35-49歳	766,736	709,397	1,476,133
	50-64歳	664,192	636,077	1,300,269
	65歳-	796,964	991,309	1,788,273
近畿圏都市部	18-34歳	1,206,923	1,255,372	2,462,295
	35-49歳	1,434,559	1,502,525	2,937,084
	50-64歳	1,320,599	1,397,278	2,717,877
	65歳-	1,731,115	2,305,575	4,036,690
その他地域	18-34歳	5,095,348	4,849,584	9,944,932
	35-49歳	6,575,744	6,417,717	12,993,461
	50-64歳	6,380,549	6,569,843	12,950,392
	65歳-	9,141,589	12,038,719	21,180,308
総計		49,353,457	53,392,475	102,745,932

B：一次調査サンプル数

居住地区分	年齢	男性	女性	総計
首都圏都市部	18-34歳	3,238	4,308	7,546
	35-49歳	4,966	4,967	9,933
	50-64歳	4,267	4,284	8,551
	65歳-	3,467	3,082	6,549
中部圏都市部	18-34歳	662	893	1,555
	35-49歳	1,019	1,045	2,064
	50-64歳	886	934	1,820
	65歳-	789	565	1,354
近畿圏都市部	18-34歳	1,222	1,815	3,037
	35-49歳	1,941	2,125	4,066
	50-64歳	1,777	1,967	3,744
	65歳-	1,695	1,633	3,328
その他地域	18-34歳	4,391	7,409	11,800
	35-49歳	9,095	10,844	19,939
	50-64歳	8,810	11,097	19,907
	65歳-	8,839	4,931	13,770
総計		57,064	61,899	118,963

A/B：拡大率

居住地区分	年齢	男性	女性	総計
首都圏都市部	18-34歳	945.76	694.86	802.52
	35-49歳	745.76	710.54	728.15
	50-64歳	756.56	712.46	734.47
	65歳-	1,038.26	1,476.76	1,244.62
中部圏都市部	18-34歳	974.94	663.89	796.31
	35-49歳	752.44	678.85	715.18
	50-64歳	749.65	681.02	714.43
	65歳-	1,010.09	1,754.53	1,320.73
近畿圏都市部	18-34歳	987.66	691.67	810.77
	35-49歳	739.08	707.07	722.35
	50-64歳	743.16	710.36	725.93
	65歳-	1,021.31	1,411.86	1,212.95
その他地域	18-34歳	1,160.41	654.55	842.79
	35-49歳	723.01	591.82	651.66
	50-64歳	724.24	592.04	650.54
	65歳-	1,034.23	2,441.44	1,538.15
総計		864.88	862.57	863.68

※一次調査のサンプル数は、棄却回答者数1,037人を除いた値となっている。

2. 関係人口の推計方法 (4)二次調査の補正率設定

補正率設定方法

- 本調査では、二次調査のサンプル数の上限数を40,000サンプルとしたため、本来、一次調査から二次調査へ移行する予定であったサンプル数(64,586サンプル)より少なくなっている。
- そのため、上記移行できないかったサンプル数を補正するため、一次調査、二次調査それぞれのカテゴリー別(居住地、性別、年齢)のサンプル数の比率より補正率を算定している。(カテゴリー区分は、一次調査の拡大率設定と同じ。)

- 補正率：一次調査サンプル数(二次調査移行予定) / 二次調査サンプル数 = 補正率
例) 首都圏18-34歳男性の補正率：1,902/1,127=1.69

A：一次調査サンプル数(関わりあり：二次調査移行)

居住地区分	年齢	男性	女性	総計
首都圏 都市部	18-34歳	1,902	2,608	4,510
	35-49歳	2,813	2,801	5,614
	50-64歳	2,184	2,195	4,379
	65歳-	1,586	1,410	2,996
中部圏 都市部	18-34歳	408	521	929
	35-49歳	586	574	1,160
	50-64歳	445	468	913
	65歳-	366	246	612
近畿圏 都市部	18-34歳	760	1,064	1,824
	35-49歳	1,060	1,154	2,214
	50-64歳	861	966	1,827
	65歳-	782	701	1,483
その他 地域	18-34歳	2,637	4,582	7,219
	35-49歳	5,062	5,969	11,031
	50-64歳	4,437	5,829	10,266
	65歳-	4,185	2,387	6,572
総計		30,074	33,475	63,549

B：二次調査サンプル数

居住地区分	年齢	男性	女性	総計
首都圏 都市部	18-34歳	1,127	1,569	2,696
	35-49歳	1,864	1,778	3,642
	50-64歳	1,358	1,309	2,667
	65歳-	1,156	1,033	2,189
中部圏 都市部	18-34歳	226	347	573
	35-49歳	391	409	800
	50-64歳	255	303	558
	65歳-	271	184	455
近畿圏 都市部	18-34歳	439	657	1,096
	35-49歳	727	810	1,537
	50-64歳	493	609	1,102
	65歳-	527	511	1,038
その他 地域	18-34歳	1,509	2,697	4,206
	35-49歳	3,243	3,626	6,869
	50-64歳	2,452	3,111	5,563
	65歳-	2,477	1,495	3,972
総計		18,515	20,448	38,963

A/B：補正率

居住地区分	年齢	男性	女性	総計
首都圏 都市部	18-34歳	1.69	1.66	1.67
	35-49歳	1.51	1.58	1.54
	50-64歳	1.61	1.68	1.64
	65歳-	1.37	1.36	1.37
中部圏 都市部	18-34歳	1.81	1.50	1.62
	35-49歳	1.50	1.40	1.45
	50-64歳	1.75	1.54	1.64
	65歳-	1.35	1.34	1.35
近畿圏 都市部	18-34歳	1.73	1.62	1.66
	35-49歳	1.46	1.42	1.44
	50-64歳	1.75	1.59	1.66
	65歳-	1.48	1.37	1.43
その他 地域	18-34歳	1.75	1.70	1.72
	35-49歳	1.56	1.65	1.61
	50-64歳	1.81	1.87	1.85
	65歳-	1.69	1.60	1.65
総計		1.62	1.64	1.63

※一次調査、二次調査のサンプル数は、棄却回答者数1,037人を除いた値となっている。

2. 関係人口の推計方法 (5)関係人口の算定における留意事項

コロナ禍の影響等による関わりの中断地域について

- 二次調査での「Q1-4：地域との関わり方のコロナ禍の影響」で、選択肢3「コロナ禍の影響等により、一時的に関わりを中断し、現在も再開していないが、再開の見込みがある」と、選択肢4「コロナ禍の影響等により、関わりを中断し、再開の見込みもない」と回答した地域は、「関わりなし」として推計する。

一次調査 (SC1-6)	→	二次調査 (Q1-4)	→	二次調査 (Q1-11、12)
・特定の地域との関わりの有無		・地域との関わり方のコロナ禍の影響 ※選択肢 (全体) 1：コロナ禍と関係なく、定期的または継続的に関わっている 2：コロナ禍の影響等により、一時的に関わりを中断していたが、再開した 3：コロナ禍の影響等により、一時的に関わりを中断し、現在も再開していないが、再開の見込みがある 4：コロナ禍の影響等により、関わりを中断し、再開の見込みもない 5：コロナ禍が始まってから (2020年初頃より後に)、定期的または継続的に関わり始めた		・関わり先の過ごし方
「関わりあり」 5,382万人		選択肢3「コロナ禍の影響等により、一時的に関わりを中断し、現在も再開していないが、再開の見込みがある」、選択肢4「コロナ禍の影響等により、関わりを中断し、再開の見込みもない」を「関わりなし」とする		類型の分類より 関係人口を算定

訪問系設問における「非訪問のみ」の回答者について

- 本来、一次調査の「SC1-6：地域との関わりの有無」より「訪問系」「非訪問系」を大別し、その結果をもとに、二次調査の訪問系設問 (Q1)、非訪問系設問 (Q2) と進む設計となっている。
- 地域と関わりがある人は、「訪問系+非訪問系」、「訪問系のみ」、「非訪問系のみ」の3パターンに分かれ、それぞれ「訪問系+非訪問系」は二次調査のQ1とQ2を回答、「訪問系のみ」はQ1のみ回答、「非訪問系のみ」はQ2のみ回答となっている。
- しかし、二次調査の訪問系設問「Q1-12：関わり先の過ごし方」において、非訪問の活動のみ選択している回答者が見られ、これらは訪問系設問に回答しているものの、非訪問の回答として判別し、関わり先に関しても同様の扱いとしている。

【二次調査における回答パターン】

※正規回答パターン

	NO	Q1 訪問設問	Q2 非訪問設問	
1		訪問	非訪問	訪問+非訪問 の回答者
2		訪問		訪問のみの 回答者
3			非訪問	非訪問のみの 回答者

※訪問系設問における「非
訪問のみ」の回答パターン

	NO	Q1 訪問設問	Q2 非訪問設問
1		非訪問	非訪問
2		非訪問	
3			非訪問

2. 関係人口の推計方法 (6)代表地域の設定方法

代表地域の設定方法

- 本報告での集計においては、「人数ベース」と「地域数ベース」に分類される。
関わり先地域は、1人当たり最大4地域まで回答でき、
「人数ベース」：関わり先地域の中で代表地域を設定し、代表地域で集計したものとする。
「地域数ベース」：関わり先地域の、全ての地域で集計したものとする。（訪問系、非訪問系ともに最大4地域まで聞き取り）
- 代表地域の設定においては、関わり先（訪問系）、関わり先（非訪問系）でそれぞれ、以下に示す手順となる。

		代表地域の設定方法
関わり先 (訪問系)	優先順位1	「地域との結びつきの強さ」が最も大きい地域を代表地域とする。
	優先順位2	優先順位1の「地域との結びつきの強さ」で同じ地域が複数ある場合、 「関わり始めてからの年数」が最も長い地域を代表地域とする。
	優先順位3	優先順位2の「関わり始めてからの年数」で同じ地域が複数ある場合、 「滞在期間」が最も長い地域を代表地域とする。
	優先順位4	優先順位3の「滞在期間」で同じ地域が複数ある場合、 「訪問頻度」が最も高い地域を代表地域とする。
	優先順位5	優先順位4の「訪問頻度」で同じ地域が複数ある場合、 回答順が先の地域を代表地域とする。
関わり先 (非訪問系)		「関わり始めてからの年数」が最も長い地域を代表地域とし、年数が同じ 地域が複数ある場合は、回答順が先の地域とする。

2. 関係人口の推計方法 (7)年間訪問日数の算定

関係人口（訪問系）の年間訪問日数の推計方法

- 訪問先への「訪問頻度」及び「滞在期間」をもとに、関係人口（訪問系）による年間訪問日数の推計を行う。

■「訪問頻度」：「回/年」に変換して推計

■「滞在期間」：「日/回」に変換して推計

「訪問頻度」及び「滞在期間」の定義

訪問頻度の選択肢	定義	計算用の値 (回/年)
月に10回以上	月に10回	120
月に数回	隔週（月に2回）	24
月に1回程度	月に1回	12
盆・正月・GWなどの長期休暇ごと	年に3回	3
年に数回	年に2回	2
年に1回程度	年に1回	1
数年に1度（2～10年程度に1度）	5年に1回	0.2
不定期、決まっていない	10年に1回	0.1

滞在期間の選択肢	定義	計算用の値 (日/回)
半日程度（日帰り）	6時間（10時～16時）	0.25
丸1日程度（日帰り）	12時間（7時～19時）	0.5
1泊2日程度	24時間（10時～翌10時）	1
2～4泊程度	2泊	2
1、2週間程度	1週間	7
1ヶ月程度	30日	30

※訪問頻度や滞在期間でその他を選択した場合、
頻度や期間は不明（0回・0日）とする

関係人口（訪問系）の年間訪問日数の計算方法

訪問日数は以下の計算式で推計

$$\text{訪問日数（日/年）} = \text{訪問頻度（回/年）} \times \text{滞在期間（日/回）}$$

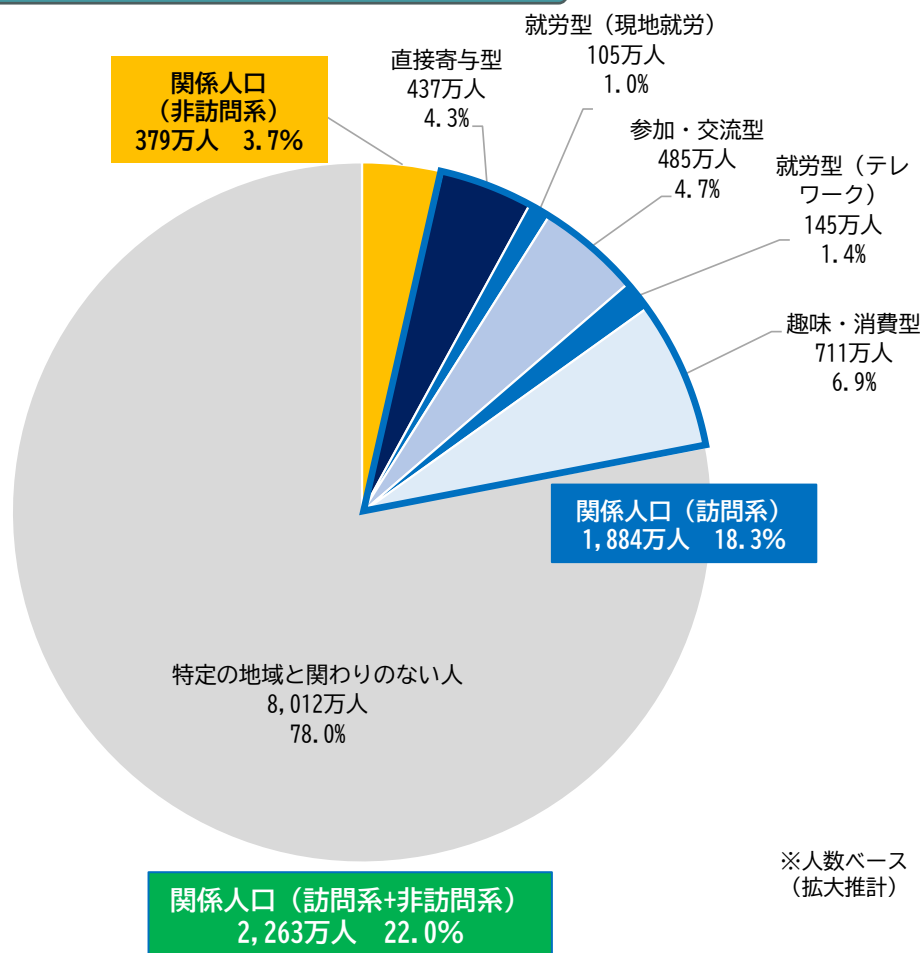
算出例 1）訪問頻度：年に数回、滞在期間：1泊2日程度
 $= 2 \times 1 = 2$ （日/年）

算出例 2）訪問頻度：月に10回、滞在期間：半日程度（日帰り）
 $= 120 \times 0.25 = 30$ （日/年）

3. 関係人口の推計結果 (1)全国18歳以上の居住者に占める関係人口割合

- 全国18歳以上の居住者に占める関係人口割合（令和5年度調査時点）は、関係人口（訪問系）は約1,884万人（約18%）、関係人口（非訪問系）は約379万人（約4%）となり、関係人口（訪問系+非訪問系）は約2,263万人（約22%）という推計結果となった。
- 特定の地域と関わりのない人は約8,012万人（約78%）となっており、全体の約1/4が特定の地域と関わりがあることになる。
- 関係人口の類型は複数回答となっており、複数回答でみると「趣味・消費型」が最も多く、次いで「参加・交流型」、「直接寄与型」となっている。

関係人口の推計結果（令和5年度調査時点）



類型の回答結果

関係人口	2,263万人
関係人口（訪問系）	1,884万人
関係人口（非訪問系）	379万人

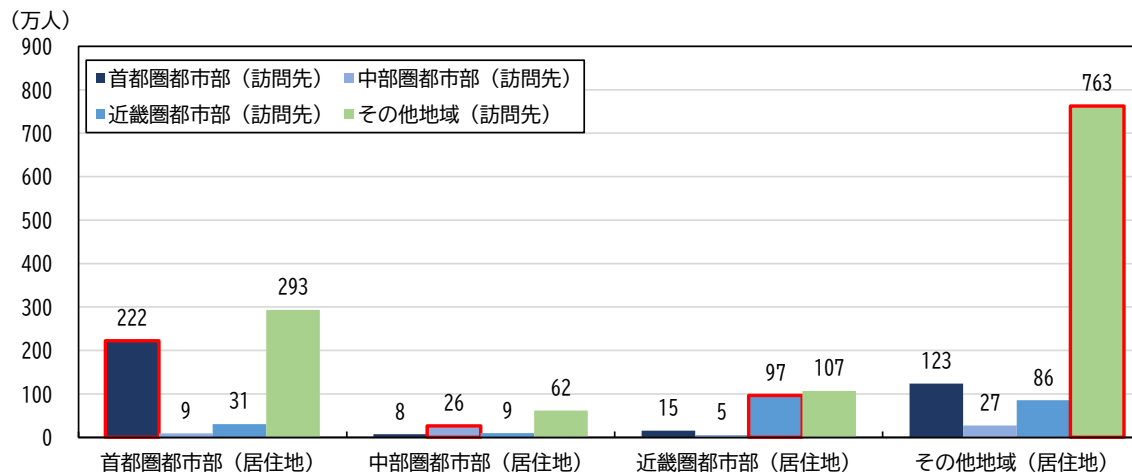
地域との結びつきの強さ				
強				弱
直接寄与型	就労型（現地就労）	参加・交流型	就労型（テレワーク）	趣味・消費型
437万人	105万人	485万人	145万人	711万人
437万人	171万人	681万人	217万人	1,098万人

※人数ベース
（拡大推計）

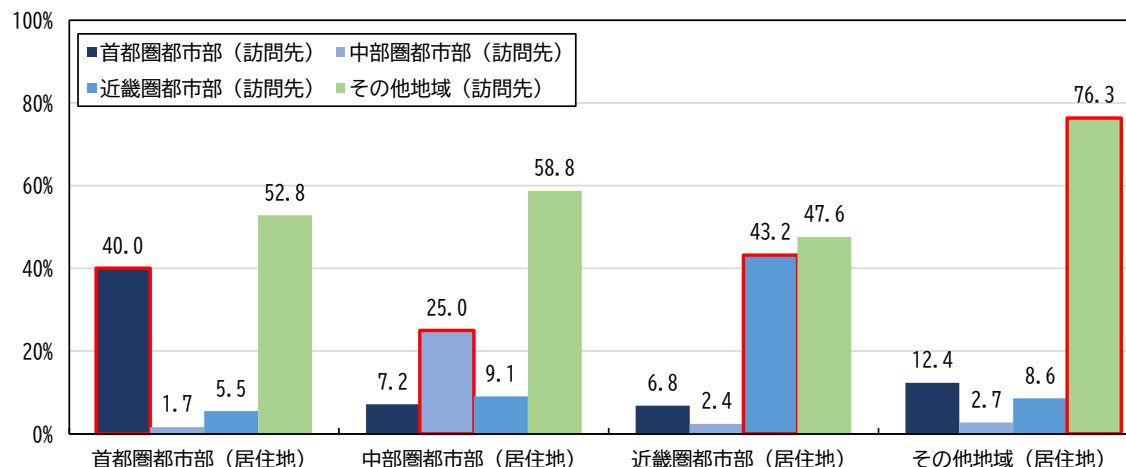
3. 関係人口の推計結果 (2)関係人口(訪問系)の流動

- 関係人口（訪問系）の流動人数は、「その他地域→その他地域」の約763万人が最も多く、次いで「首都圏都市部→その他地域」の約293万人、「首都圏都市部→首都圏都市部」の約222万人となっている。
- 同一圏域内の流動割合（グラフ赤枠）は、「その他地域」で7割強と最も高く、「首都圏都市部」、「中部圏都市部」、「近畿圏都市部」でも「その他地域」への流動割合が5～6割程度となっており、「その他地域」への流動が全体的に多い。

関係人口（訪問系）の流動人数



関係人口（訪問系）の流動割合



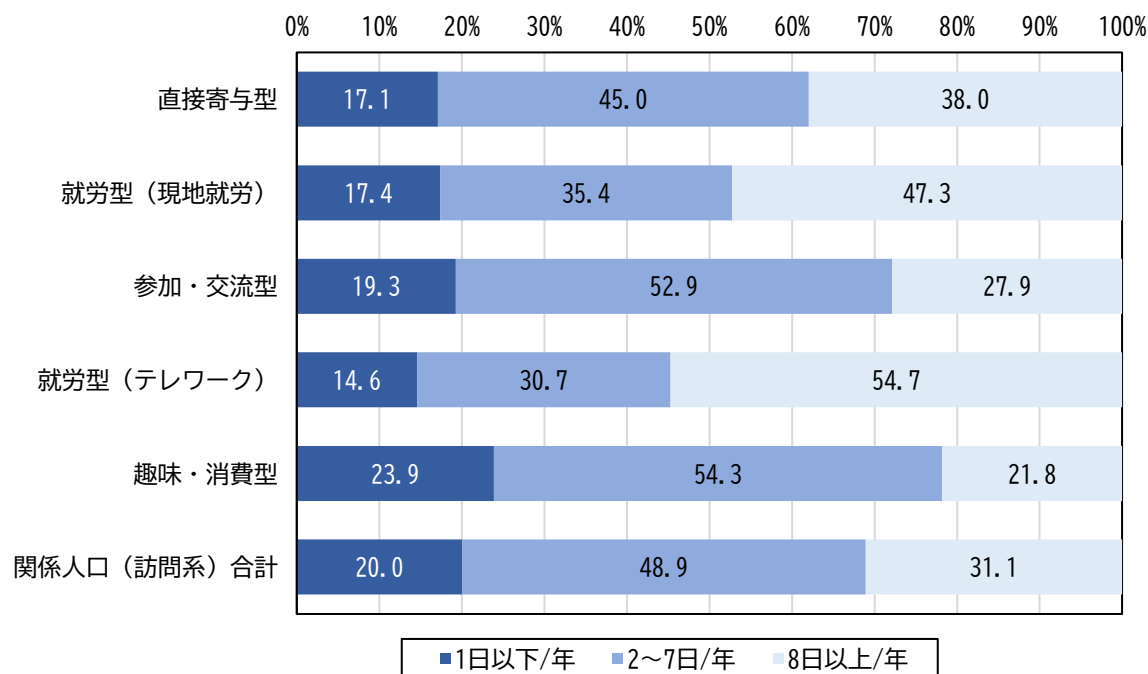
※赤枠：同一圏域内の流動

※人数ベース
(拡大推計)

3. 関係人口の推計結果 (3)関係人口(訪問系)の年間訪問日数

- 関係人口（訪問系）の年間訪問日数は、「1日以下/年」が約20%、「2～7日/年」が約49%、「8日以上/年」が約31%となっており、「2～7日/年」が最も多い。
- 類型別では、「就労型（現地就労）」「就労型（テレワーク）」は、「8日以上/年」が約半数となっており、他の類型に比べて年間訪問日数が多い。

関係人口（訪問系）の年間訪問日数

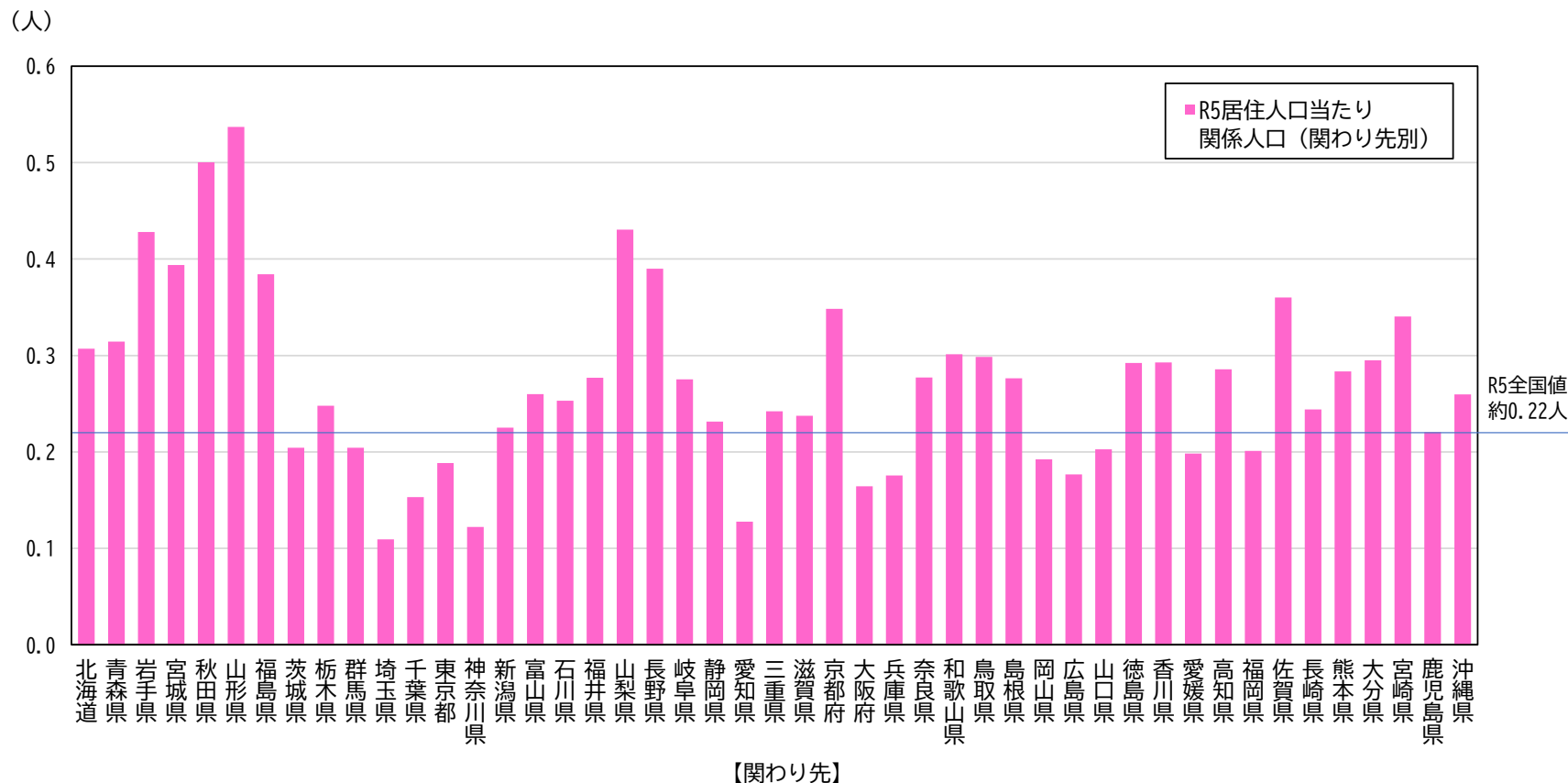


※人数ベース
(拡大推計)

3. 関係人口の推計結果 (4)居住人口当たりの関係人口(関わり先都道府県別①)

- 居住人口※当たりの関係人口（訪問系+非訪問系）は、全国値で約0.22人となっている。
- 関わり先都道府県別では、北海道、東北地方、山梨県、長野県、京都府、佐賀県、宮崎県等で0.3人を超えている。
※各都道府県の居住人口は、R2国勢調査の結果を利用していることから、R5の実際の数値は推計結果より高くなる。

都道府県別（関わり先別）関係人口の推計結果（参考値）



※関わり先は、代表的な1地域で集計している。

※各都道府県の居住人口は、R2国勢調査の結果を利用している。

※都道府県別については、サンプル数が限られていることから推計精度に留意が必要であるため、参考値として整理した。

精度については、P12の標本誤差率を参考にされたい。

※人数ベース
(拡大推計)

3. 関係人口の推計結果 (4)居住人口当たりの関係人口(関わり先都道府県別②)

都道府県別（関わり先別）関係人口の推計結果（参考値）

NO	関わり先 都道府県	関係人口 (万人)	R2国勢調査 居住人口 (万人)	居住人口 当たり 関係人口
1	北海道	137	445	0.31
2	青森県	33	105	0.31
3	岩手県	44	102	0.43
4	宮城県	75	191	0.39
5	秋田県	42	83	0.50
6	山形県	48	90	0.54
7	福島県	59	153	0.38
8	茨城県	48	235	0.20
9	栃木県	39	158	0.25
10	群馬県	32	157	0.20
11	埼玉県	65	594	0.11
12	千葉県	79	513	0.15
13	東京都	213	1,132	0.19
14	神奈川県	92	753	0.12
15	新潟県	42	185	0.23
16	富山県	22	86	0.26
17	石川県	24	93	0.25
18	福井県	17	63	0.28
19	山梨県	29	66	0.43
20	長野県	65	168	0.39
21	岐阜県	44	160	0.28
22	静岡県	69	298	0.23
23	愛知県	76	596	0.13
24	三重県	35	143	0.24

NO	関わり先 都道府県	関係人口 (万人)	R2国勢調査 居住人口 (万人)	居住人口 当たり 関係人口
25	滋賀県	27	112	0.24
26	京都府	73	208	0.35
27	大阪府	117	712	0.16
28	兵庫県	77	439	0.18
29	奈良県	31	110	0.28
30	和歌山県	23	78	0.30
31	鳥取県	14	46	0.30
32	島根県	15	55	0.28
33	岡山県	29	151	0.19
34	広島県	40	227	0.18
35	山口県	23	112	0.20
36	徳島県	17	59	0.29
37	香川県	23	78	0.29
38	愛媛県	22	110	0.20
39	高知県	17	58	0.29
40	福岡県	83	411	0.20
41	佐賀県	24	66	0.36
42	長崎県	27	109	0.24
43	熊本県	40	142	0.28
44	大分県	27	93	0.29
45	宮崎県	30	88	0.34
46	鹿児島県	28	128	0.22
47	沖縄県	29	113	0.26
	計	2,263	10,275	0.22

※関係人口（関わり先別）は、代表的な1地域で集計している。

※各都道府県の居住人口は、R2国勢調査の結果を利用している。

※都道府県別については、サンプル数が限られていることから推計精度に留意が必要であるため、参考値として整理した。

精度については、PI2の標本誤差率を参考にされたい。

※人数ベース
(拡大推計)

3. 関係人口の推計結果 (4)居住人口当たりの関係人口(居住地都道府県別)

都道府県別（居住地別）関係人口の推計結果（参考値）

NO	居住地 都道府県	関係人口 (万人)	R2国勢調査 居住人口 (万人)	居住人口 当たり 関係人口
1	北海道	82	445	0.18
2	青森県	23	105	0.22
3	岩手県	23	102	0.22
4	宮城県	51	191	0.27
5	秋田県	17	83	0.20
6	山形県	18	90	0.20
7	福島県	29	153	0.19
8	茨城県	45	235	0.19
9	栃木県	31	158	0.20
10	群馬県	33	157	0.21
11	埼玉県	135	594	0.23
12	千葉県	118	513	0.23
13	東京都	284	1,132	0.25
14	神奈川県	179	753	0.24
15	新潟県	37	185	0.20
16	富山県	13	86	0.16
17	石川県	21	93	0.23
18	福井県	13	63	0.21
19	山梨県	16	66	0.24
20	長野県	35	168	0.21
21	岐阜県	41	160	0.25
22	静岡県	63	298	0.21
23	愛知県	126	596	0.21
24	三重県	32	143	0.22

NO	居住地 都道府県	関係人口 (万人)	R2国勢調査 居住人口 (万人)	居住人口 当たり 関係人口
25	滋賀県	27	112	0.24
26	京都府	47	208	0.23
27	大阪府	155	712	0.22
28	兵庫県	99	439	0.23
29	奈良県	26	110	0.24
30	和歌山県	18	78	0.23
31	鳥取県	9	46	0.20
32	島根県	11	55	0.21
33	岡山県	31	151	0.20
34	広島県	55	227	0.24
35	山口県	19	112	0.17
36	徳島県	15	59	0.25
37	香川県	17	78	0.22
38	愛媛県	22	110	0.20
39	高知県	11	58	0.19
40	福岡県	102	411	0.25
41	佐賀県	12	66	0.18
42	長崎県	21	109	0.19
43	熊本県	26	142	0.18
44	大分県	20	93	0.21
45	宮崎県	18	88	0.21
46	鹿児島県	19	128	0.15
47	沖縄県	18	113	0.16
	計	2,263	10,275	0.22

※関係人口（居住地別）は、代表的な1地域で集計している。

※各都道府県の居住人口は、R2国勢調査の結果を利用している。

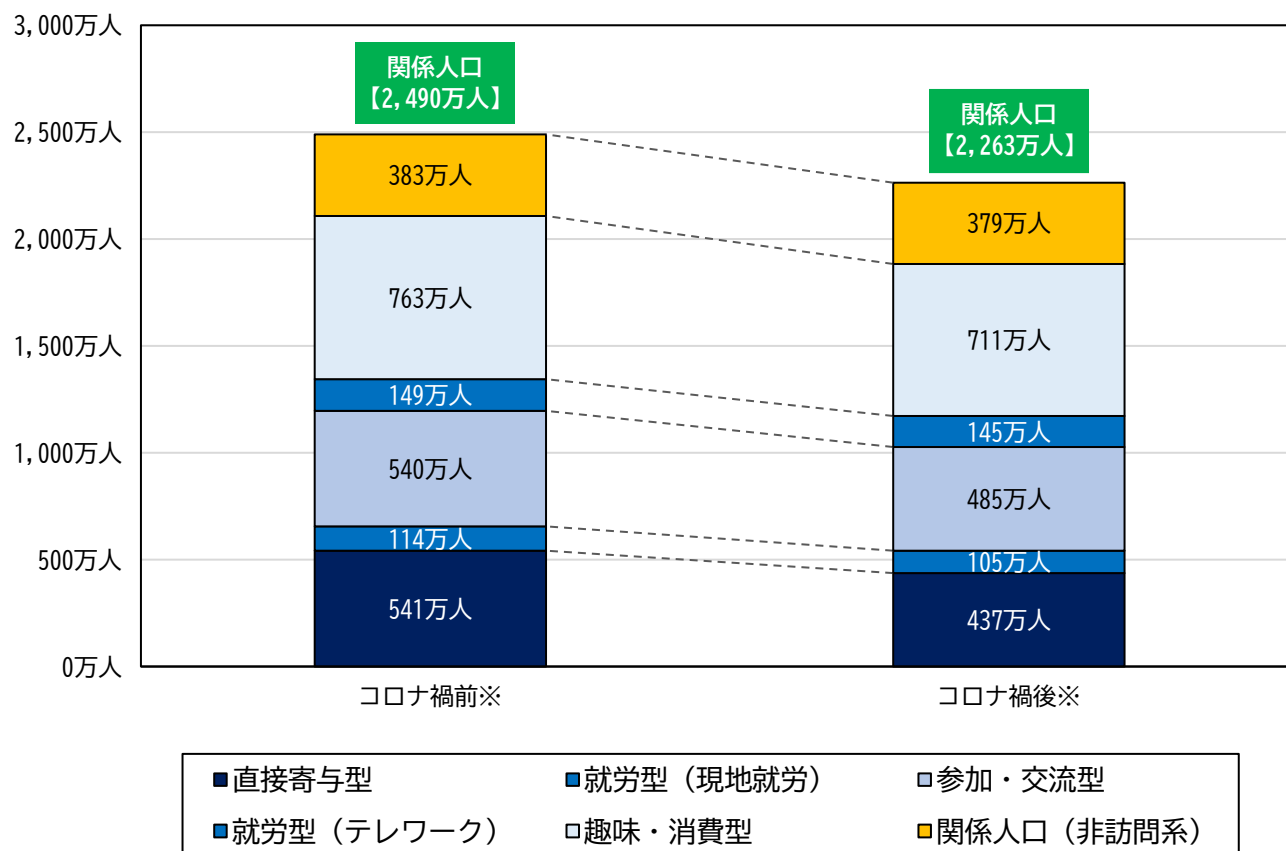
※都道府県別については、サンプル数が限られていることから推計精度に留意が必要であるため、参考値として整理した。

精度については、P12の標本誤差率を参考にされたい。

※人数ベース
(拡大推計)

3. 関係人口の推計結果 (5)コロナ禍前後の関係人口変化①

- コロナ禍前後の関係人口の推移では、コロナ禍前で約2,490万人、コロナ禍後で約2,263万人と約230万人減少している。
- 類型別でも全ての類型で減少している。



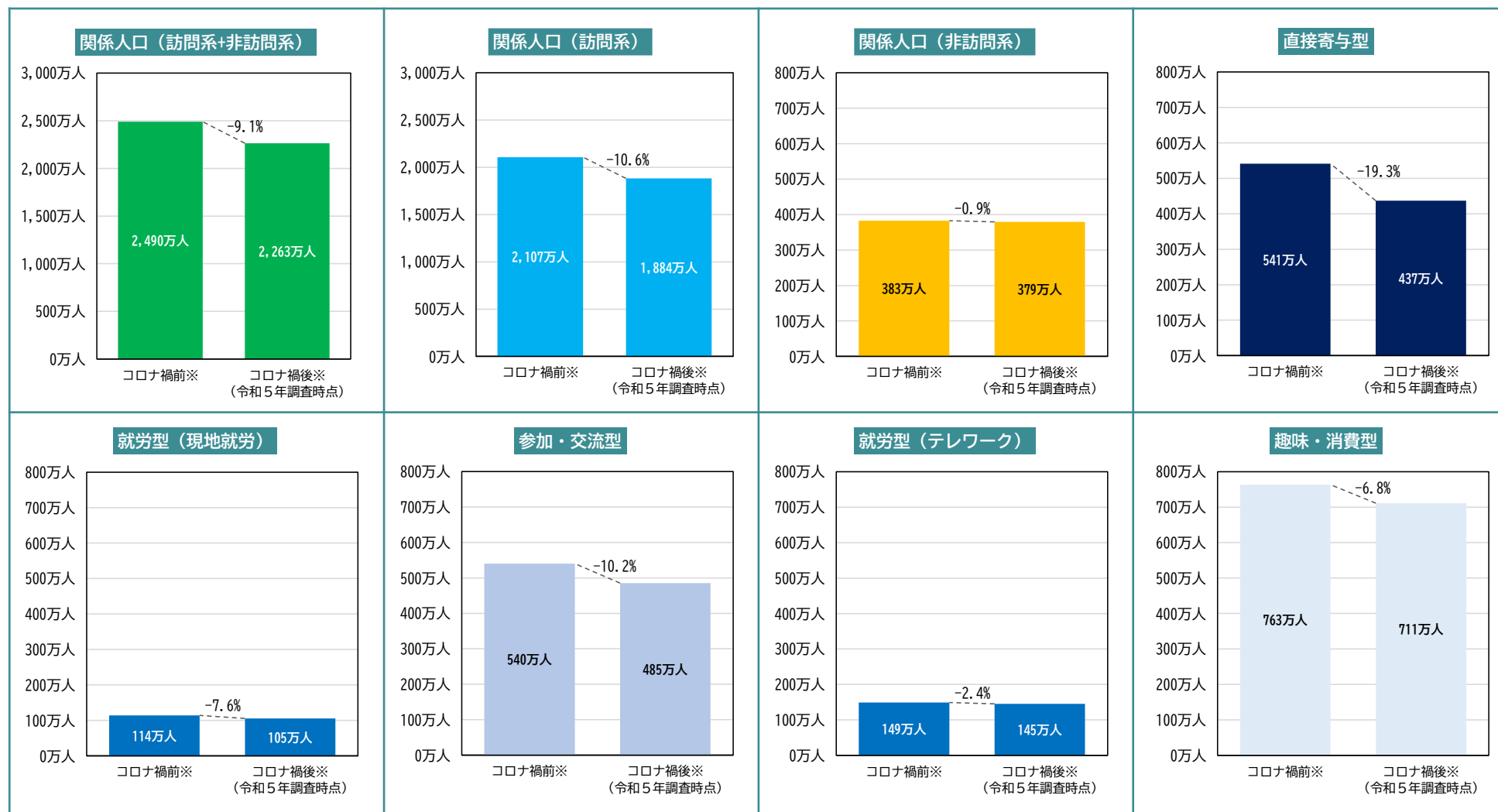
※今回 (令和5年) 調査は、前回から一部手法を修正していることと、今回調査における「コロナ禍前」は時点を特定していないことから、令和2年度調査における2019年の値と今回調査における「コロナ禍前」との値は一致しない。

※コロナ禍前：二次調査 Q1-4「現在、地域との関わり方は、コロナ禍の影響等によりどのような状況にありますか」において、選択肢5「コロナ禍が始まってから (2020年初頃より後に)、定期的または継続的に関わり始めた」に関わりなしとして集計。

※コロナ禍後：二次調査 Q1-4「現在、地域との関わり方は、コロナ禍の影響等によりどのような状況にありますか」において、選択肢3「コロナ禍の影響等により、一時的に関わりを中断し、現在も再開していないが、再開の見込みがある」、選択肢4「コロナ禍の影響等により、関わりを中断し、再開の見込みもない」に関わりなしとして集計。⇒R5年度調査結果 (P22)

3. 関係人口の推計結果 (5)コロナ前後の関係人口変化②

- ・ 類型別の変化を比較すると、「直接寄与型」で19.3%減少、「参加・交流型」で10.2%減少と減少率が大きくなっている。

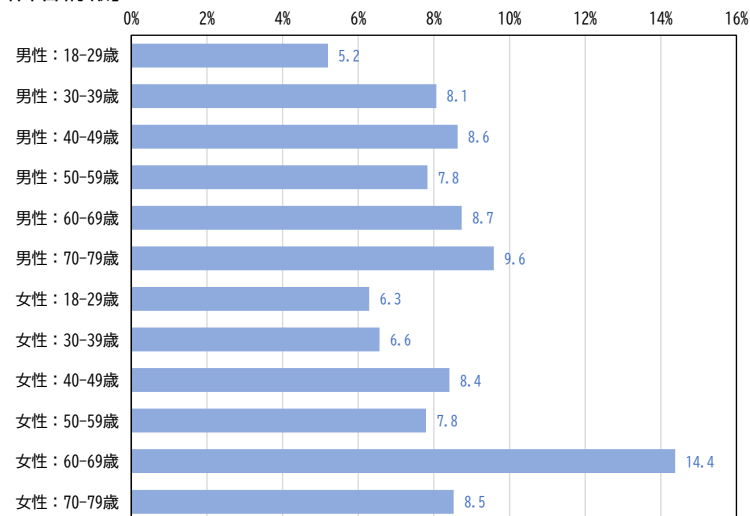


※人数ベース (拡大推計)

4. 一次調査結果 (1)属性①

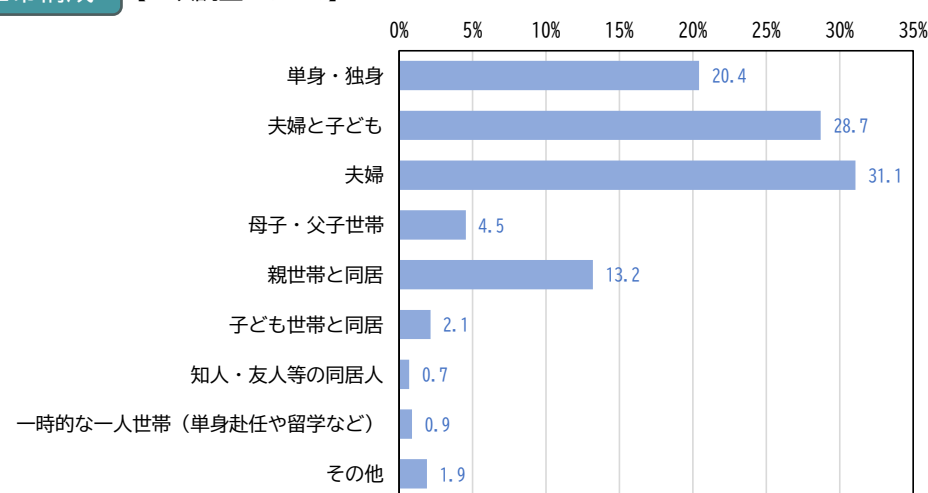
- 一次調査対象者の性年代は「女性60-69歳」で14.4%と、他の性年代に比べて多い。
- 世帯構成は「夫婦と子ども」「夫婦」が多く、職業は「会社勤務」が最も多く、世帯年収は「400万円～700万円未満」が最も多い。

性年代 【回答者情報】



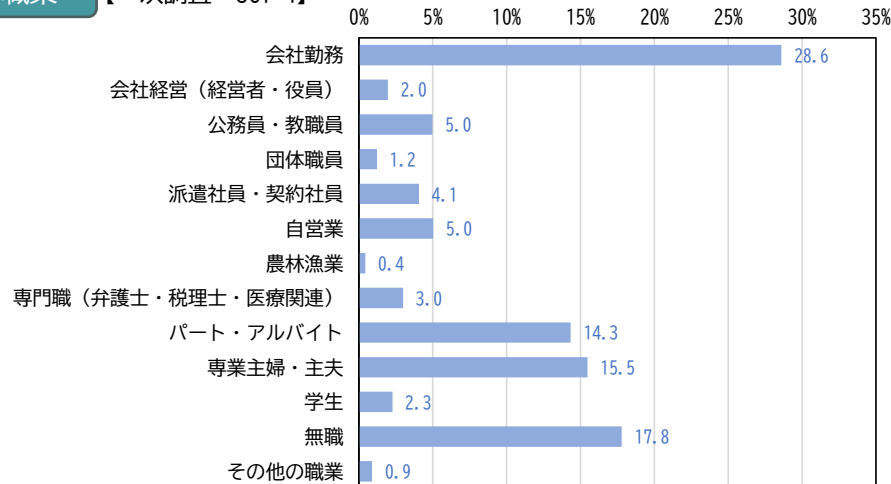
※単一回答 ※人数ベース (拡大集計)

世帯構成 【一次調査：SC1-3】



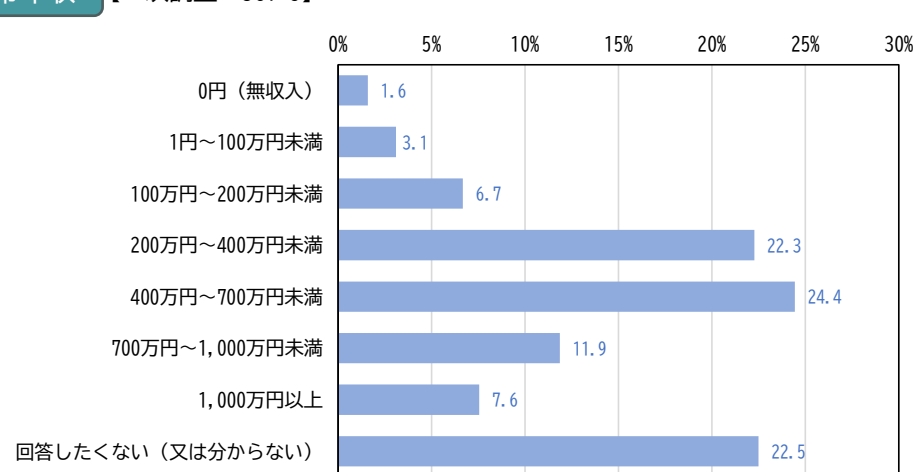
※複数回答 ※人数ベース (拡大集計)

職業 【一次調査：SC1-4】



※単一回答 ※人数ベース (拡大集計)

世帯年収 【一次調査：SC1-5】



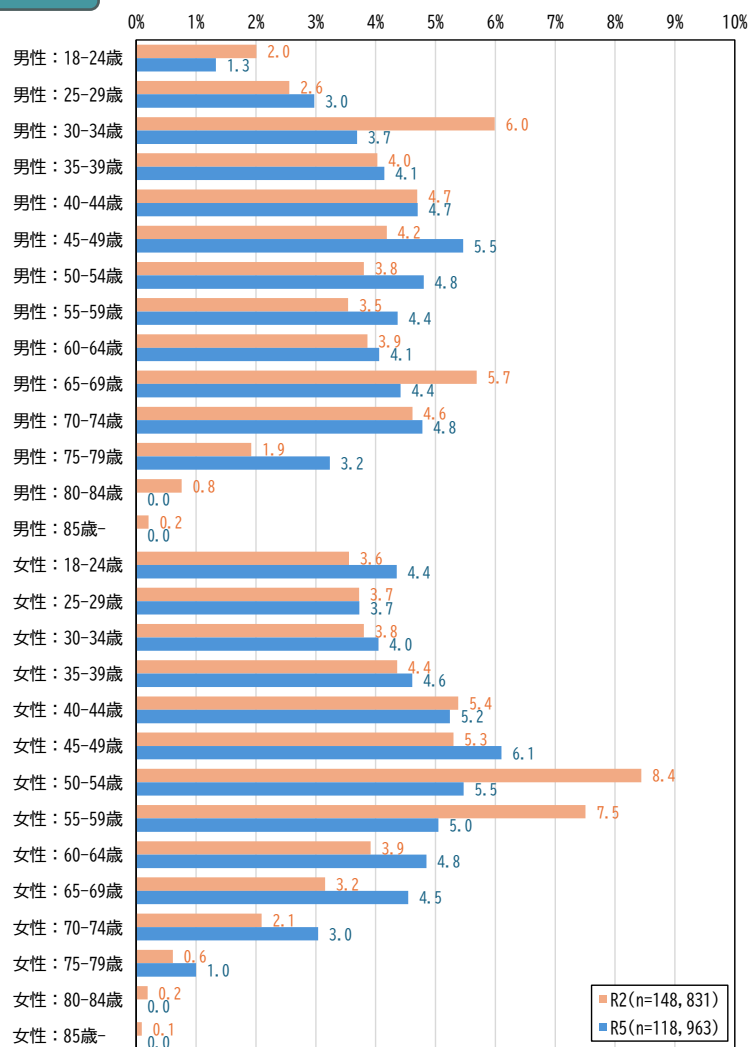
※単一回答 ※人数ベース (拡大集計)

4. 一次調査結果 (1)属性②

- R2年度調査と比較すると概ね傾向は同じだが、「男性30-34歳」「男性65-69歳」「女性50-59歳」で減少し、「男性45-59歳」「男性75-79歳」「女性60-74歳」で大きく増加している。
- 居住地でも概ね傾向は同じだが、「東京都」で2%程度減少している。

性年代

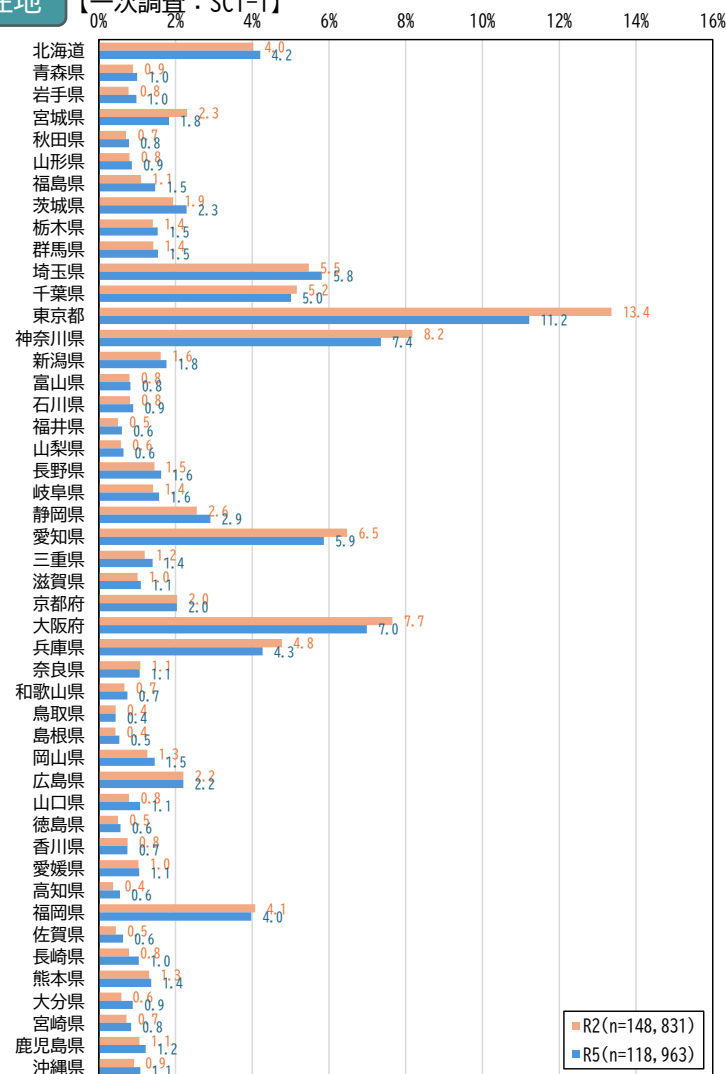
【回答者情報】



※単一回答 ※人数ベース (サンプル集計)

居住地

【一次調査：SC1-1】

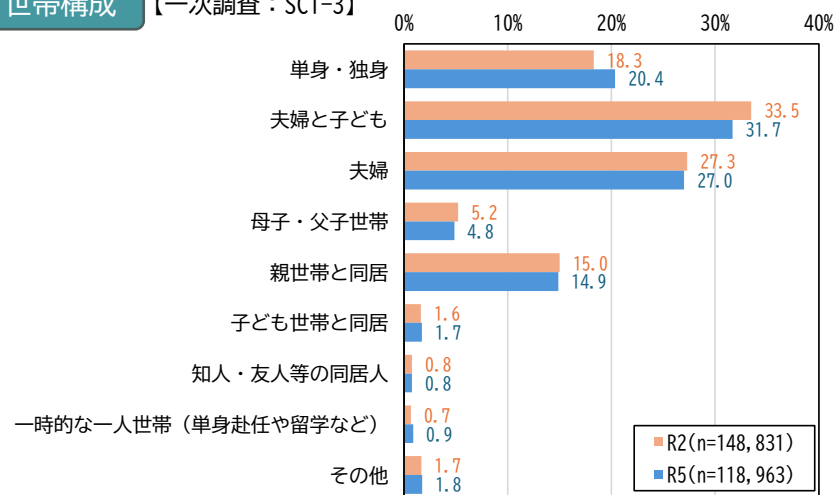


※単一回答
※人数ベース (サンプル集計)

4. 一次調査結果 (1)属性③

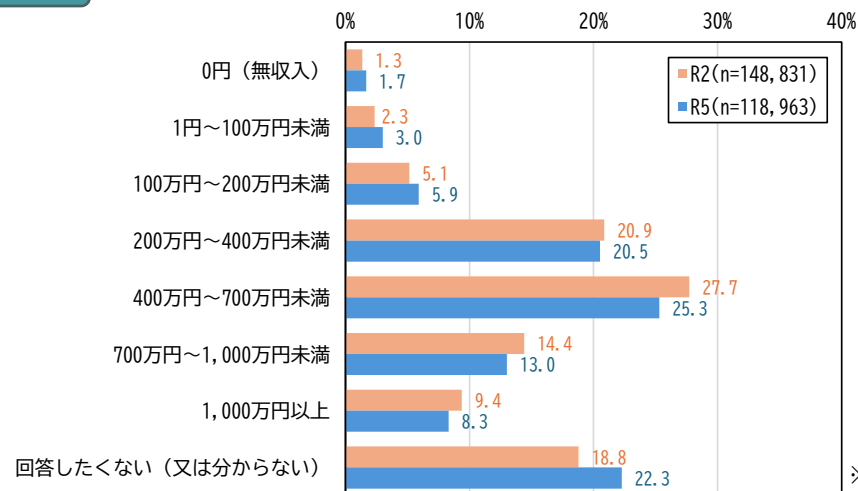
- 世帯構成、職業、世帯年収と、R2年度調査とほぼ傾向は同じとなっている。
- 世帯構成では、「単身・独身」が増加し「夫婦と子ども」が減少、世帯年収では「回答したくない（又は分からない）」が増加している。

世帯構成 【一次調査：SC1-3】



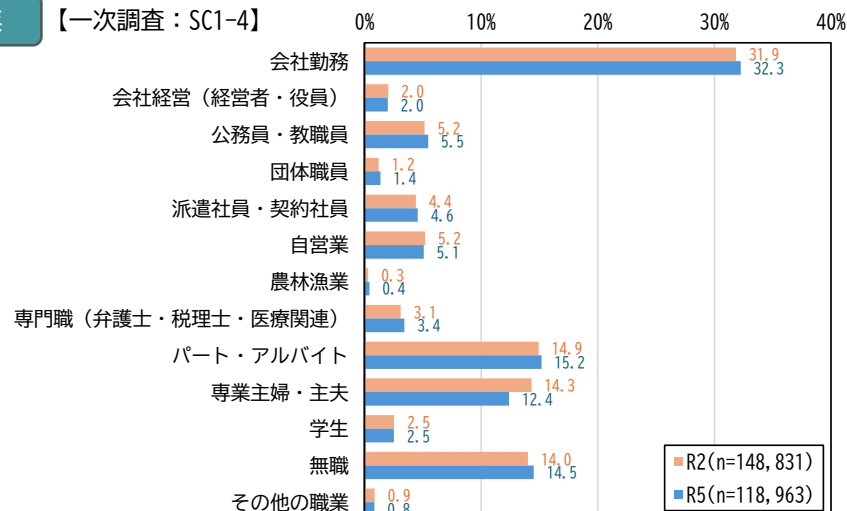
※複数回答 ※人数ベース（サンプル集計）

世帯年収 【一次調査：SC1-5】



※単一回答 ※人数ベース（サンプル集計）

職業 【一次調査：SC1-4】

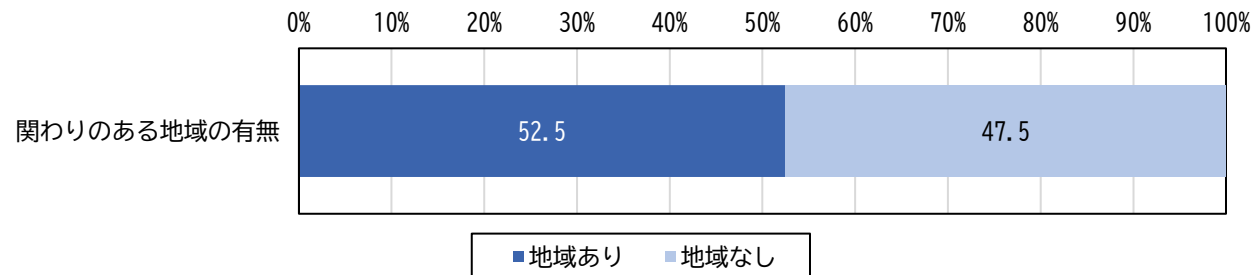


※単一回答 ※人数ベース（サンプル集計）

4. 一次調査結果 (2)地域との関わり方 ①地域の有無

- 関わりのある地域の有無では、「関わりのある地域あり」が約53%、「関わりのある地域なし」が約47%と、関わりのある地域が約半数となっている。

関わりのある地域の有無 【一次調査：SC1-6】



※単一回答
※人数ベース（拡大集計）

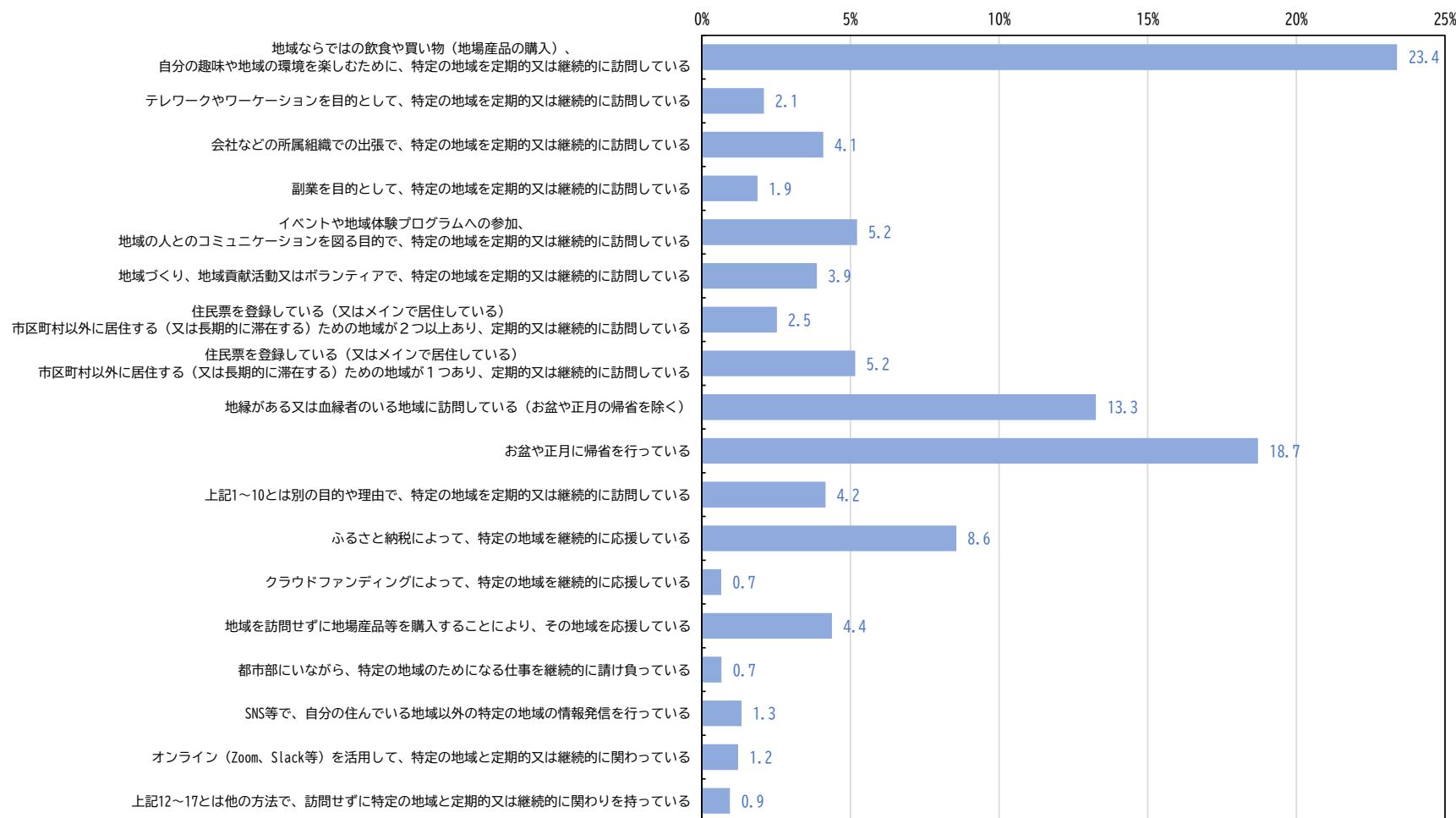
※R5年度調査の「地域との関わり方（複数回答）」において、「会社などの所属組織での出張で、特定の地域を定期的又は継続的に訪問している」「あてはまる地域が無い」のそれぞれ単独回答者を、「関わりのある地域なし」としている。

4. 一次調査結果 (2)地域との関わり方 ②詳細

- 地域との関わり方では、「地域ならではの飲食や買い物（地場産品の購入）、自分の趣味や地域の環境を楽しむため」が最も多く全体の約23%を占め、次いで「お盆や正月に帰省を行っている」約19%、「地縁がある又は血縁者のいる地域に訪問している（お盆や正月の帰省を除く）」の約13%となっている。

地域との関わり方（詳細）

【一次調査：SC1-6】

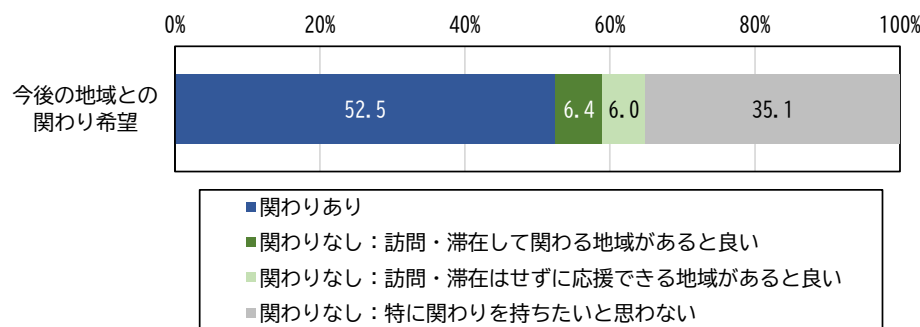


4. 一次調査結果 (3)特定の地域と関わりのない人の関係人口への関心①

- 今後の地域との関わり希望では、「特に関わりを持ちたいと思わない」が約35%と最も多く、現在、関わりのない人は、今後の関わり希望も低い。
- 今後関わりを持ちたいと思っている人の、関わりを持つための改善点では、「仕事やプライベートでの時間的な余裕の確保」「移動や滞在に伴う金銭的負担の軽減」「地域へ行くための交通の利便性の改善」が多い。

特定の地域と関わりのない人の
居住地等以外への関わり希望（関わりがある人を含む）

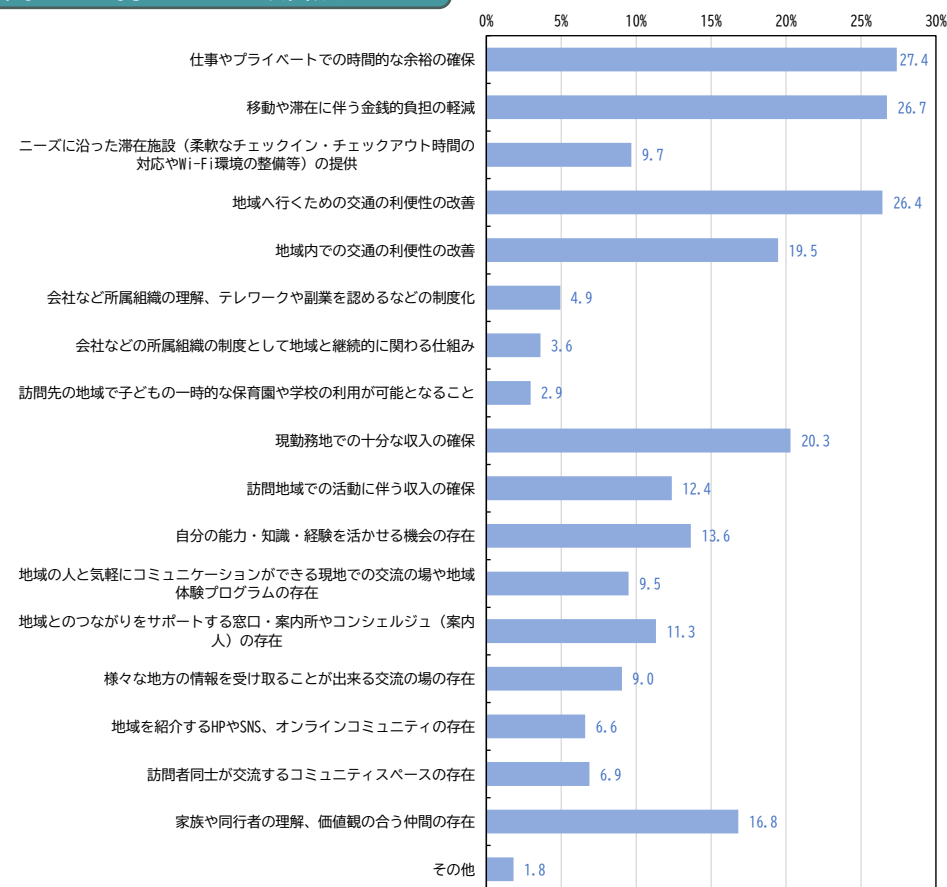
【一次調査：SC1-6、SC1-7】



※単一回答
※人数ベース（拡大集計）

関わりの希望がある人の
関わりを持つための改善点

【一次調査：SC1-9】

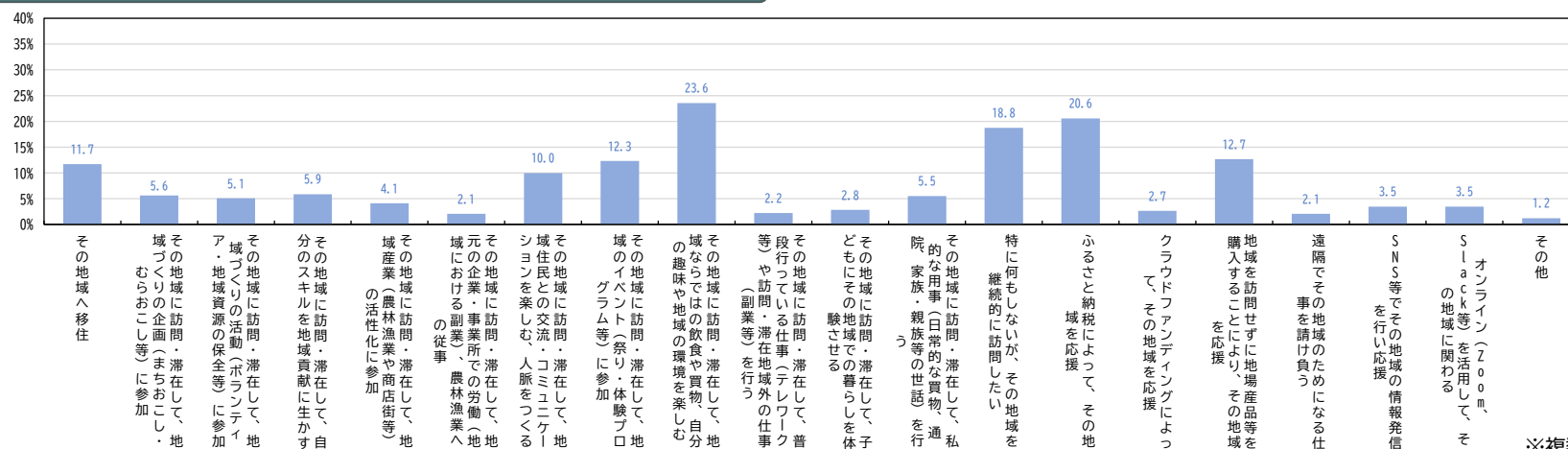


※複数回答
※人数ベース（拡大集計）

4. 一次調査結果 (3)特定の地域と関わりのない人の関係人口への関心②

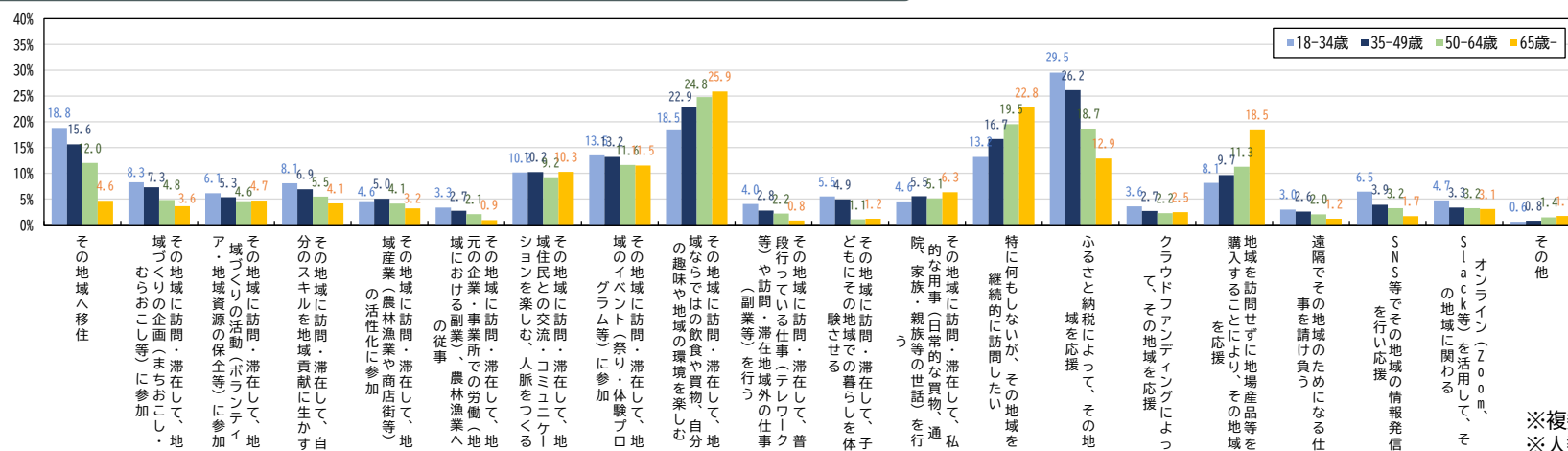
- 今後関わりを持ちたい地域での過ごし方は、「その地域に訪問・滞在して、地域ならではの飲食や買物、自分の趣味や地域の環境を楽しむ」が約24%と最も多く、次いで「ふるさと納税によって、その地域を応援」「特に何もしないが、その地域を継続的に訪問したい」となっている。
- 年代別では、18-49歳は「ふるさと納税によって、その地域を応援」が最も多い。

関わり希望がある人の、今後関わりを持ちたい地域での過ごし方 【一次調査：SC1-8】



※複数回答
※人数ベース(拡大集計)

関わり希望がある人の、今後関わりを持ちたい地域での過ごし方(年代別) 【一次調査：SC1-8】

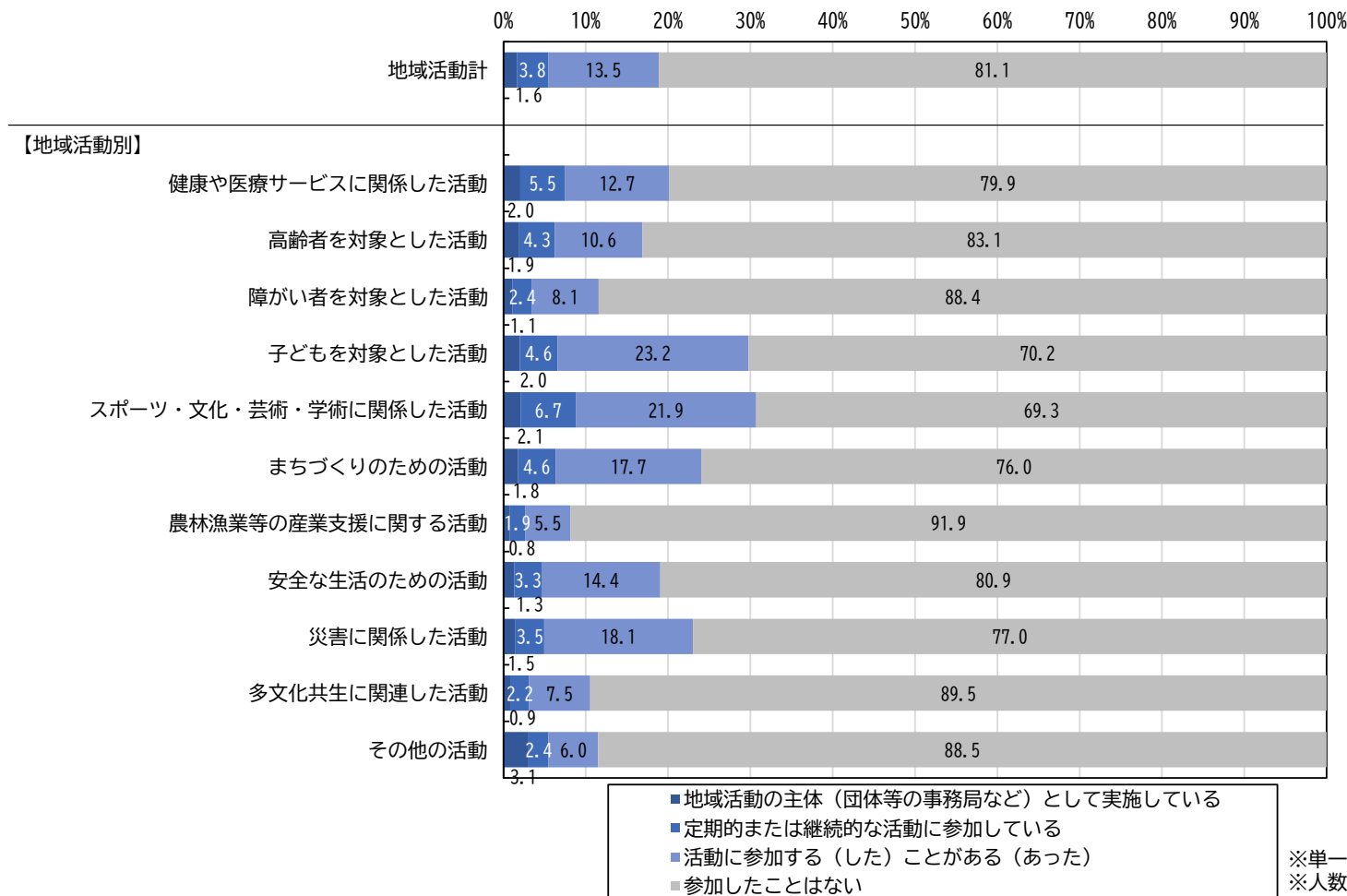


※複数回答
※人数ベース(拡大集計)

4. 一次調査結果 (4)居住地における地域活動への参加状況

- 居住地における地域活動への参加状況は、約8割が「参加したことはない」となっている。
- 活動別では、「子どもを対象とした活動」「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」で約3割が参加しており、他の活動に比べて多い。

居住地における地域活動への参加状況 【一次調査：SC1-10】

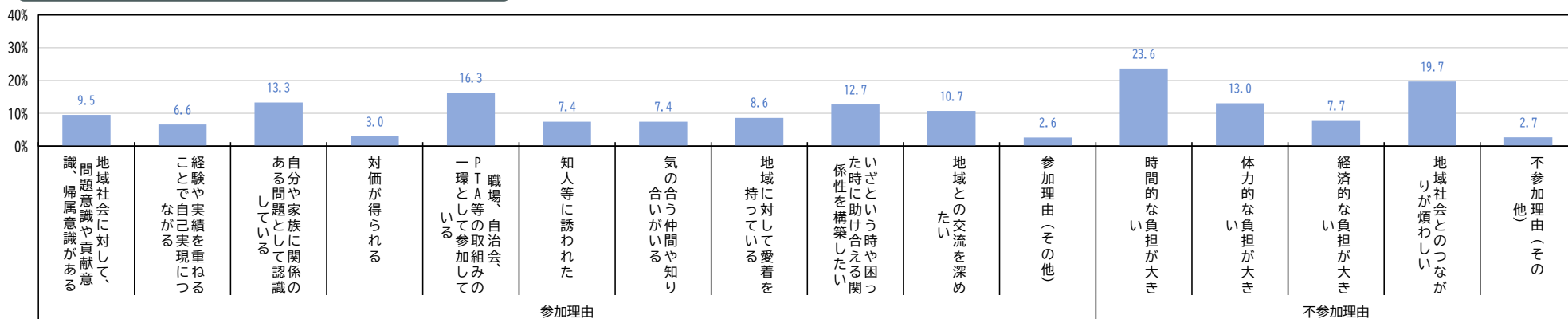


※地域活動計は、各地域活動の合計値としている。

4. 一次調査結果 (5)居住地における地域活動の参加・不参加理由

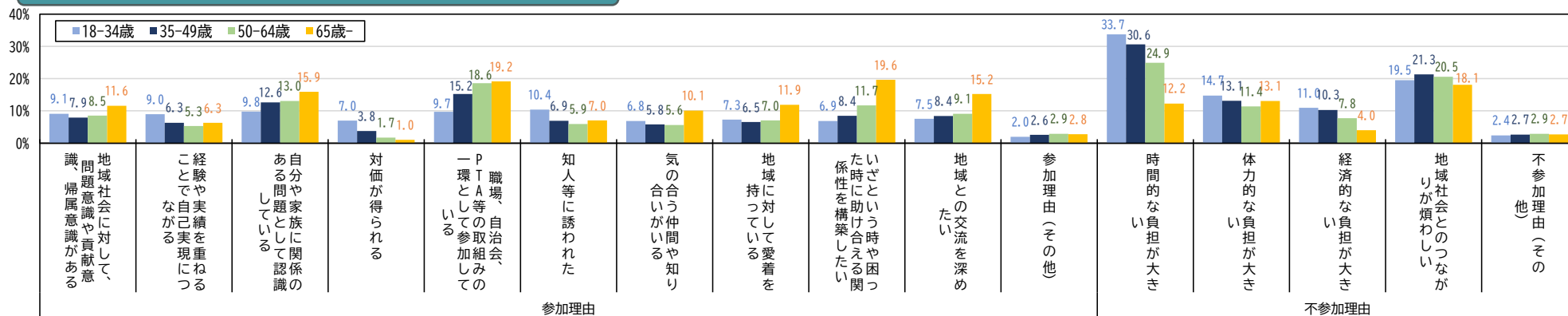
- 居住地における地域活動への参加理由は「職場、自治会、PTA等の取組みの一環として参加している」が最も多く、次いで「自分や家族に関係のある問題として認識している」となっている。一方、不参加理由は「時間的な負担が大きい」が最も多く、次いで「地域社会とのつながりが煩わしい」となっている。
- 参加理由の年代別では、18-34歳は「知人等に誘われた」が最も多く、35-64歳は「職場、自治会、PTA等の取組みの一環として参加している」、65歳以上は「いざという時や困った時に助け合える関係性を構築したい」となっている。
- 不参加理由では、18-64歳は「時間的な負担が大きい」が最も多く、65歳以上は「地域社会とのつながりが煩わしい」となっている。

居住地における地域活動の参加・不参加理由 【一次調査：SC1-11】



居住地における地域活動の参加・不参加理由(年代別) 【一次調査：SC1-11】

※複数回答 ※人数ベース(拡大集計)

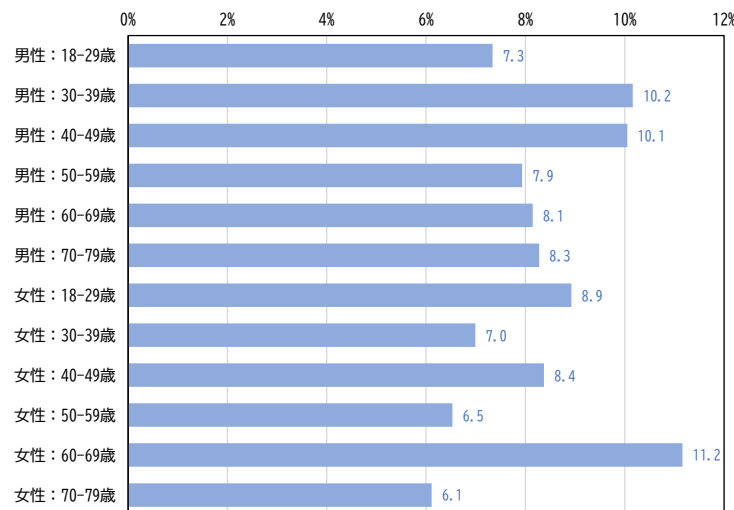


※複数回答 ※人数ベース(拡大集計)

5. 二次調査結果 関係人口(訪問系) (1)属性

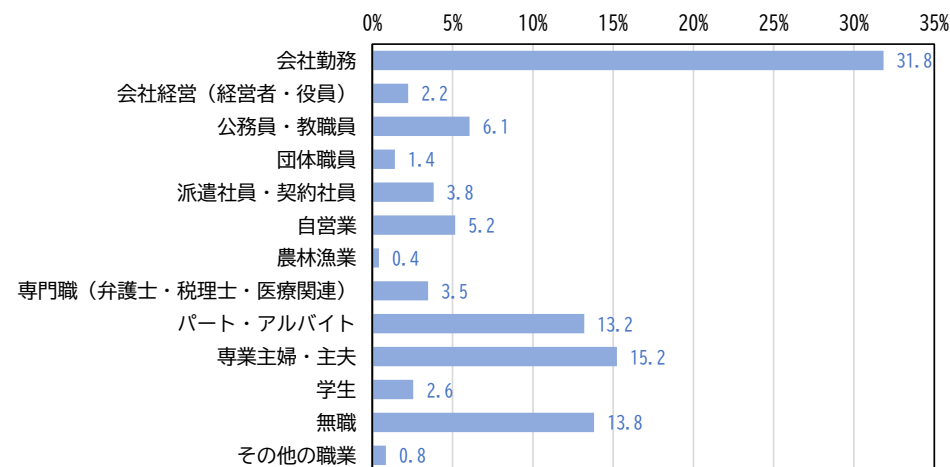
- 関係人口(訪問系)の性年代は、「女性60-69歳」が、他に比べて多い。
- 世帯構成は「夫婦と子ども」「夫婦」が多く、職業は「会社勤務」、世帯年収は「400万円～700万円未満」が最も多い。

性年代 【回答者情報】



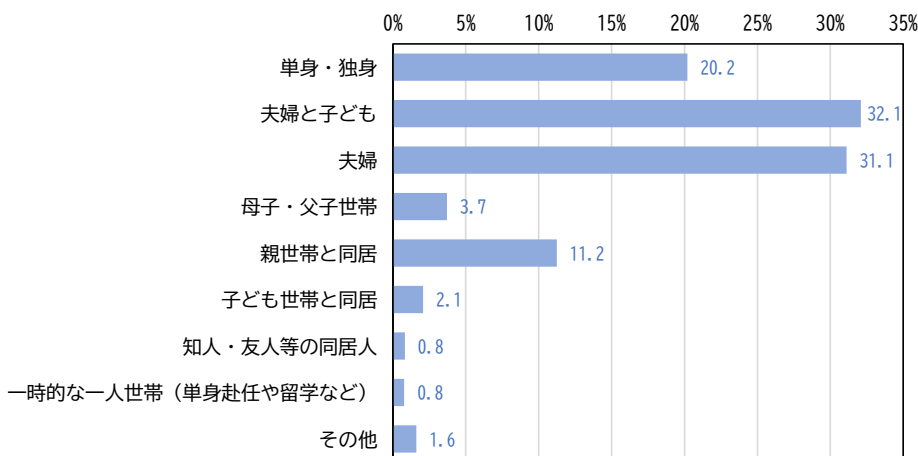
※単一回答 ※人数ベース (拡大集計)

職業 【一次調査：SC1-4】



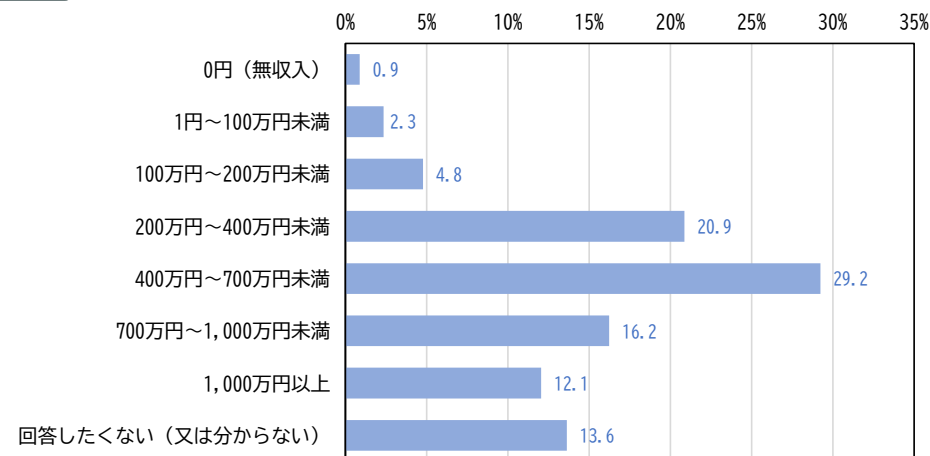
※単一回答 ※人数ベース (拡大集計)

世帯構成 【一次調査：SC1-3】



※複数回答 ※人数ベース (拡大集計)

世帯年収 【一次調査：SC1-5】



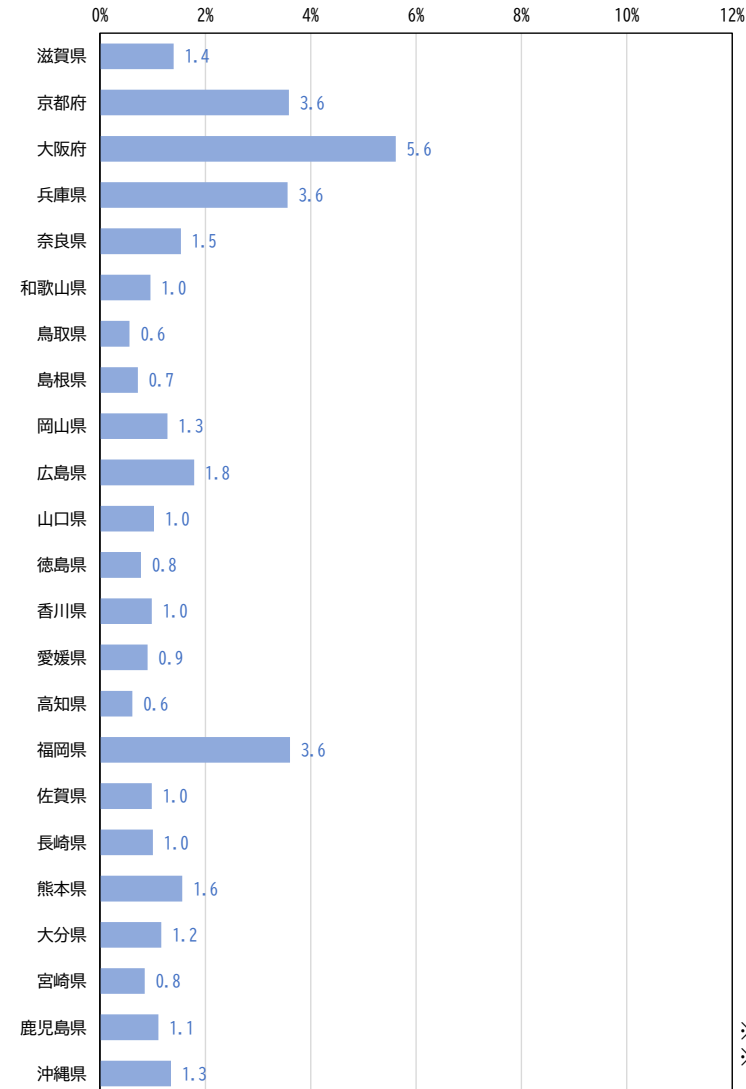
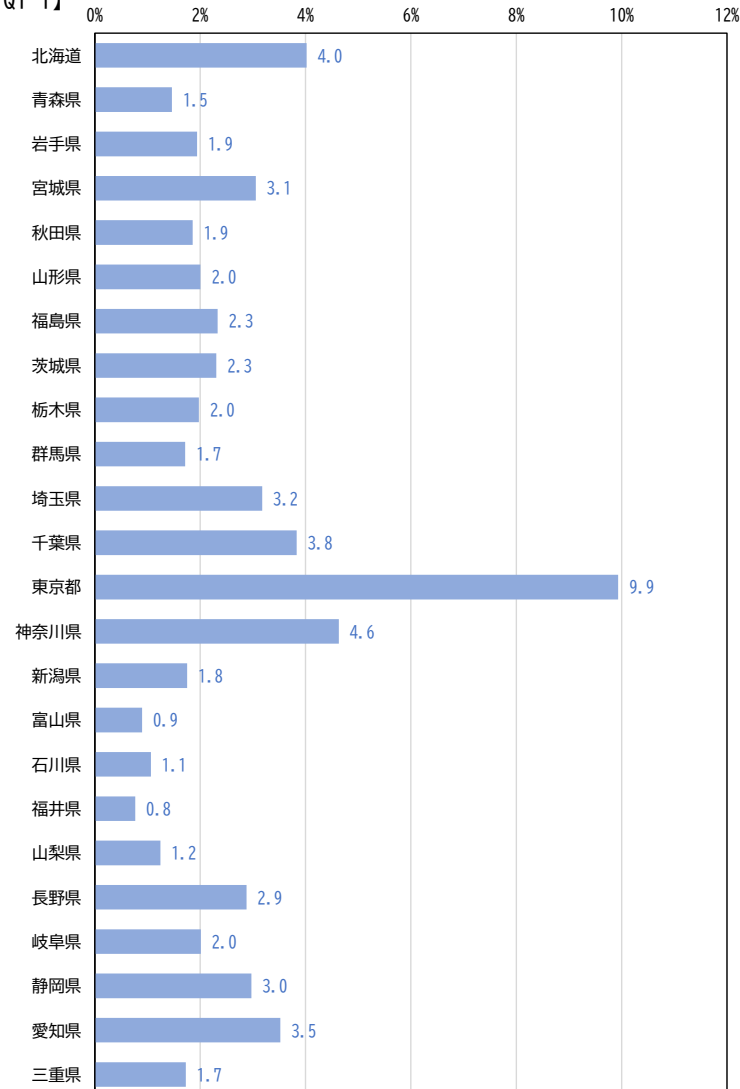
※単一回答 ※人数ベース (拡大集計)

5. 二次調査結果 関係人口(訪問系) (2)関わりのある地域【都道府県】

- 訪問系の関わりのある地域【都道府県】は、東京都の9.9%が最も多く、次いで大阪府5.6%、神奈川県4.6%となっている。

訪問系の関わりのある地域【都道府県】

【二次調査：Q1-1】



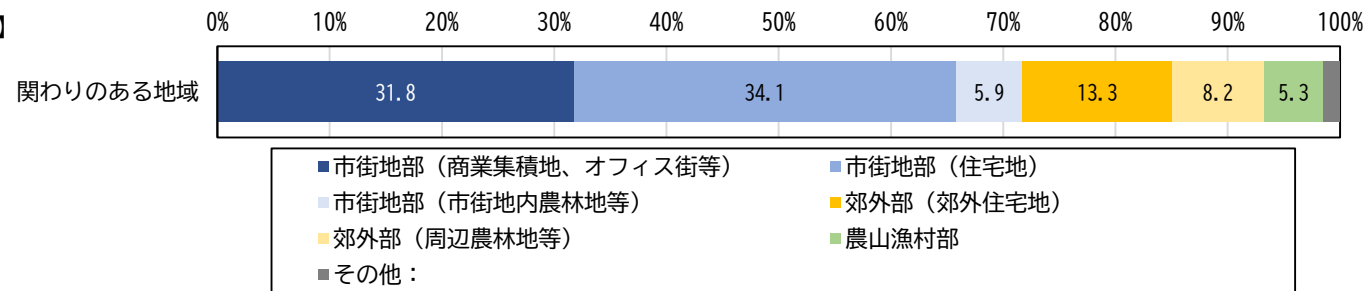
※単一回答
※地域数ベース（拡大集計）

5. 二次調査結果 関係人口(訪問系) (3)関わりのある地域【地域区分】①

- 関わりのある地域の地域区分は、「市街地部（商業集積地、オフィス街等）」「市街地部（住宅地）」がそれぞれ3割程度占めている。
- 年代別では、65歳以上で「市街地部（住宅地）」が4割弱と他に比べて多い。

関わりのある地域【地域区分】

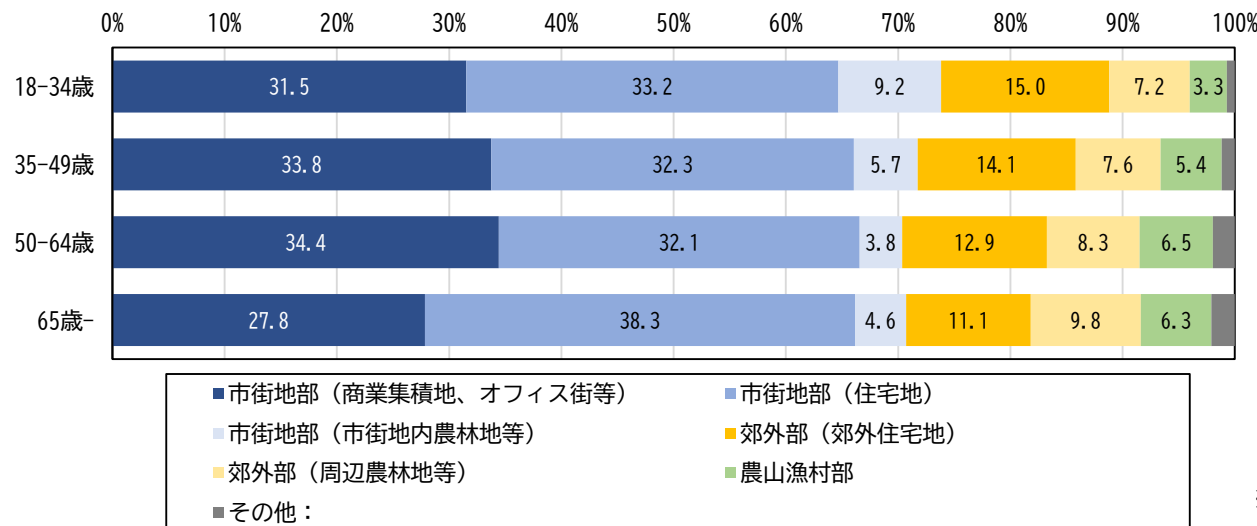
【二次調査：Q1-3】



※単一回答 ※地域数ベース（拡大集計）

関わりのある地域【地域区分】（年代別）

【二次調査：Q1-3】



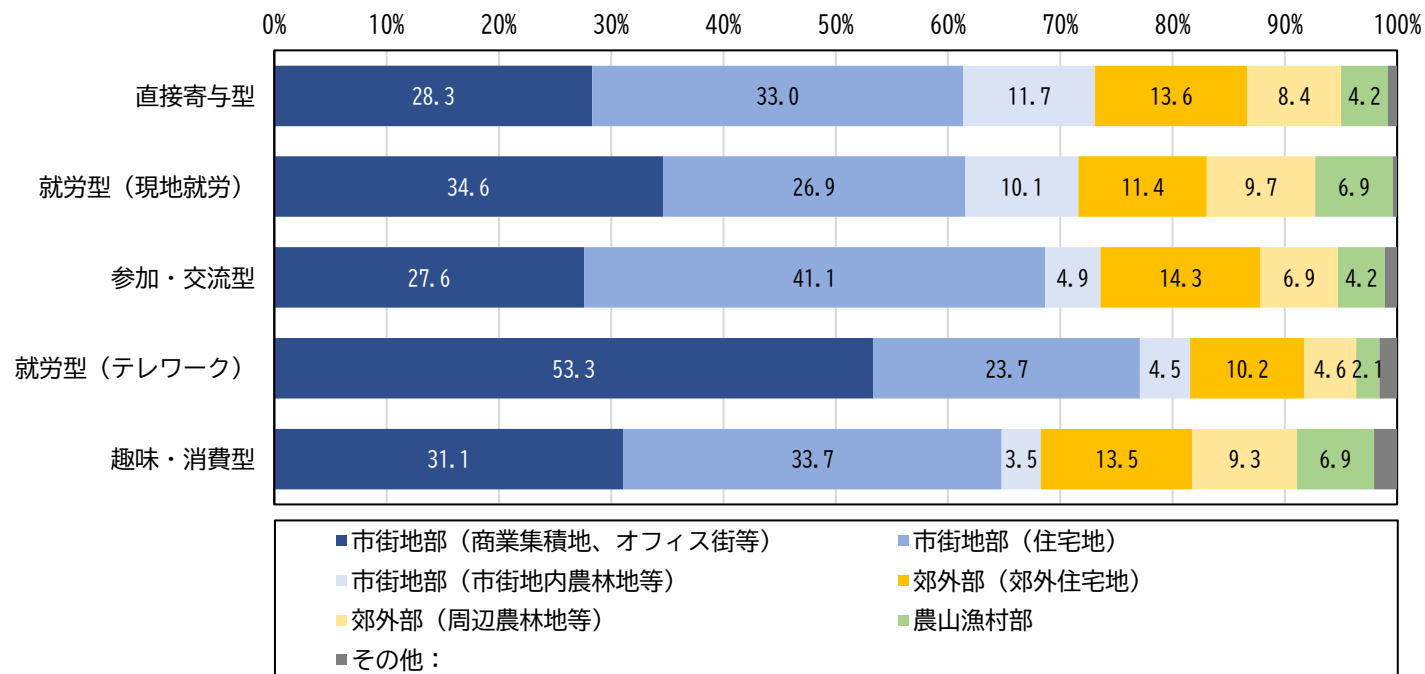
※単一回答 ※地域数ベース（拡大集計）

5. 二次調査結果 関係人口(訪問系) (3)関わりのある地域【地域区分】②

- 類型別では、「就労型（テレワーク）」は「市街地部（商業集積地、オフィス街等）」が約53%と、他の類型に比べて多い。
- 「市街地部（市街地内農林地等）」は、「直接寄与型」「就労型（現地就労）」が比較的多く、「農山漁村部」は、「就労型（現地就労）」「趣味・消費型」が多い。

関わりのある地域【地域区分】（類型別）

【二次調査：Q1-3】



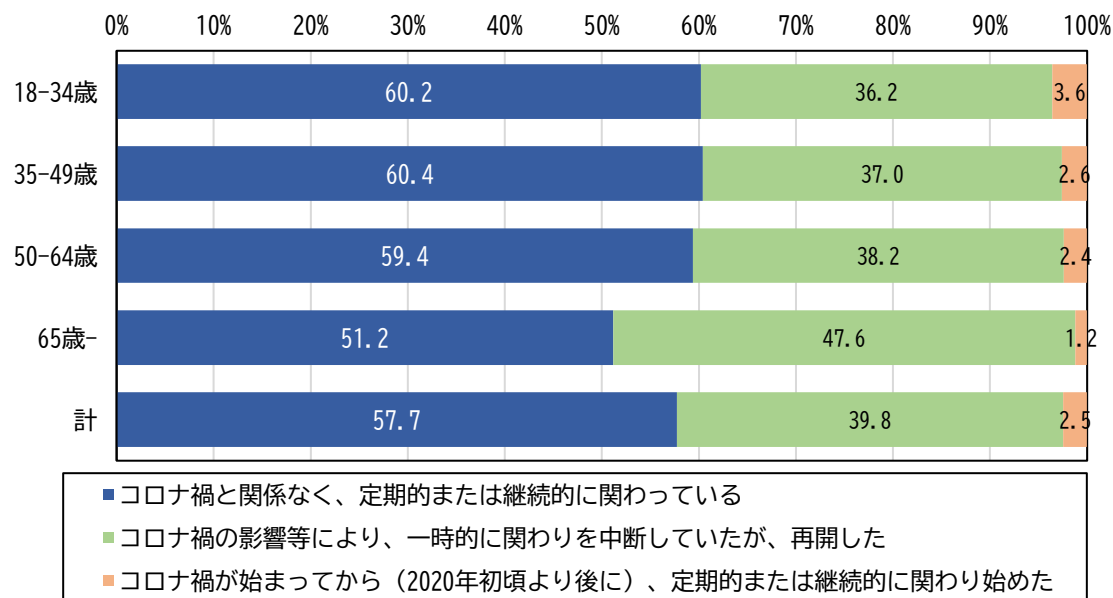
※単一回答 ※地域数ベース（拡大集計）

5. 二次調査結果 関係人口(訪問系) (4)コロナ禍の影響等①

- コロナ禍の影響等では、「コロナ禍と関係なく、定期的または継続的に関わっている」が約58%、「コロナ禍の影響等により、一時的に関わりを中断していたが、再開した」が約40%となっており、「コロナ禍が始まってから（2020年初頃より後に）、定期的または継続的に関わり始めた」は約3%と非常に少ない。
- 年代別では65歳以上で「コロナ禍の影響等により、一時的に関わりを中断していたが、再開した」が約48%と他の年代に比べて多い。

コロナ禍の影響等（年代別）

【二次調査：Q1-4】



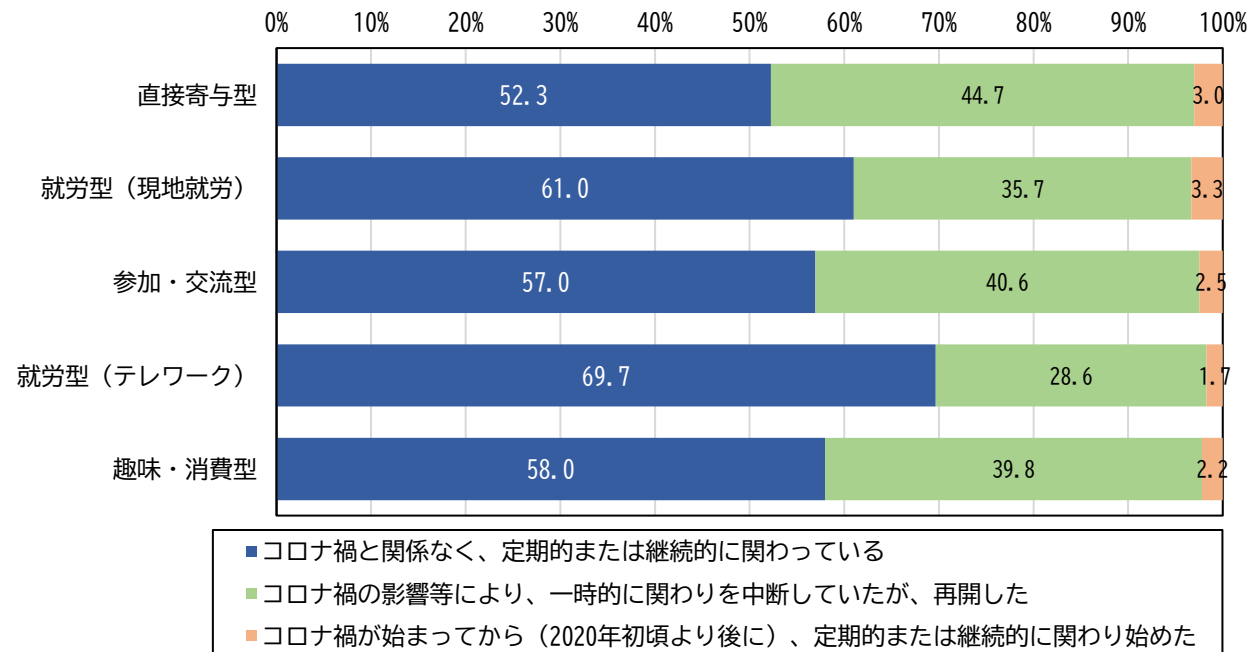
※単一回答 ※地域数ベース（拡大集計）

5. 二次調査結果 関係人口(訪問系) (4)コロナ禍の影響等②

- 類型別では「就労型（テレワーク）」で「コロナ禍と関係なく、定期的または継続的に関わっている」が約70%と他の類型に比べて多い。
- 一方、「直接寄与型」「参加・交流型」「趣味・消費型」は「コロナ禍の影響等により、一時的に関わりを中断していたが、再開した」が4割程度と、「就労型（現地就労）」「就労型（テレワーク）」に比べて多い。

コロナ禍の影響等（類型別）

【二次調査：Q1-4】



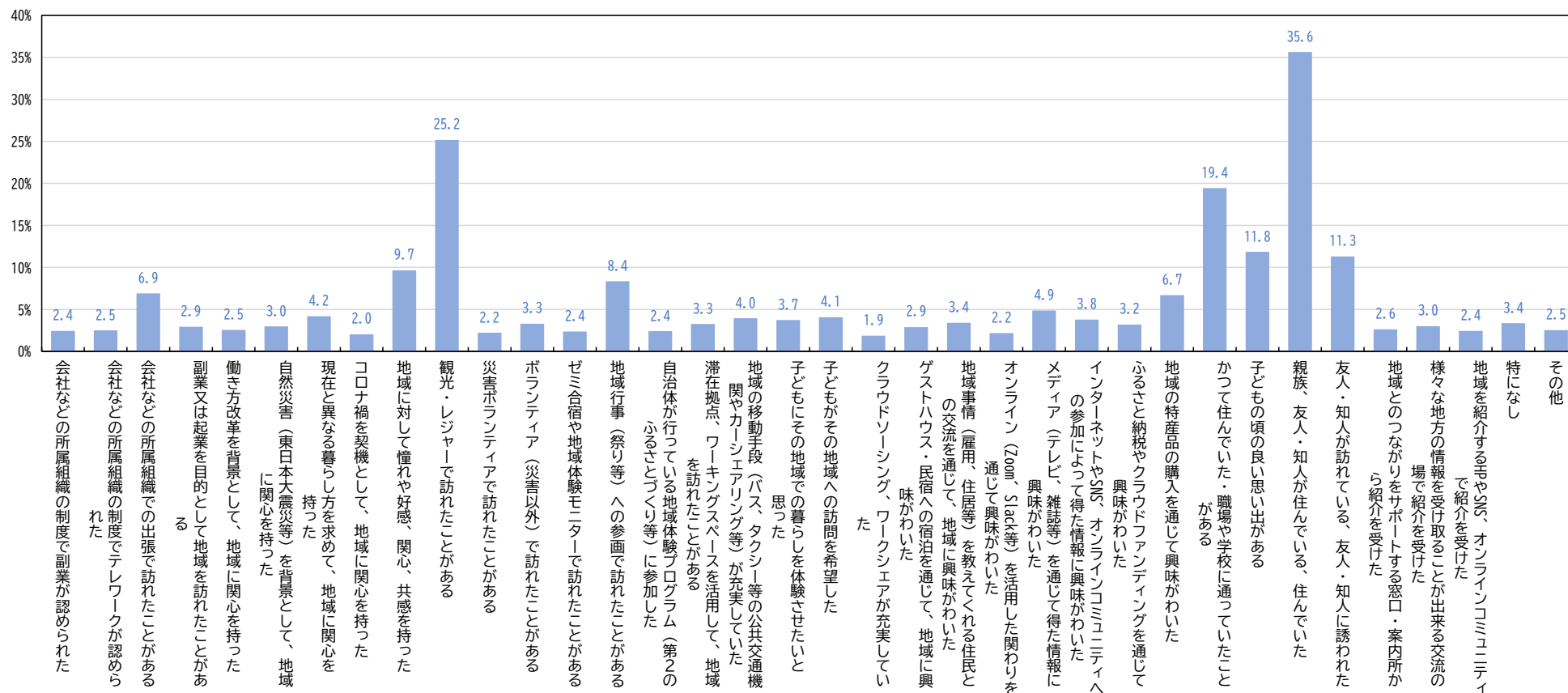
※単一回答 ※地域数ベース（拡大集計）

5. 二次調査結果 関係人口(訪問系) (5)地域を訪問することとなったきっかけ①

- ・ 地域を訪問することとなったきっかけは、「親族、友人・知人が住んでいる、住んでいた」が最も多く、次いで「観光・レジャーで訪れたことがある」「かつて住んでいた・職場や学校に通っていたことがある」となっている。

地域を訪問することとなったきっかけ

【二次調査：Q1-5】



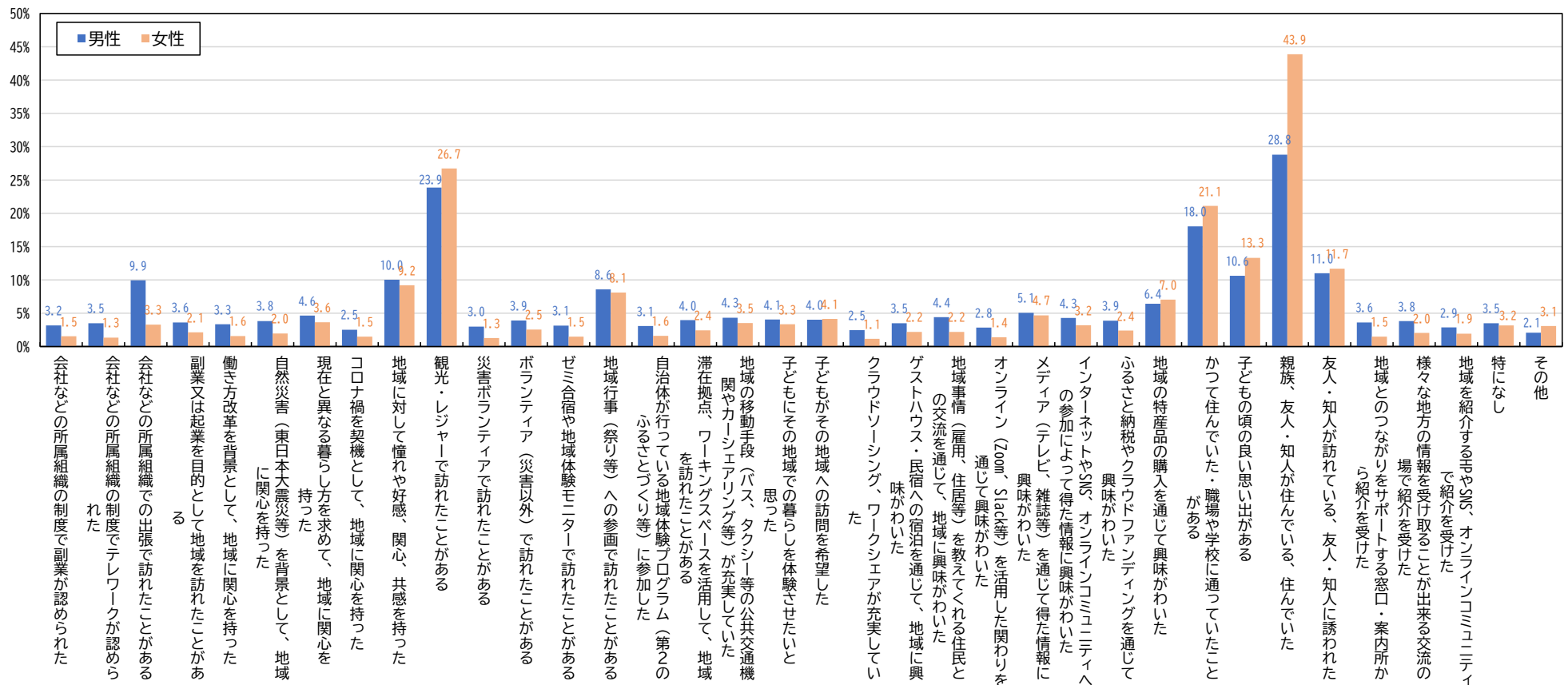
※複数回答 ※地域数ベース(拡大集計)

5. 二次調査結果 関係人口(訪問系) (5)地域を訪問することとなったきっかけ②

- 地域を訪問することとなったきっかけの性別では、男性、女性ともに傾向は概ね同じだが、女性は「親族、友人・知人が住んでいる、住んでいた」で男性に比べて多くなっている。

地域を訪問することとなったきっかけ（性別）

【二次調査：Q1-5】



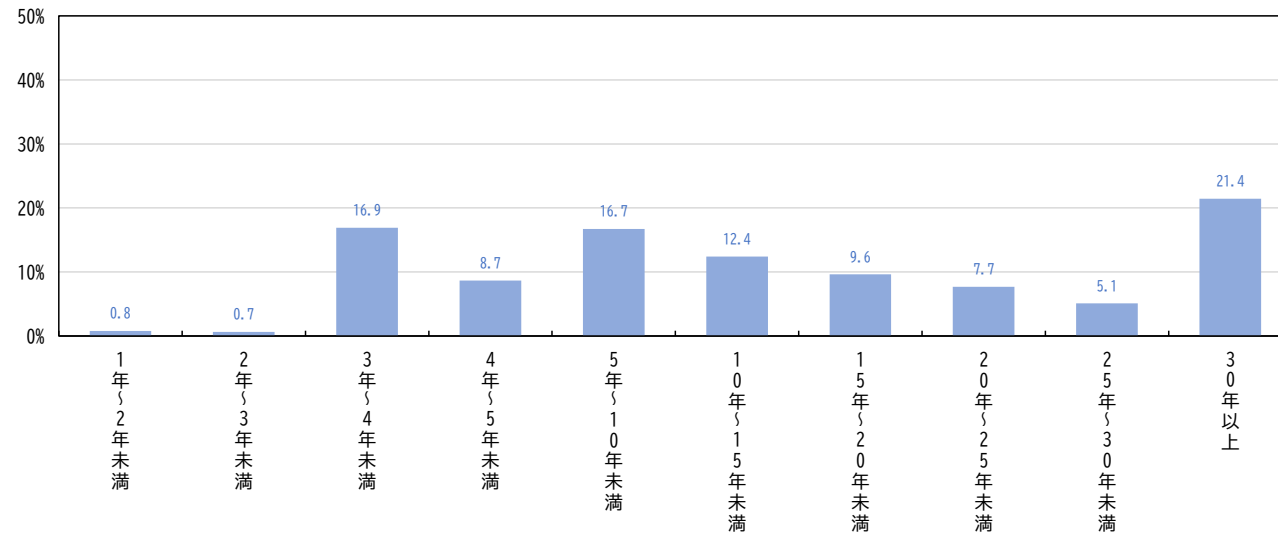
※複数回答 ※地域数ベース（拡大集計）

5. 二次調査結果 関係人口(訪問系) (6)関わり始めてからの年数

- 関わり始めてからの年数は、「30年以上」が最も多く、次いで「3年～4年未満」となっている。
- 年代別では、35歳以上は「30年以上」が最も多く、「18～34歳」は「3年～4年未満」となっている。

関わり始めてからの年数

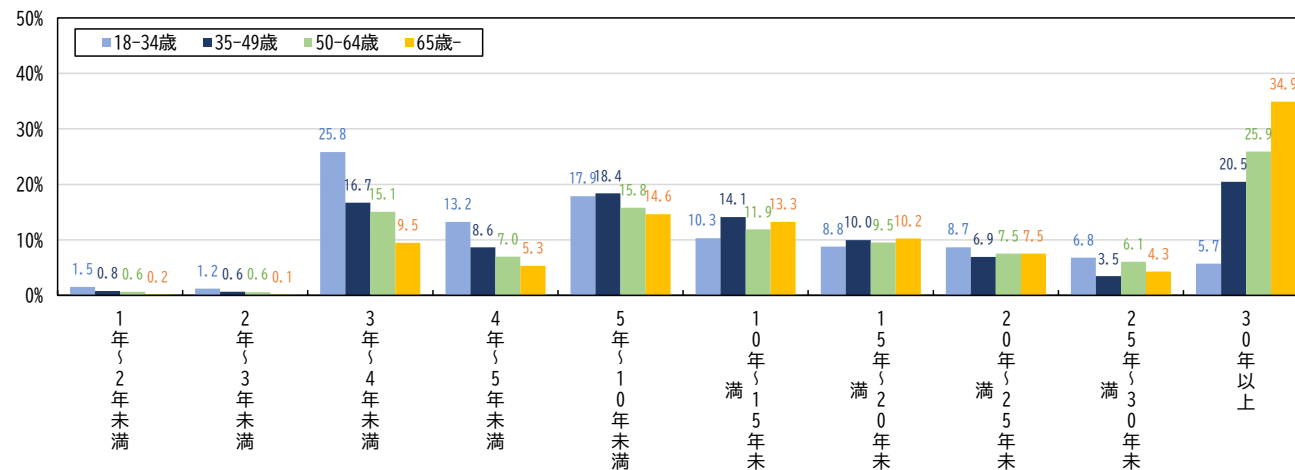
【二次調査：Q1-6】



※単一回答 ※地域数ベース（拡大集計）

関わり始めてからの年数（年代別）

【二次調査：Q1-6】



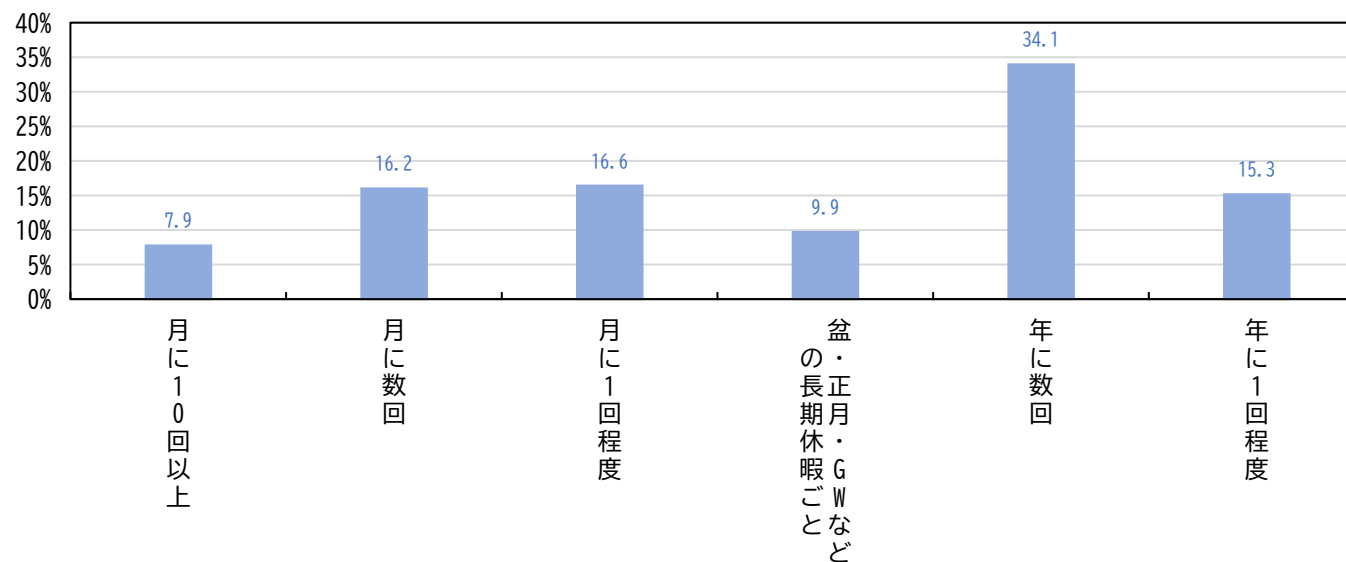
※単一回答 ※地域数ベース（拡大集計）

5. 二次調査結果 関係人口(訪問系) (7)地域への訪問頻度

- 地域への訪問頻度は、「年に数回」が最も多く、次いで「月に1回程度」「月に数回」となっている。

地域への訪問頻度

【二次調査：Q1-7】



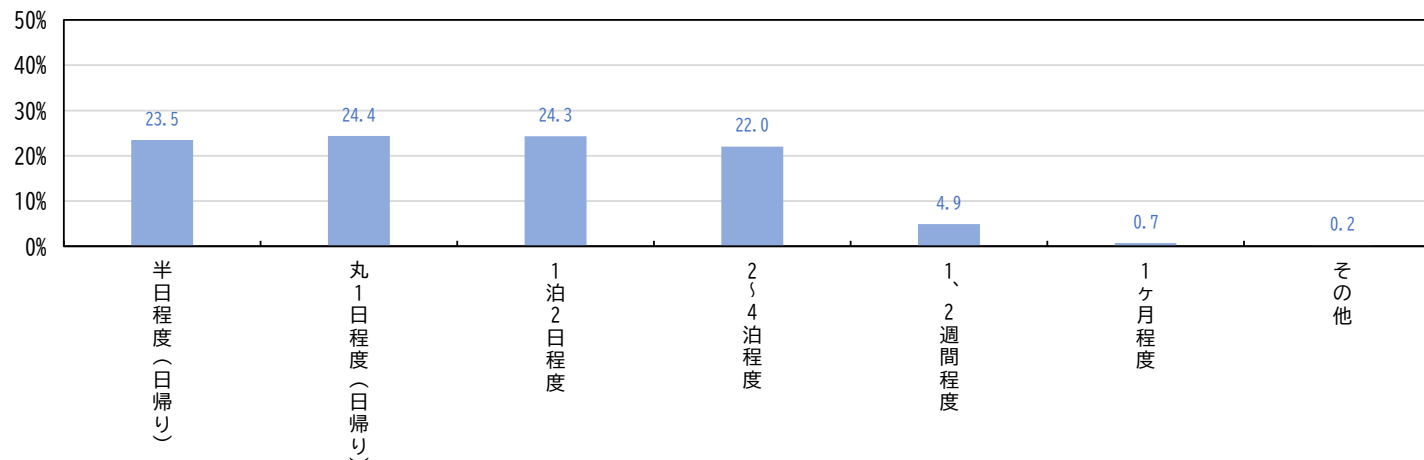
※単一回答 ※地域数ベース（拡大集計）

5. 二次調査結果 関係人口(訪問系) (8)訪問一回あたりの滞在期間①

- 訪問一回あたりの滞在期間は、「半日程度(日帰り)」「丸1日程度(日帰り)」「1泊2日程度」「2～4泊程度」がそれぞれ2割程度と分散している。
- 年代別でも傾向は同じだが、「半日程度(日帰り)」は年代が上がるにつれて多い。

滞在期間

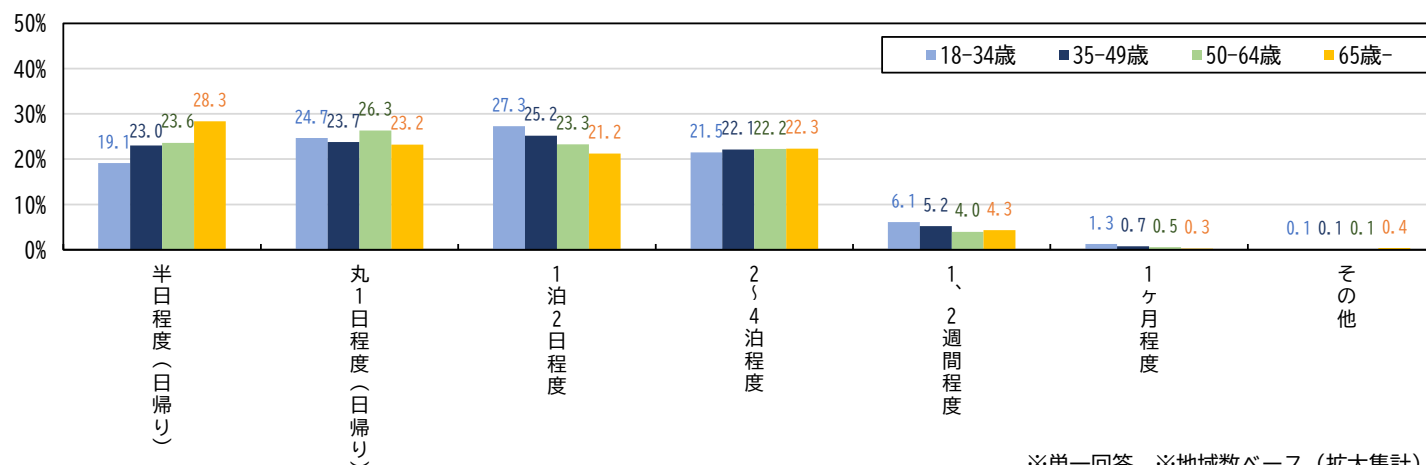
【二次調査：Q1-8】



※単一回答 ※地域数ベース(拡大集計)

滞在期間(年代別)

【二次調査：Q1-8】



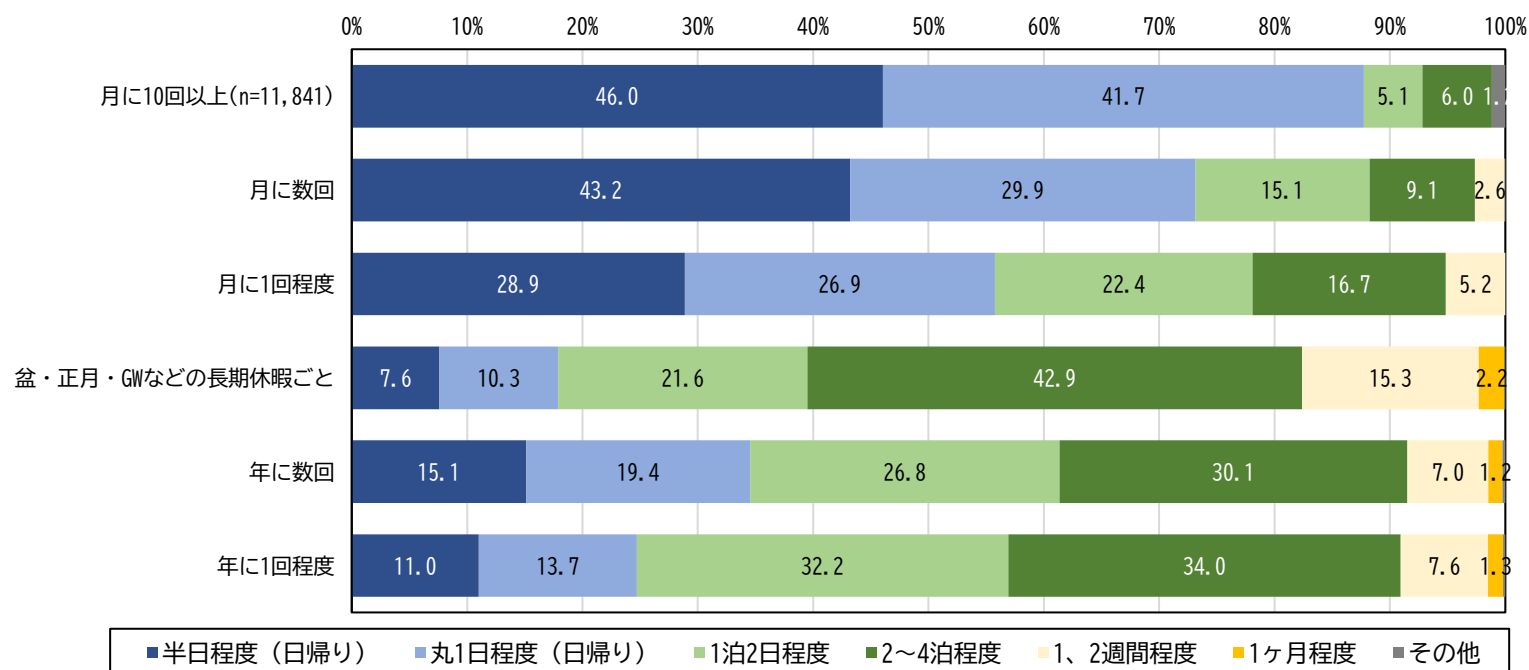
※単一回答 ※地域数ベース(拡大集計)

5. 二次調査結果 関係人口(訪問系) (8)訪問一回あたりの滞在期間②

- 訪問頻度別の訪問一回あたりの滞在期間は、訪問頻度が高い人（月に1回以上）は、滞在期間は「日帰り（半日程度、丸一日程度）」が半数を超えている。
- 一方、「盆・正月・GWなどの長期休暇ごと」や、「年に数回以下」の人は、滞在期間は「1泊2日程度」～「2～4泊程度」が半数以上を占めている。

訪問頻度別滞在期間

【二次調査：Q1-7、Q1-8】



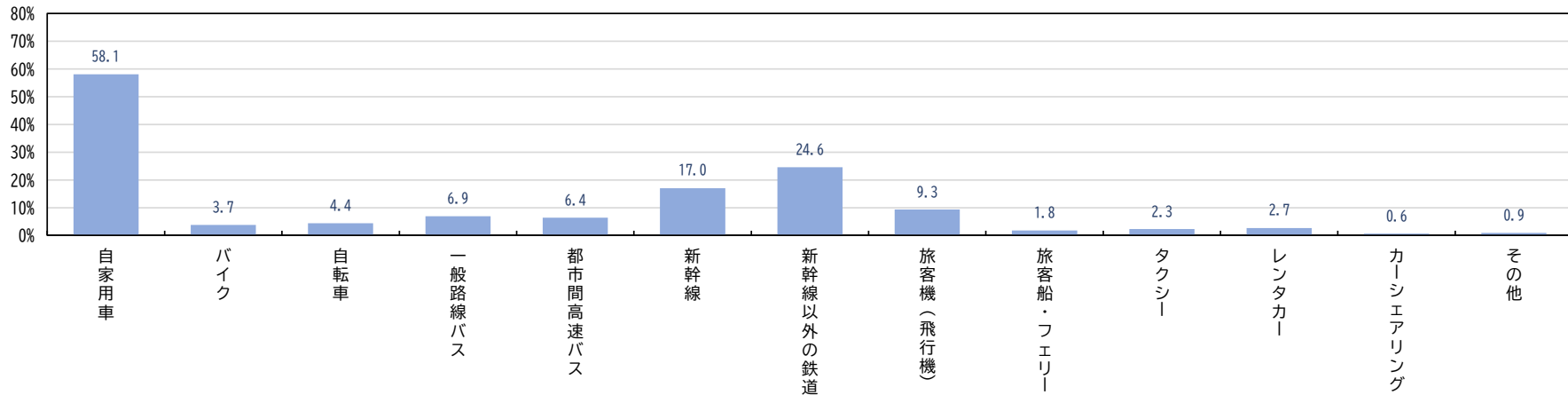
※単一回答 ※人数ベース（拡大集計）

5. 二次調査結果 関係人口(訪問系) (9)地域までの主な交通手段

- 地域までの主な交通手段は、「自家用車」が約58%と圧倒的に多く、次いで「新幹線以外の鉄道」「新幹線」となっている。
- 居住地別の交通手段では、「自家用車」は「中部圏都市部」「その他地域」で7割近くと多く、「新幹線以外の鉄道」では「首都圏都市部」「近畿圏都市部」で多くなっている。

地域までの主な交通手段

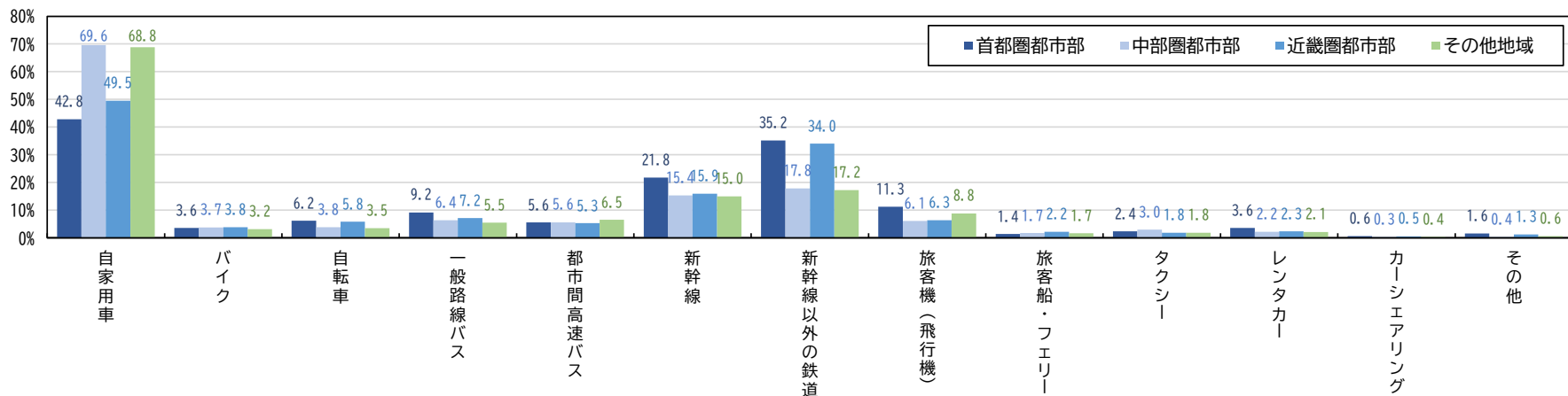
【二次調査：Q1-9】



※複数回答 ※地域数ベース (拡大集計)

地域までの主な交通手段 (居住地別)

【二次調査：Q1-9】

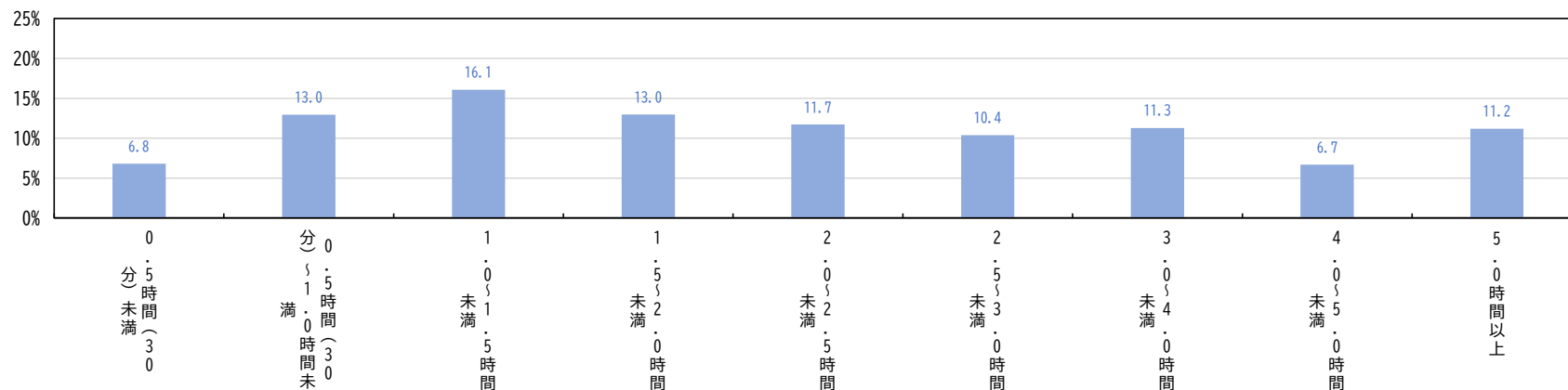


※複数回答 ※人数ベース (拡大集計)

5. 二次調査結果 関係人口(訪問系) (10)地域までの所要時間

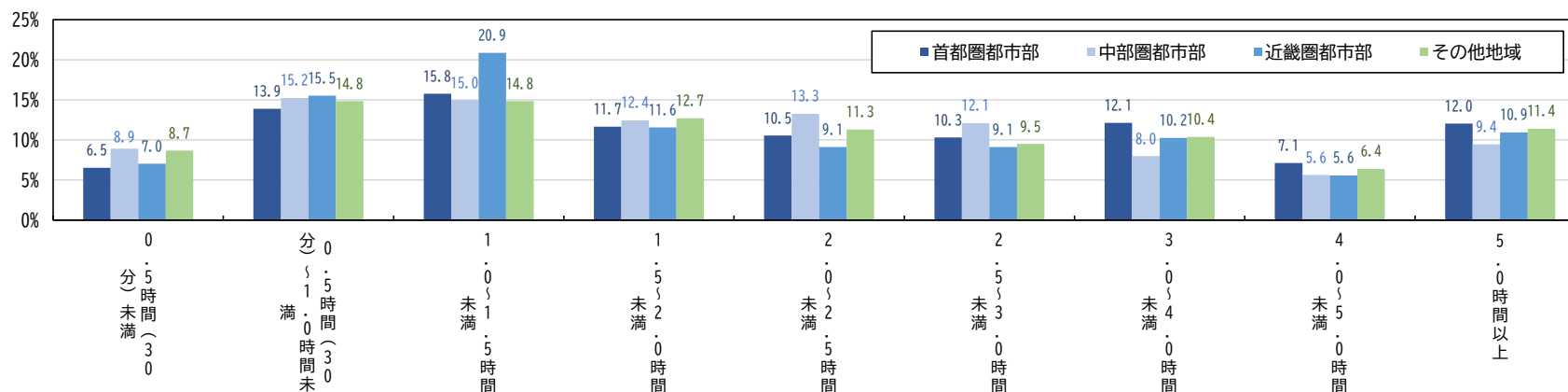
- 地域までの所要時間（片道・トータル）は、「1.0～1.5時間未満」が最も多く、次いで「0.5時間（30分）～1.0時間未満」「1.5～2.0時間未満」となっているが、所要時間は分散している。
- 居住地別でも、傾向はほぼ同じだが、「1.0～1.5時間未満」において「近畿圏都市部」が約21%と突出している。

地域までの所要時間 【二次調査：Q1-10】



地域までの所要時間（居住地別） 【二次調査：Q1-10】

※単一回答 ※地域数ベース（拡大集計）



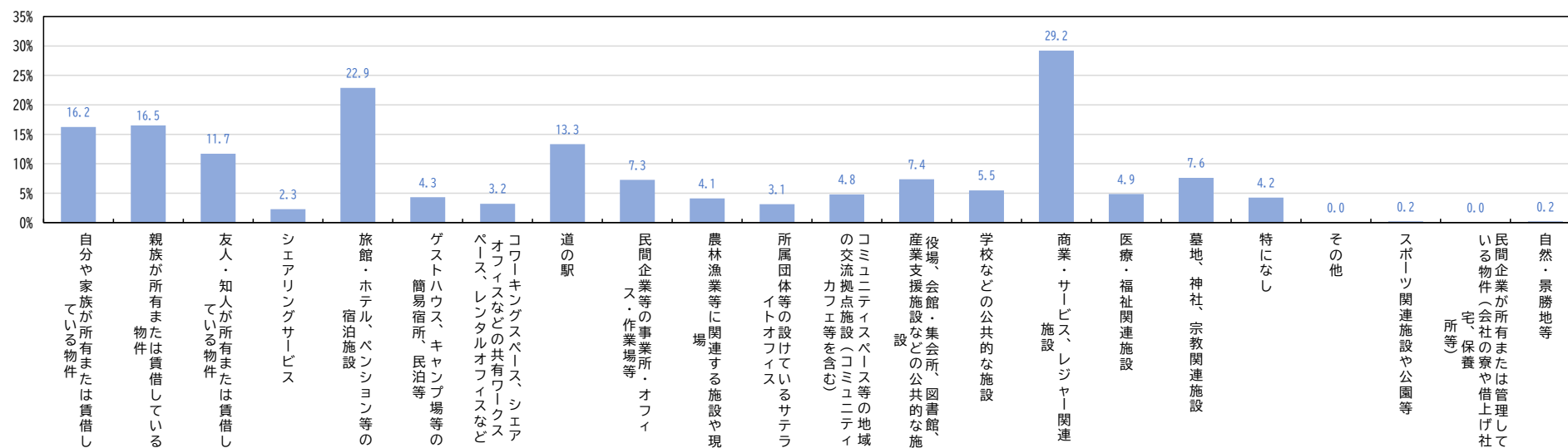
※単一回答 ※人数ベース（拡大集計）

5. 二次調査結果 関係人口(訪問系) (11)地域における滞在場所

- 地域における滞在場所は、「商業・サービス、レジャー関連施設」が最も多く、次いで「旅館・ホテル、ペンション等の宿泊施設」、「親族が所有または賃借している物件」、「自分や家族が所有または賃借している物件」となっている。

地域における滞在場所

【二次調査：Q1-11】



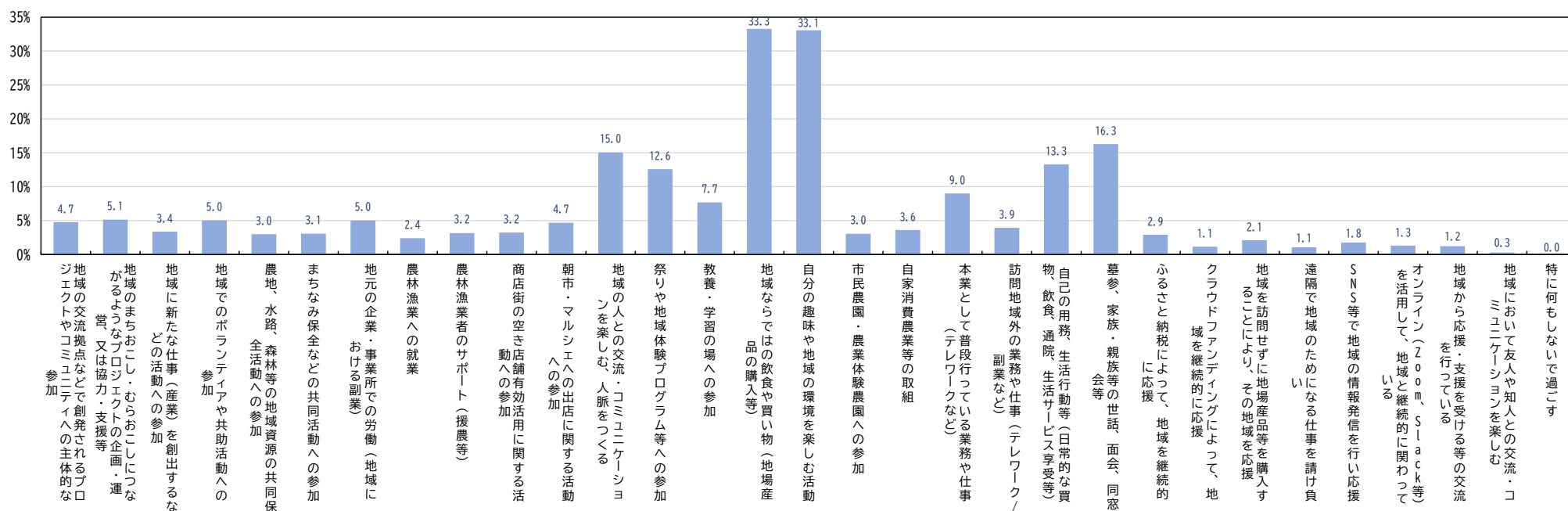
※複数回答 ※地域数ベース(拡大集計)

5. 二次調査結果 関係人口(訪問系) (12)地域における過ごし方

- 地域における過ごし方は、「地域ならではの飲食や買い物（地場産品の購入等）」「自分の趣味や地域の環境を楽しむ活動」が約3割と多くなっている。

地域における過ごし方

【二次調査：Q1-12】

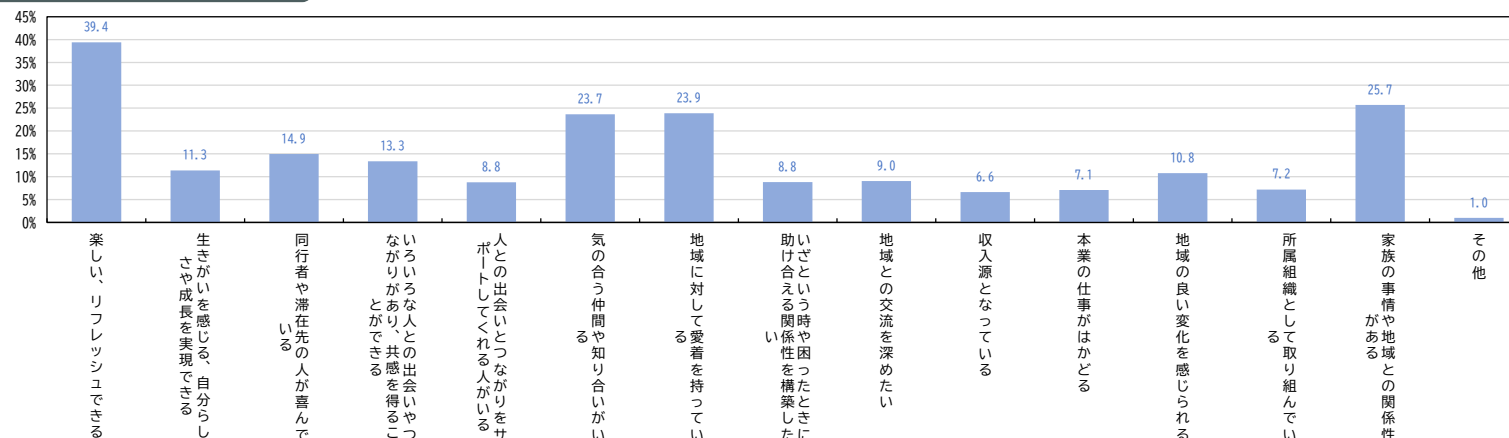


※複数回答 ※地域数ベース（拡大集計）

5. 二次調査結果 関係人口(訪問系) (13)地域との関わりを持っている理由①

- 地域との関わりを持っている理由は、「楽しい、リフレッシュできる」が最も多く、次いで、「家族の事情や地域との関係性がある」、「地域に対して愛着を持っている」、「気の合う仲間や知り合いがいる」となっている。
- 年代別では、65歳以上は「気の合う仲間や知り合いがいる」が他の年代に比べて高い。

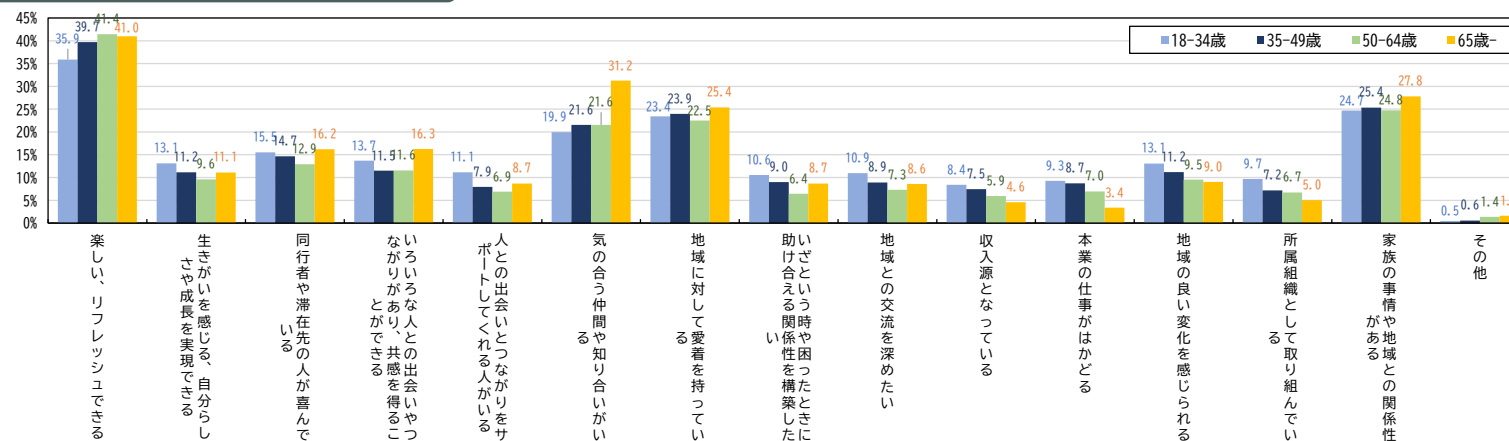
地域との関わりを持っている理由 【二次調査：Q1-13】



※複数回答
※地域数ベース (拡大集計)

地域との関わりを持っている理由 (年代別)

【二次調査：Q1-13】



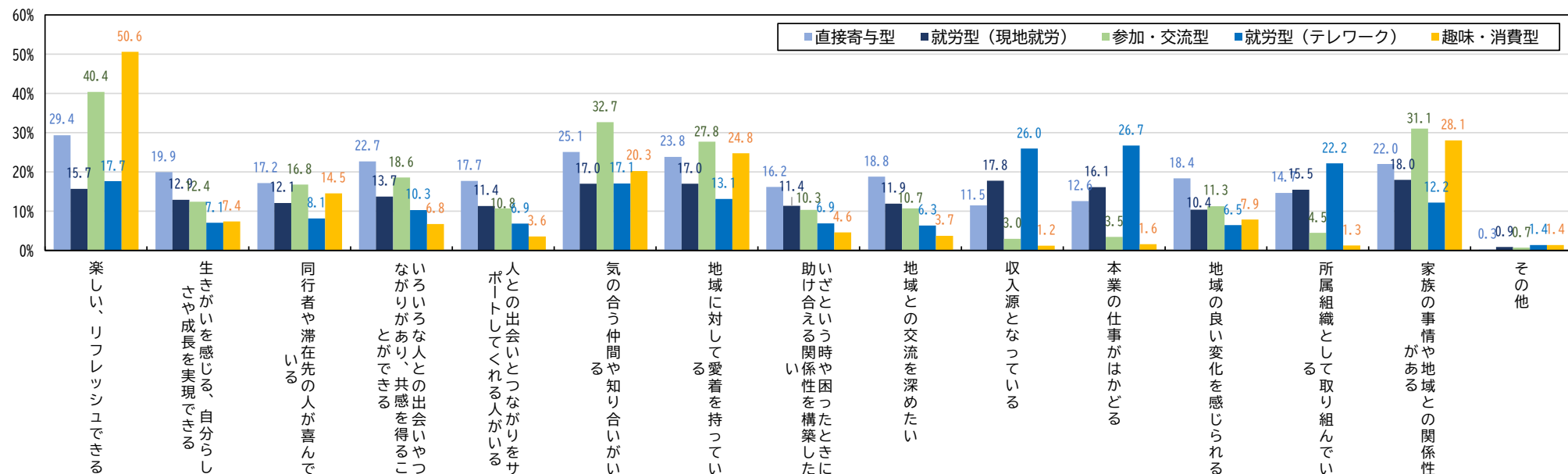
※複数回答
※地域数ベース (拡大集計)

5. 二次調査結果 関係人口(訪問系) (13)地域との関わりを持っている理由②

- ・ 類型別では、「直接寄与型」は「楽しい、リフレッシュできる」「気の合う仲間や知り合いがいる」「地域に対して愛着を持っている」が上位となり、「参加・交流型」、「趣味・消費型」も同様の傾向となっている。ただし「参加・交流型」、「趣味・消費型」では「家族の事情や地域との関係性がある」も比較的高い。
- ・ 「就労型(現地就労)」「就労型(テレワーク)」では、「収入源となっている」が高くなっている。ただし「就労型(現地就労)」では「地域に対して愛着を持っている」「家族の事情や地域との関係性がある」も比較的高く、「就労型(テレワーク)」では「本業の仕事がはかどる」「所属組織として取り組んでいる」も高い。

地域との関わりを持っている理由(類型別)

【二次調査：Q1-13】



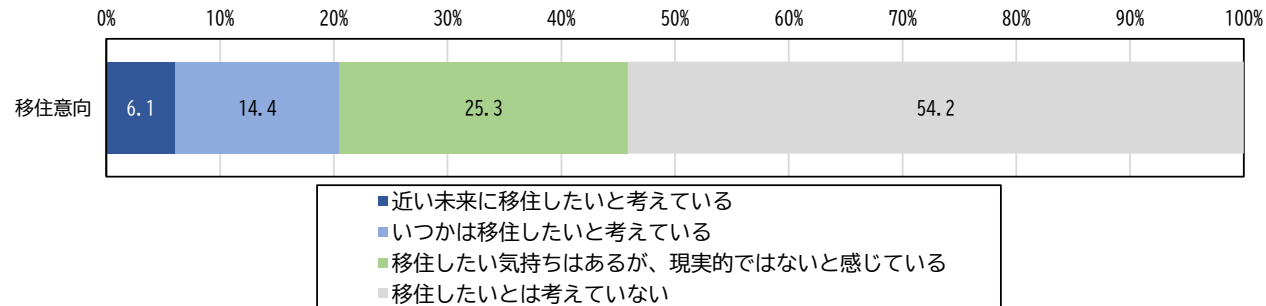
※複数回答
※地域数ベース(拡大集計)

5. 二次調査結果 関係人口(訪問系) (14)訪問先地域への移住意向

- 訪問先地域への移住意向は、約2割で移住意向がある。
- 類型別では、「直接寄与型」が最も移住意向が高く約36%となっており、地域との結びつきの強さに比例している。

訪問先地域への移住意向

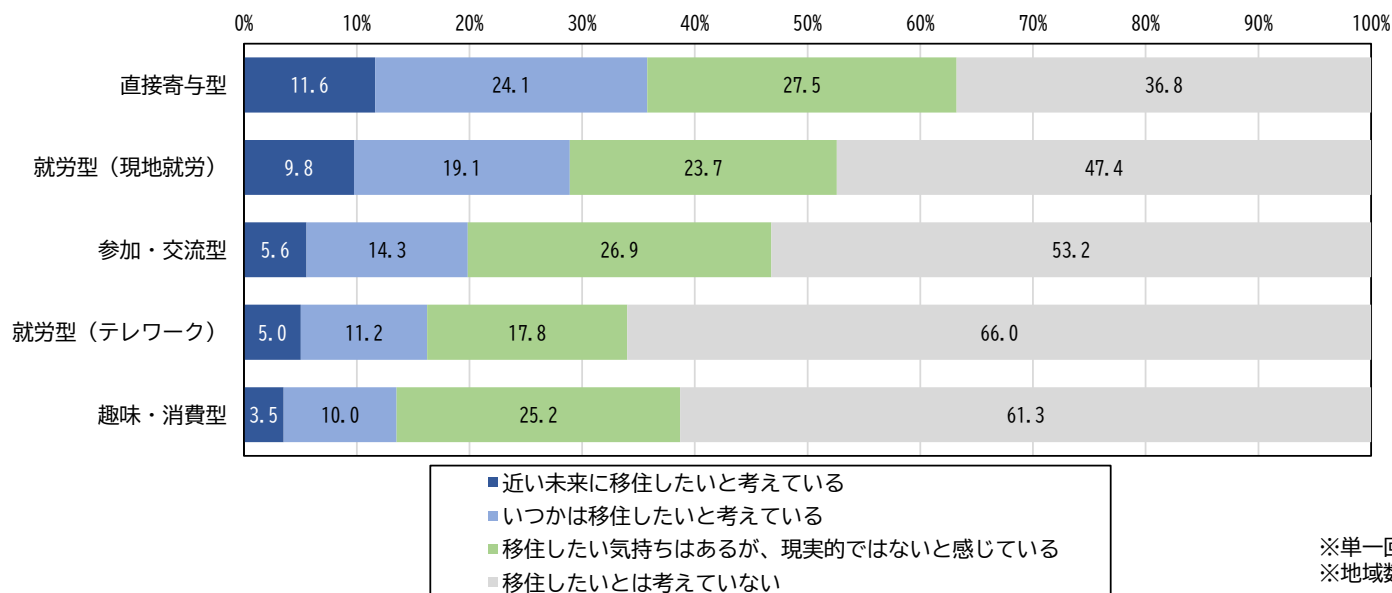
【二次調査：Q1-14】



※単一回答
※地域数ベース（拡大値）

訪問先地域への移住意向（類型別）

【二次調査：Q1-14】



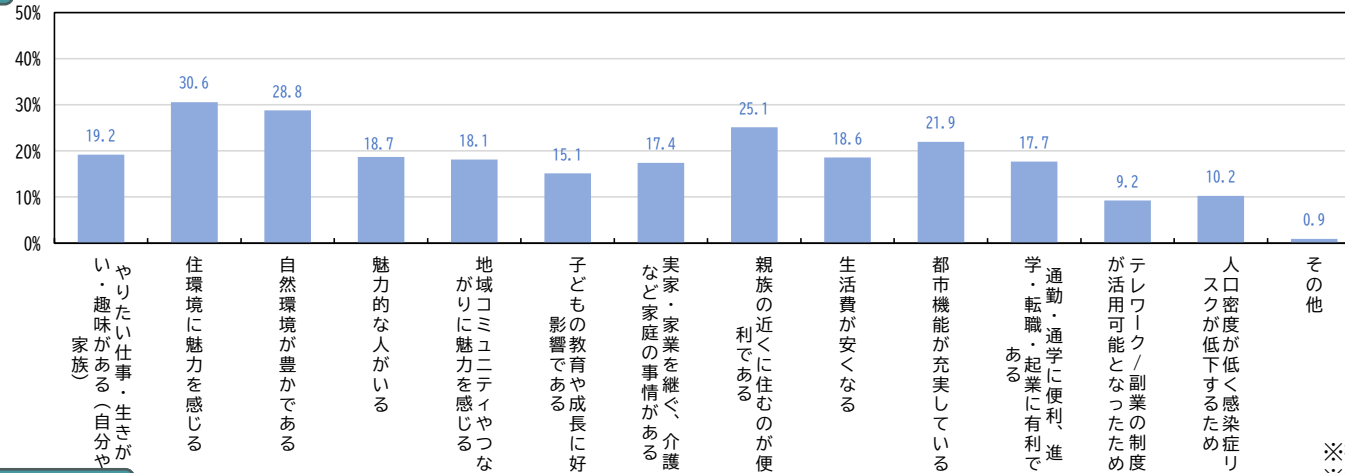
※単一回答
※地域数ベース（拡大値）

5. 二次調査結果 関係人口(訪問系) (15)訪問先地域への移住理由

- ・ 移住したいと回答した人の移住したいと思う理由は、「住環境に魅力を感じる」が最も高く、次いで「自然環境が豊かである」、「親族の近くに住むのが便利である」となっている。
- ・ 類型別では、「就労型（現地就労）」以外は「住環境に魅力を感じる」が高い。「直接寄与型」は「地域コミュニティやつながり」に魅力を感じる」も高く、「就労型（テレワーク）」は「都市機能が充実している」「通勤・通学に便利、進学・転職・起業に有利である」も高い。

移住したいと思う理由

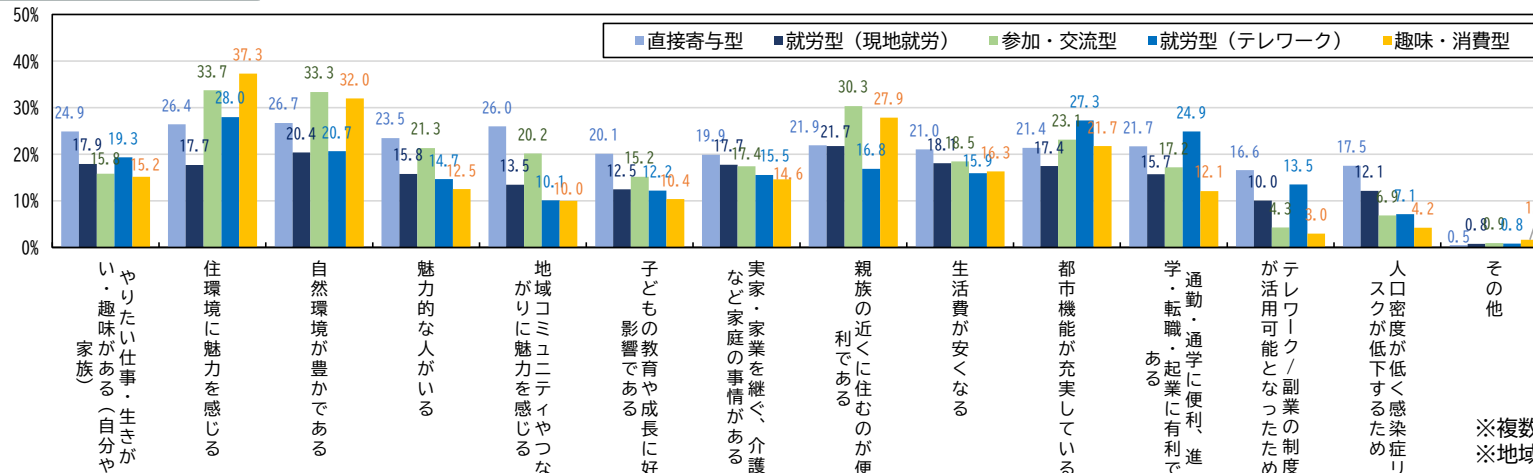
【二次調査：Q1-15】



※複数回答
※地域数ベース(拡大値)

移住したいと思う理由(類型別)

【二次調査：Q1-15】

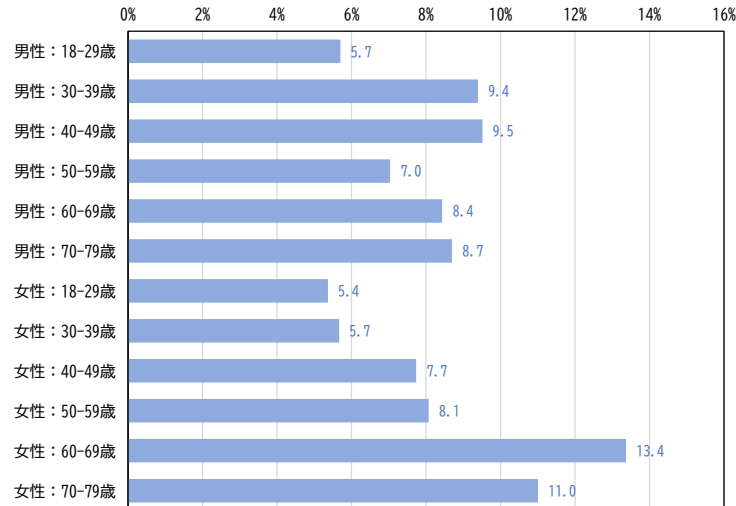


※複数回答
※地域数ベース(拡大値)

6. 二次調査結果 関係人口(非訪問系) (1)属性

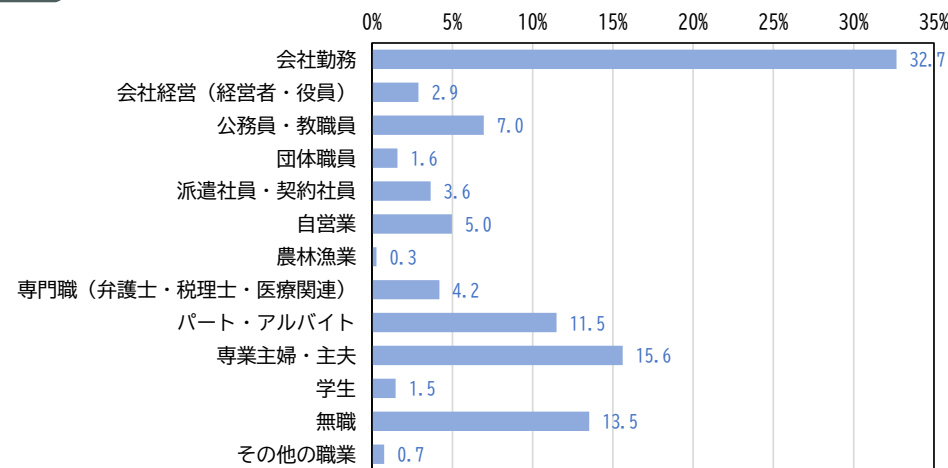
- 関係人口(非訪問系)の性年代は、「女性60-69歳」が約13%と他に比べて多く、次いで「女性70-79歳」となっている。
- 世帯構成は「夫婦と子ども」「夫婦」が多く、職業は「会社勤務」、世帯年収は「400万円～700万円未満」が最も多い。

性年代 【回答者情報】



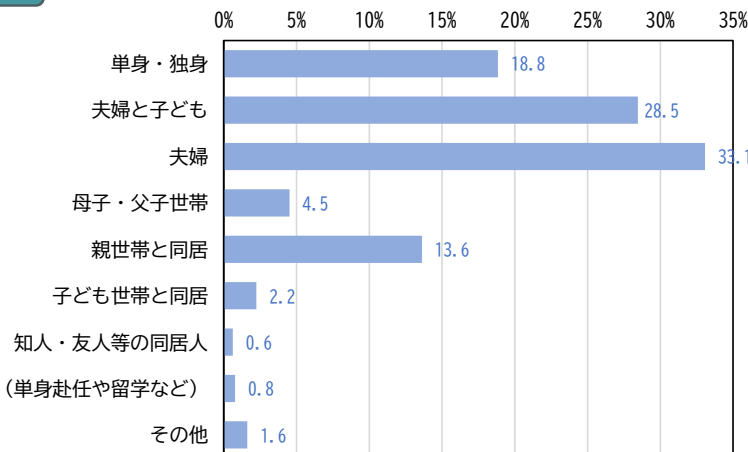
※単一回答 ※人数ベース (拡大集計)

職業 【一次調査：SC1-4】



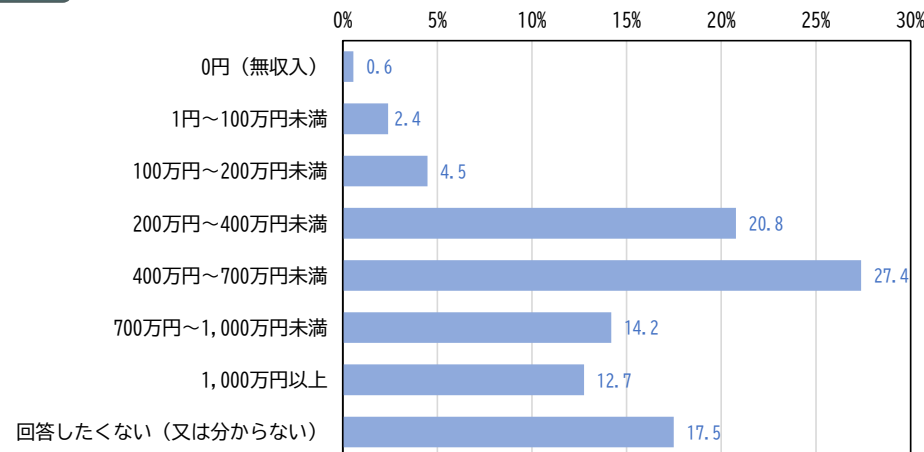
※単一回答 ※人数ベース (拡大集計)

世帯構成 【一次調査：SC1-3】



※複数回答 ※人数ベース (拡大集計)

世帯年収 【一次調査：SC1-5】



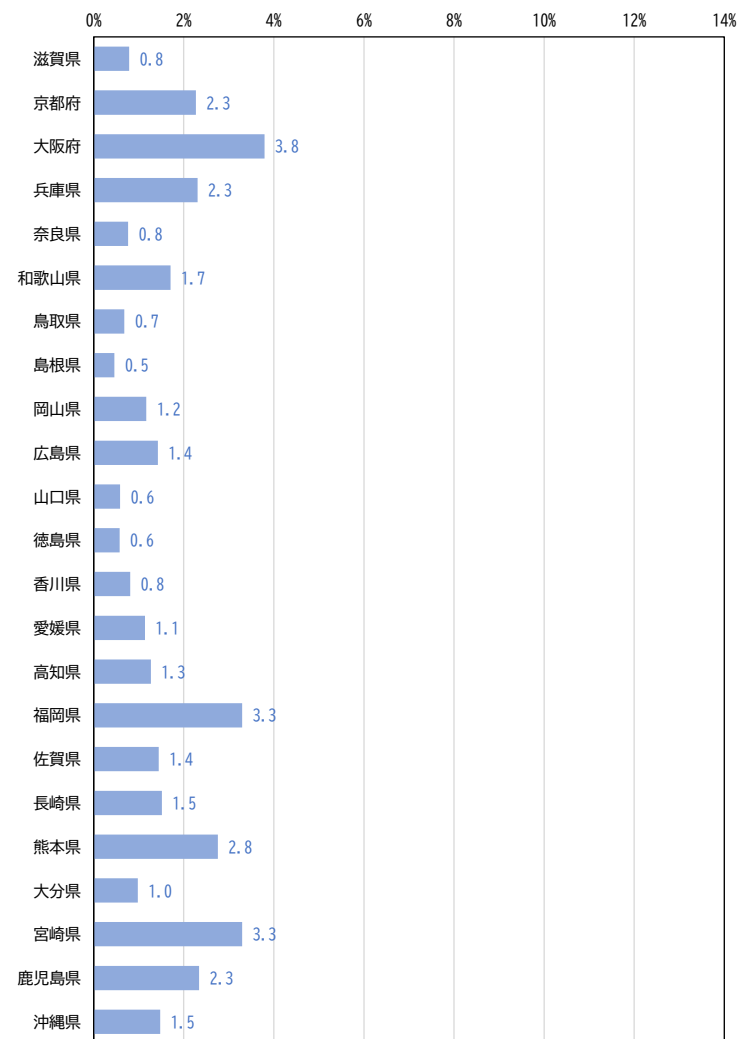
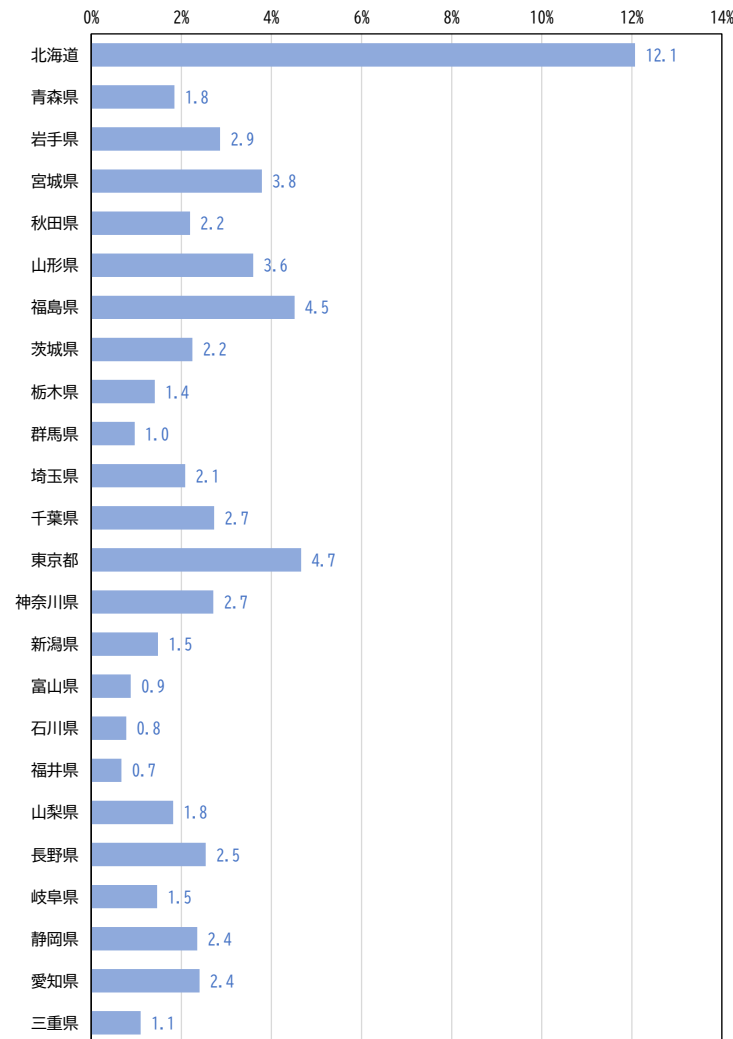
※単一回答 ※人数ベース (拡大集計)

7. 二次調査結果 関係人口(非訪問系) (2)関わりのある地域【都道府県】

- 非訪問系の関わりのある地域【都道府県】は、北海道の約12%が圧倒的に多く、次いで東京都、福島県となっている。

関わりのある地域【都道府県】

【二次調査：Q2-1】



※単一回答
※地域数ベース（拡大値集計）

※上記は、訪問系設問において、非訪問のみを回答していたものも含む。

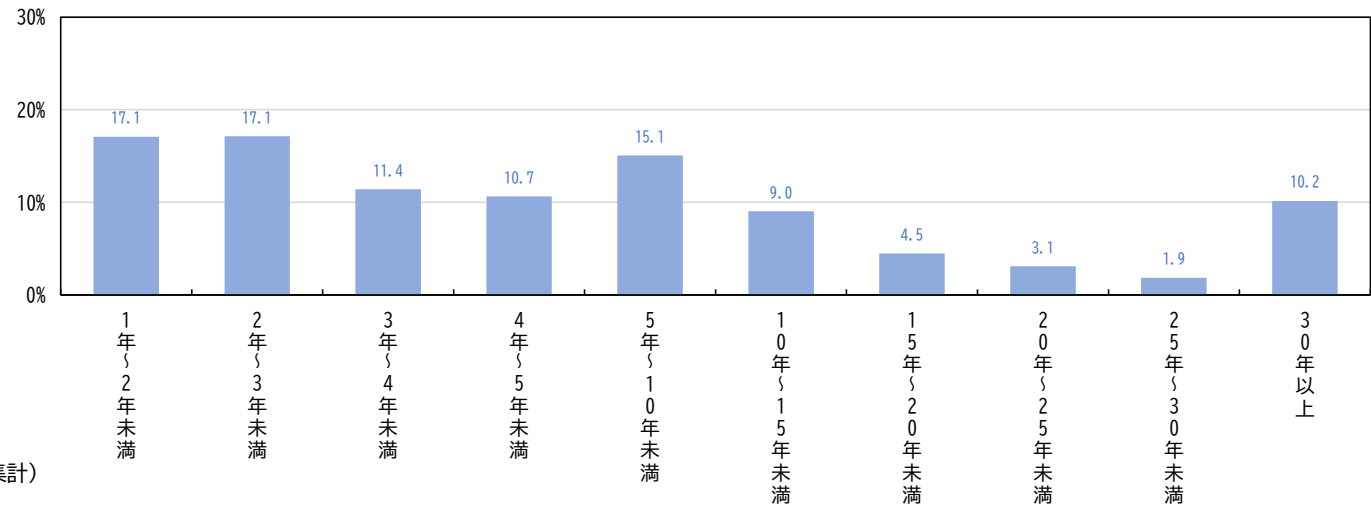
7. 二次調査結果 関係人口(非訪問系) (3)関わり始めてからの年数

- 関わり始めてからの年数は、「1年～2年未満」「2年～3年未満」「5年～10年未満」が比較的多い。
- 年代別では、18-64歳は「1年～2年未満」が最も多く、65歳以上は「30年以上」が最も多い。

関わり始めてからの年数

【二次調査：Q2-3】

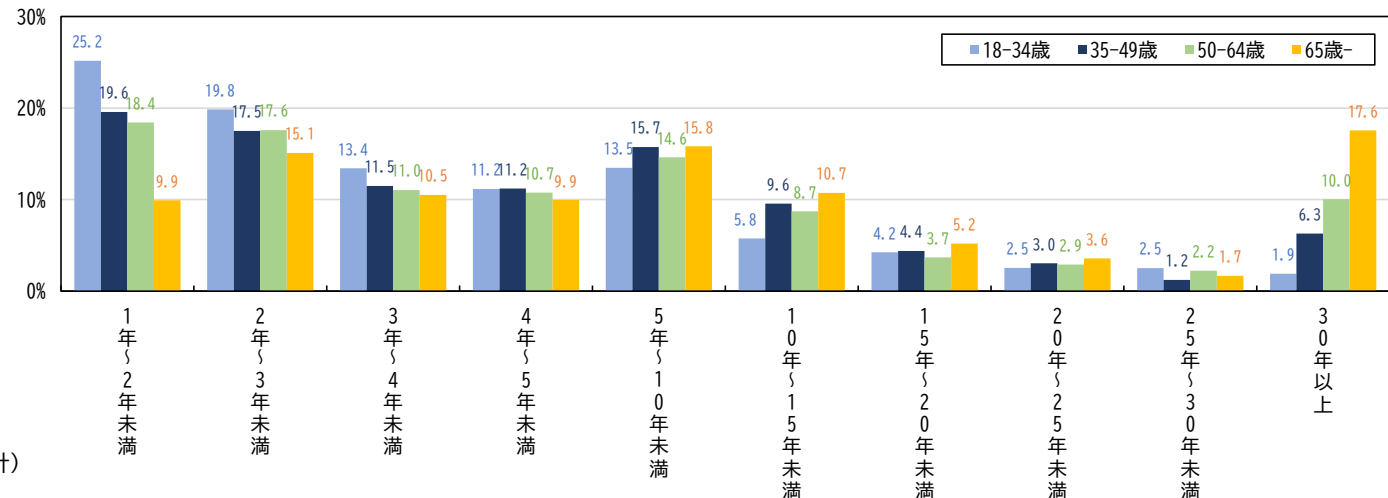
※単一回答
※地域数ベース（拡大値集計）



関わり始めてからの年数（年代別）

【二次調査：Q2-3】

※単一回答
※地域数ベース（拡大値集計）

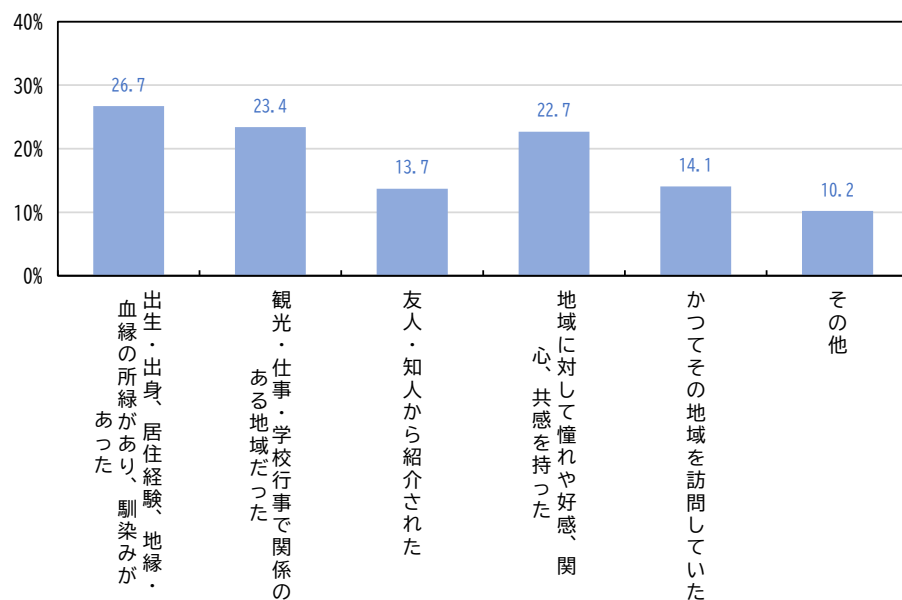


7. 二次調査結果 関係人口(非訪問系) (4)関わり始めたきっかけ

- 関わり始めたきっかけは、「出生・出身、居住経験、地縁・血縁の所縁があり、馴染みがあった」が最も多く、次いで「観光・仕事・学校行事で関係のある地域だった」「地域に対して憧れや好感、関心、共感を持った」となっている。
- 年代別では、65歳以上で「出生・出身、居住経験、地縁・血縁の所縁があり、馴染みがあった」の割合が比較的高くなっている。

関わり始めたきっかけ

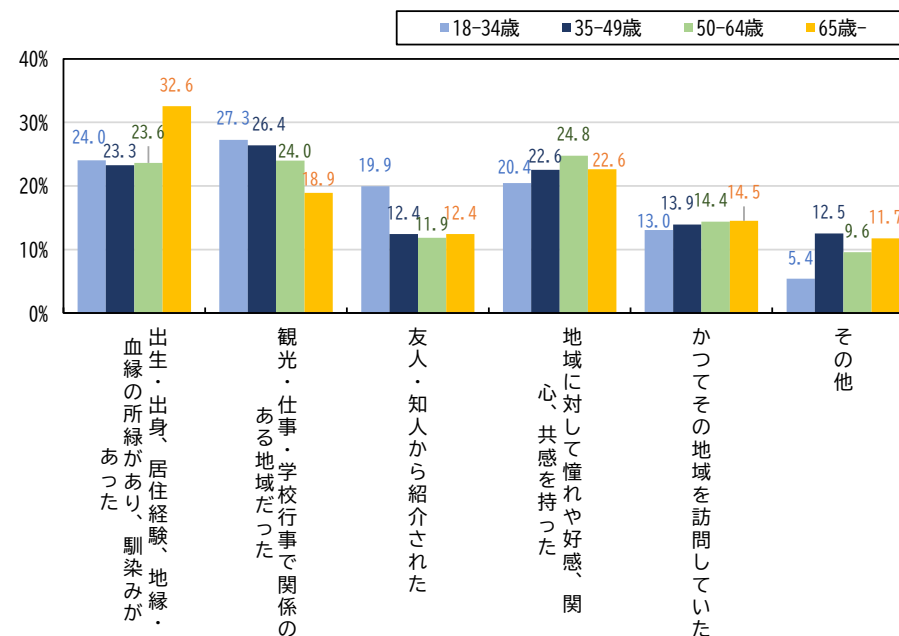
【二次調査：Q2-4】



※複数回答
※地域数ベース（拡大値集計）

関わり始めたきっかけ（年代別）

【二次調査：Q2-4】



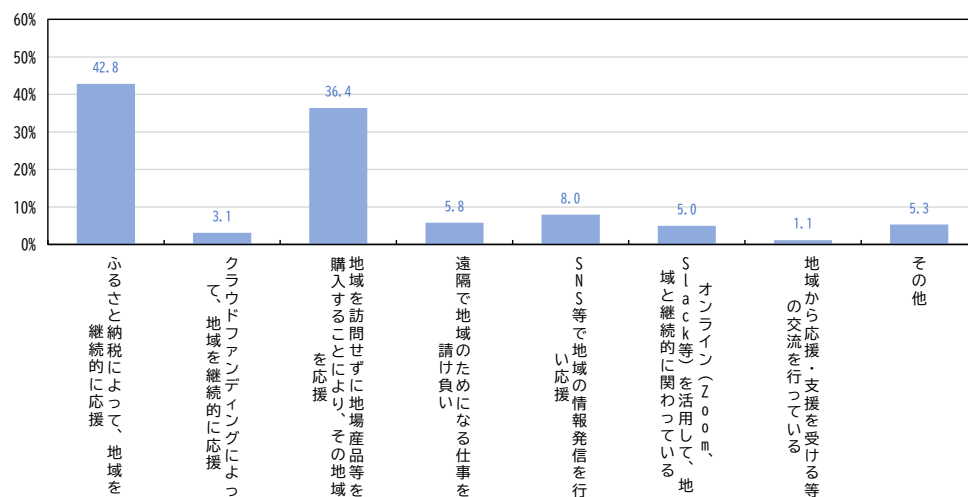
※複数回答
※地域数ベース（拡大値集計）

7. 二次調査結果 関係人口(非訪問系) (5)非訪問地域との関わり方

- 非訪問地域への関わり方は「ふるさと納税によって、地域を継続的に応援」の約43%が最も多く、次いで「地域を訪問せずに地場産品等を購入することにより、その地域を応援」の約36%と、この2つが多い。
- 年代別では、65歳以上は「地域を訪問せずに地場産品等を購入することにより、その地域を応援」が最も多いが、それ以外の年代は「ふるさと納税によって、地域を継続的に応援」が最も多い。

非訪問地域との関わり方

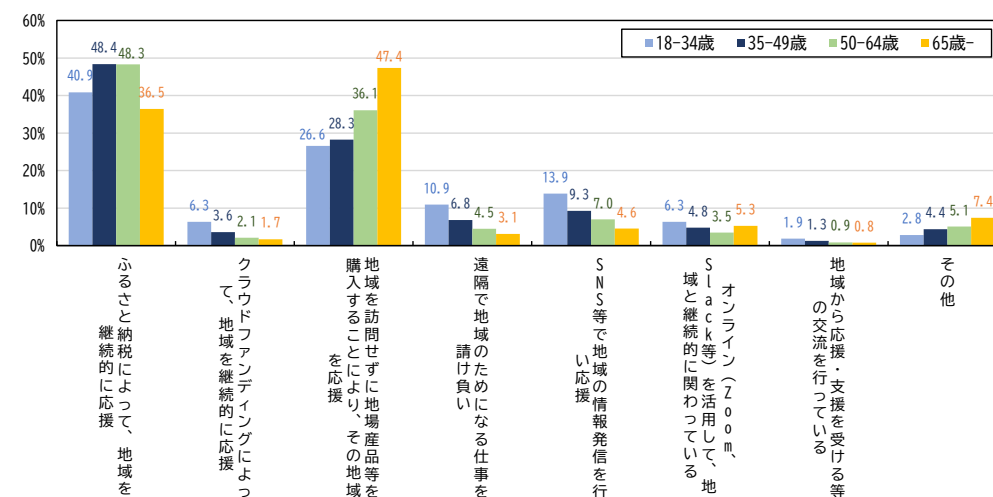
【二次調査：Q2-5】



※複数回答
※地域数ベース（拡大値集計）

非訪問地域との関わり方（年代別）

【二次調査：Q2-5】

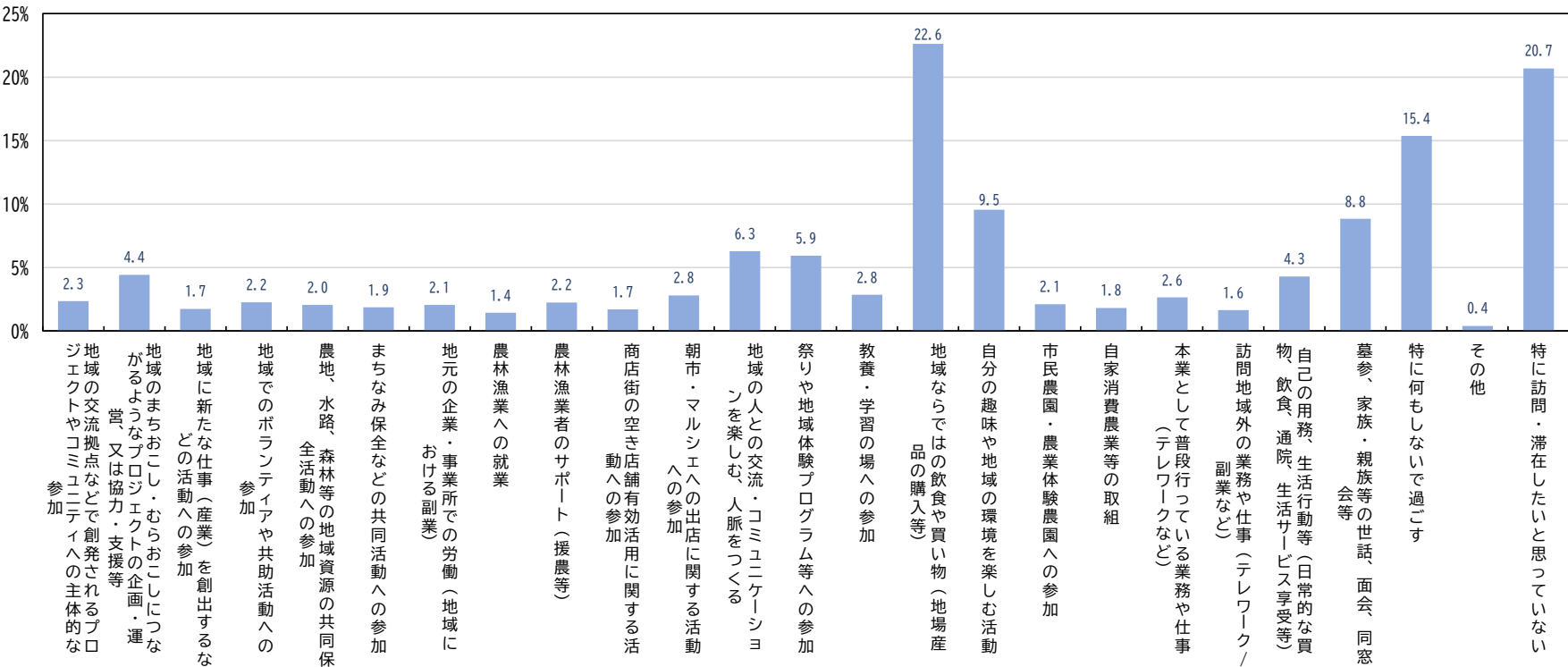


※複数回答
※地域数ベース（拡大値集計）

- 非訪問地域の今後、訪問系へと移行可能性及び過ごし方は「地域ならではの飲食や買い物（地場産品の購入等）」が約23%で最も多く、次いで「特に訪問・滞在したいと思っていない」の約21%、「特に何もしないで過ごす」の約15%となっている。

訪問系への移行可能性及び過ごし方

【二次調査：Q2-6】

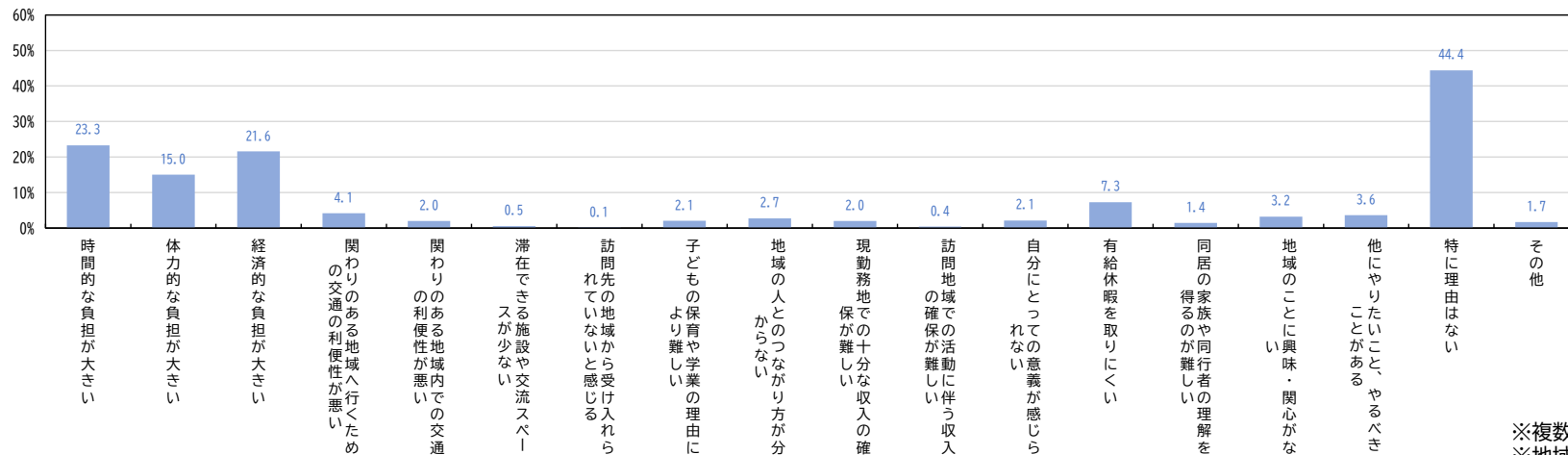


※複数回答
※地域数ベース（拡大値集計）

7. 二次調査結果 関係人口(非訪問系) (7)訪問しない理由

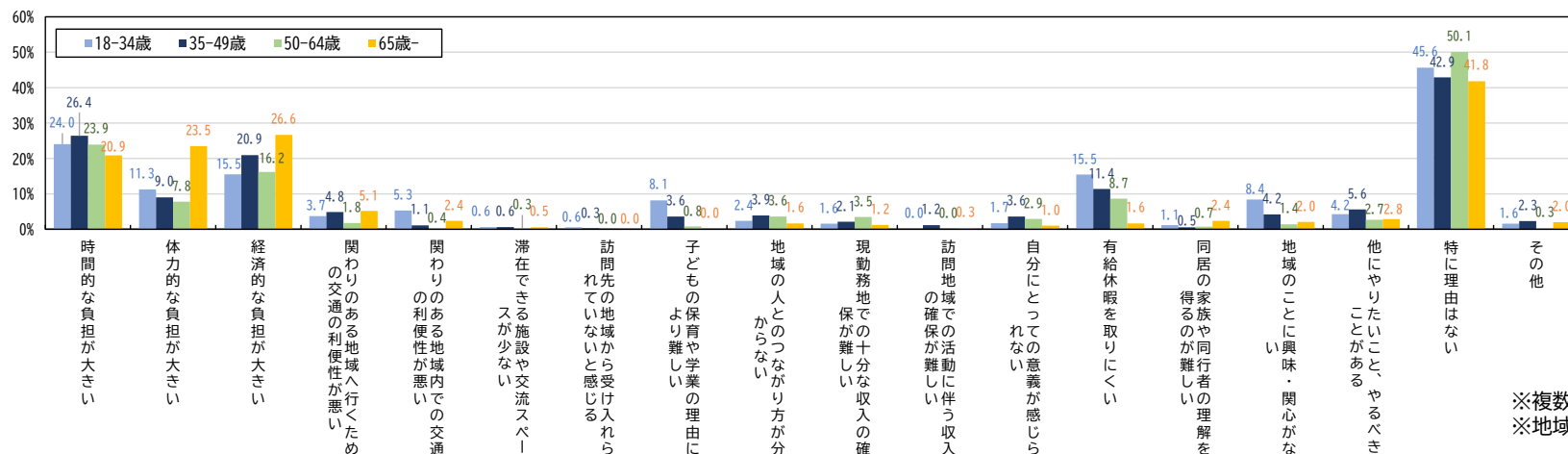
- 今後も訪問しない理由は「特に理由はない」の約44%が最も多く、次いで「時間的な負担が大きい」の約23%、「経済的な負担が大きい」の約21%となっている。
- 年代別でも傾向は同じだが、65歳以上では「体力的な負担が大きい」が他の年代に比べて高い。

訪問しない理由 【二次調査：Q2-7】



※複数回答
※地域数ベース（拡大値集計）

訪問しない理由（年代別） 【二次調査：Q2-7】



※複数回答
※地域数ベース（拡大値集計）